

# 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)

意 匠			構 造			電 気			機 械		
番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
A-00	表紙	A-39	【計画】展開図(4)	C-01	既存建物耐震改修工事仕様書(1)	E-01	特記仕様書	M-01	特記仕様書		
A-01	図面リスト	A-40	【計画】展開図(5)	C-02	既存建物耐震改修工事仕様書(2)	E-02	配置図	M-02	凡例・衛生器具表・換気計算書・換気機器表		
A-02	特記仕様書(1)	A-41	【計画】展開図(6)	C-03	既存建物耐震改修工事仕様書(3)	E-03	盤類結線図	M-03	給排水衛生配置図		
A-03	特記仕様書(2)	A-42	【計画】展開図(7)	C-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-04	照明器具姿図	M-04	給排水衛生1階平面図改修前		
A-04	特記仕様書(3)	A-43	【計画】展開図(8)	C-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-05	電灯照明設備図【改修後】-1階	M-05	給排水衛生2階平面図改修前		
A-05	特記仕様書(4)	A-44	【計画】展開図(9)	C-06	鉄骨工作標準図(1)	E-06	電灯照明設備図【改修後】-2階	M-06	給排水衛生1階平面図改修後		
A-06	特記仕様書(5)	A-45	【計画】展開図(10)	C-07	鉄骨工作標準図(2)	E-07	電灯照明設備図(渡り廊下)	M-07	給排水衛生2階平面図改修後		
A-07	工事区分表	A-46	【計画】展開図(11)	C-08	【既存・計画】2階伏図(見上図)	E-08	コンセント設備図【改修後】-1階	M-08	給排水衛生 1階平面詳細図改修前・改修後		
A-08	【既存・計画】仕上表	A-47	【計画】展開図(12)	C-09	【計画】R階伏図(軒高レベル)	E-09	コンセント設備図【改修後】-2階	M-09	換気1階平面図改修前		
A-09	【既存・計画】敷地求積図	A-48	【既存】1階建具指示図	C-10	【計画】R階伏図	E-10	弱電器具姿図-1	M-10	換気1階平面図改修後		
A-10	【既存・計画】求積図	A-49	【既存】2階建具指示図	C-11	【計画】A,B通り軸組図	E-11	弱電器具姿図-2	M-11	換気2階平面図改修後		
A-11-1	附近見取図	A-50	【計画】1階建具指示図	C-12	【計画】C,D通り軸組図	E-12	非常放送設備図【改修後】-1階	M-12	消火計算書		
A-11-2	【計画】配置図	A-51	【計画】2階建具指示図	C-13	【計画】E通り,E通り+2200軸組図	E-13	非常放送設備図【改修後】-2階				
A-11-3	【計画】時刻日影図	A-52	【既存】建具表	C-14	【計画】①通り、①通り-1850軸組図	E-14	弱電設備図【改修後】-1階				
A-11-4	【計画】等時間日影図	A-53	【計画】建具表(1)	C-15	【計画】②通り、③~⑥通り軸組図	E-15	弱電設備図【改修後】-2階				
A-12	【既存】1階平面図	A-54	【計画】建具表(2)	C-16	【計画】⑦通り軸組図	E-16	自動火災報知設備系統図				
A-13	【既存】2階平面図	A-55	【既存】部分詳細図(1)	C-17	【既存・計画】ステップ部鉄骨リスト	E-17	自動火災報知設備図【改修後】-1階				
A-14	【既存】屋根平面図	A-56	【既存】部分詳細図(2)(ステップ廻り)	C-18	【計画】接合リスト(1)、部材リスト	E-18	自動火災報知設備図【改修後】-2階				
A-15	【既存】断面図(1)	A-57	【既存】部分詳細図(3)(椅子収納台車)	C-19	【計画】接合リスト(2)	E-19	電灯照明設備図【既設撤去図】-1階				
A-16	【既存】断面図(2)・撤去一覧表	A-58	【既存】部分詳細図(4)(防球ネット・体育設備)	C-20	【計画】接合リスト(3)	E-20	電灯照明設備図【既設撤去図】-2階				
A-17	【計画】1階平面図	A-59	【計画】部分詳細図(1)	C-21	【計画】柱脚リスト	E-21	コンセント設備図【既設撤去図】-1階				
A-18	【計画】2階平面図	A-60	【計画】部分詳細図(2)	C-22	【計画】屋根詳細図(1)	E-22	コンセント設備図【既設撤去図】-2階				
A-19	【計画】屋根平面図	A-61	【計画】部分詳細図(3)	C-23	【計画】屋根詳細図(2)	E-23	非常放送設備図【既設撤去図】-1階				
A-20	【計画】断面図(1)	A-62	【計画】部分詳細図(4)(鋼製床平面割付図)	C-24	【計画】屋根詳細図(3)	E-24	非常放送設備図【既設撤去図】-2階				
A-21	【計画】断面図(2)・改修一覧表	A-63	【計画】部分詳細図(5)(鋼製床組断面図)	C-25	【計画】開口閉鎖部詳細図	E-25	弱電設備図【既設撤去図】-1階				
A-22	【既存】南・北立面図	A-64	【計画】部分詳細図(6)(椅子収納台車)	C-26	【計画】屋外手洗い場図面	E-26	弱電設備図【既設撤去図】-2階				
A-23	【既存】西・東立面図	A-65	【計画】部分詳細図(7)(舞台設備)			E-27	自動火災報知設備図【既設撤去図】-1階				
A-24	【計画】南・北立面図	A-66	【計画】部分詳細図(8)(下駄箱)			E-28	自動火災報知設備図【既設撤去図】-2階				
A-25	【計画】西・東立面図	A-67	【計画】部分詳細図(9)(体育器具/ライク, 支柱)			E-29	別途工事用配管設備図【改修後】-1階				
A-26	【既存】矩計詳細図(1)	A-68	【計画】部分詳細図(10)(体育器具/ハスケール)			E-30	別途工事用配管設備図【改修後】-2階				
A-27	【既存】矩計詳細図(2)	A-69	【計画】部分詳細図(11)(体育器具/防球ネット)								
A-28	【計画】矩計詳細図(1)	A-70	【計画】部分詳細図(12)(屋外手洗場)								
A-29	【計画】矩計詳細図(2)	A-71	【計画】部分詳細図(13)(屋外足洗場)								
A-30	【既存】便所詳細図	A-72	【既存】渡り廊下(C棟)平面図・立面図								
A-31	【計画】便所詳細図	A-73	【計画】渡り廊下(C棟)平面図・立面図								
A-32	【既存】1階天井伏図	A-74	【既存】渡り廊下(D棟)平面図・立面図								
A-33	【既存】2階天井伏図	A-75	【計画】渡り廊下(D棟)平面図・立面図								
A-34	【計画】1階天井伏図	A-76	【既存・計画】渡り廊下(D棟)詳細図								
A-35	【計画】2階天井伏図	A-77	【既存・計画】渡り廊下(C・D棟)矩計詳細図								
A-36	【計画】展開図(1)	A-78	仮設計画図								
A-37	【計画】展開図(2)	A-79	クレーン配置図								
A-38	【計画】展開図(3)	A-80	備品搬出入リスト								



③ 防水改修工事	1 7mm防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3～ 表3.3.10)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・P1B</td><td>・B-1 ・B-2</td><td></td></tr> <tr><td>・P1E</td><td>・E-1 ・E-2</td><td></td></tr> <tr><td>・P2E</td><td>・E-1 ・E-2</td><td></td></tr> </table> <p>断熱層工法の断熱材 (P1B1、P2A1及びT1B1工法) 材質 ・押出法ポリスチレンフォーム3種b (スキン層付) 厚さ ・ 脱気装置 (M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1) ・設ける (設置数量 ・図示、材質 ) ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない</p>	工法	種別	施工箇所	・P1B	・B-1 ・B-2		・P1E	・E-1 ・E-2		・P2E	・E-1 ・E-2						
	工法	種別	施工箇所																
	・P1B	・B-1 ・B-2																	
	・P1E	・E-1 ・E-2																	
	・P2E	・E-1 ・E-2																	
	② 改質アスファルトシート防水 (3.4.3) (表3.4.1～ 表3.4.3) (3.4.3) (2) (3)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>○M4AS</td><td>・AS-1・AS-2 ・AS-3・AS-T3</td><td></td></tr> </table> <p>脱気装置 ・設ける (設置数量 ・図示、材質 ) ・設けない</p>	工法	種別	施工箇所	○M4AS	・AS-1・AS-2 ・AS-3・AS-T3												
	工法	種別	施工箇所																
	○M4AS	・AS-1・AS-2 ・AS-3・AS-T3																	
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3) (表3.5.1)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・S3S</td><td>・S-F1 (S1-F1)</td><td></td></tr> <tr><td>・S3S1</td><td>・S-F2 (S1-F2)</td><td></td></tr> </table> <p>絶縁用シート ・発砲ポリエチレンシート 脱気装置 ・設ける (設置数量 ・図示、材質 ) ・設けない</p>	工法	種別	施工箇所	・S3S	・S-F1 (S1-F1)		・S3S1	・S-F2 (S1-F2)									
	工法	種別	施工箇所																
・S3S	・S-F1 (S1-F1)																		
・S3S1	・S-F2 (S1-F2)																		
④ 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3) (a) (3.6.3) (b)	<table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・POX</td><td>・X-1</td><td></td></tr> <tr><td>○L4X</td><td>○X-2</td><td>大庇・庇</td></tr> </table> <p>脱気装置 ・設ける (設置数量 ・図示、材質 SUS) ・設けない</p>	工法	種別	施工箇所	・POX	・X-1		○L4X	○X-2	大庇・庇									
工法	種別	施工箇所																	
・POX	・X-1																		
○L4X	○X-2	大庇・庇																	
5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6) (c) (2) (3.2.6) (c) (6)	<p>・既設屋根保護アスファルト防水</p> <p>・既設塗膜防水</p>																		
⑥ シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<table border="1"> <tr><th>種別</th><th>材種</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>○SR-1</td><td>シリコン系</td><td>水廻り</td></tr> <tr><td>・SR-2</td><td>シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>○MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td>建具廻り タイル面</td></tr> <tr><td>・PS-2</td><td>シリカ77系</td><td></td></tr> <tr><td>○PU-2</td><td>シリカ77系</td><td>打ち継ぎ目地 (塗装面)</td></tr> </table>	種別	材種	施工箇所	○SR-1	シリコン系	水廻り	・SR-2	シリコン系		○MS-2	変成シリコン系	建具廻り タイル面	・PS-2	シリカ77系		○PU-2	シリカ77系	打ち継ぎ目地 (塗装面)
種別	材種	施工箇所																	
○SR-1	シリコン系	水廻り																	
・SR-2	シリコン系																		
○MS-2	変成シリコン系	建具廻り タイル面																	
・PS-2	シリカ77系																		
○PU-2	シリカ77系	打ち継ぎ目地 (塗装面)																	
(3.7.4～7)	<p>工法</p> <p>○シーリング充填工法</p> <p>○シーリング再充填工法</p> <p>・拡幅シーリング再充填工法 (拡幅幅 mm、拡幅深さ mm)</p> <p>・ブリッジ工法 (ボンドプレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm)</p>																		
(3.7.8)	<p>シーリング材の試験 ○簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ・行わない</p>																		
⑦ とい (3.8.2) (表3.8.1)	<p>材種 ○非硬化ポリ塩化ビニル管 (VP-) ○配管用鋼管 (白管) (養生管)</p>																		
⑧ 7mm製笠木 (3.9.2) (c) (表3.9.1) (3.9.3) (b) (3.9.3) (d)	<p>部材の種類</p> <p>・押し出し270形</p> <p>・押し出し300形</p> <p>・押し出し350形</p> <p>・板材折曲げ形 (本体幅 mm、板厚 ・2.0mm ・ mm)</p> <p>固定金具の間隔 mm</p> <p>固定方法 ・</p> <p>表面処理 ・A-1 ・B-1</p>																		
⑨ ドレン	<p>図示</p>																		

④ 外壁改修工事	① 施工数量調査	<p>○行う ・行わない</p> <p>調査範囲 ・全面 ○図示 改修部分</p> <p>調査項目 ○ひび割れ部 (・幅0.2mm～0.2mm～1.0mm・1.0mm以上)</p> <p>○はがれ及びはく落部分</p> <p>○浮き部</p> <p>調査方法 ○打診、目視及びクラックスケール等 (・足場 ○枠組 ・ゴンドラ)</p> <p>報告書 1部</p> <p>(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</p>																																				
	② 改修工法の種類 (4.1.4)	<table border="1"> <tr><th>外壁</th><th>種類</th><th>改修工法</th></tr> <tr><td rowspan="2">○カブリ打放し仕上げ外壁</td><td>○ひび割れ部</td><td>○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法</td></tr> <tr><td>○欠損部</td><td>○充填工法</td></tr> <tr><td rowspan="2">○めり塗り仕上げ外壁</td><td>○ひび割れ部</td><td>○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法</td></tr> <tr><td>○欠損部</td><td>○充填工法</td></tr> <tr><td rowspan="2">・浮き部</td><td></td><td>・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・タイル張り仕上げ外壁</td><td>・ひび割れ部</td><td>・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法</td></tr> <tr><td>・欠損部</td><td>・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法</td></tr> <tr><td rowspan="2">・浮き部</td><td></td><td>・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・エポキシ樹脂タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・目地</td><td></td><td>・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td>・塗り仕上げ外壁</td><td>・新規仕上げ</td><td>・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗料塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り</td></tr> </table>	外壁	種類	改修工法	○カブリ打放し仕上げ外壁	○ひび割れ部	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法	○欠損部	○充填工法	○めり塗り仕上げ外壁	○ひび割れ部	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法	○欠損部	○充填工法	・浮き部		・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法			・タイル張り仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法	・欠損部	・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法	・浮き部		・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・エポキシ樹脂タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法			・目地		・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法			・塗り仕上げ外壁	・新規仕上げ	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗料塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り
	外壁	種類	改修工法																																			
	○カブリ打放し仕上げ外壁	○ひび割れ部	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法																																			
		○欠損部	○充填工法																																			
	○めり塗り仕上げ外壁	○ひび割れ部	○樹脂注入工法 ○Uカットシール材充填工法 ・シール工法																																			
		○欠損部	○充填工法																																			
	・浮き部		・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法																																			
	・タイル張り仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法																																			
・欠損部		・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法																																				
・浮き部		・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面樹脂注入工法 ・エポキシ樹脂タイル固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法																																				
・目地		・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法																																				
・塗り仕上げ外壁	・新規仕上げ	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗料塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り																																				
③ 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>・樹脂注入工法</p> <p>種類 ・自動式低圧球 樹脂注入工法</p> <p>注入力 ( ) 注入力間隔 ( )</p> <p>・手動式球 樹脂注入工法</p> <p>注入力 ( ) 注入力間隔 ( )</p> <p>・機械式球 樹脂注入工法</p> <p>注入力 ( ) 注入力間隔 ( )</p> <p>材料</p> <p>エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)</p> <p>・低粘度形 ・中粘度形</p>																																					
(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	<p>コア抜取検査 ・行う ・行わない</p> <p>・抜取り個数 ( )</p> <p>・抜取り部分補修方法 ( )</p>																																					
	<p>○Uカットシール材充填工法</p> <p>材料 ・シーリング用材充填 (・PU-2 )</p> <p>○可とう性エポキシ樹脂充填</p>																																					
	<p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填</p> <p>○行う ・行わない</p>																																					

④	(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)	<p>・シール工法</p> <p>材料 ・バテイクエポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p>
	(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)	<p>○充填工法</p> <p>材料 ○エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>
	(4.2.2) (g) (4.4.9)	<p>・モルタル塗替え工法</p> <p>材料 ・既製目地材の適用及び形状 ( ) 仕上げ厚 ( )</p>
	(4.2.2) (e) (4.4.10) (図4.4.1)	<p>・フックベリッング部分球 樹脂注入工法</p> <p>アンカーピンの配置 ・標準 ・</p> <p>材料 ・アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (e) (4.4.11) (図4.4.2)	<p>・フックベリッング全面球 樹脂注入工法</p> <p>アンカーピンの配置 ・標準 ・図示</p> <p>材料 ・アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (e) (4.4.12) (図4.4.2)	<p>・フックベリッング全面樹脂注入工法</p> <p>アンカーピン及び注入口の配置 ・標準 ・</p> <p>材料 ・アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (f) (4.4.13) (図4.4.3)	<p>・注入口付フックベリッング部分球 樹脂注入工法</p> <p>注入口付アンカーピンの配置 ・標準 ・</p> <p>材料 ・注入口付アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (f) (4.4.14) (図4.4.4)	<p>・注入口付フックベリッング全面球 樹脂注入工法</p> <p>注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・標準 ・</p> <p>材料 ・注入口付アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (f) (4.4.15) (図4.4.4)	<p>・注入口付フックベリッング全面樹脂注入工法</p> <p>注入口付アンカーピン及び注入口の配置 ・標準 ・</p> <p>材料 ・ポリマーセメントスラリー ( ) ・注入口付アンカーピン ( )</p>
	(4.2.2) (h) (4.5.7)	<p>・タイル部分張替え工法</p> <p>材料 ・ポリマーセメントモルタル ・変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂</p>

形状	寸法	きじ	軸葉	色
		・磁器 ・セラミックス	・施軸 ・無軸	・標準色 ・特注品
・役物 (・一体成形 ・試験張り ・行う ・行わない ・見本焼き ・行う ・行わない)				

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・外装タイル	・小口以上	・密着張り	5～8
	二丁掛け以下	・改良種上げ張り ・改良圧着張り	4～7 下地側4～6
・エントライル	・25mm角を超え 小口未満	・マスク張り	3～4
	・小口未満	・張り上げ張り	3～5

種類	呼び名	仕上形状	工法
○薄付け仕上塗材	○外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け
		・ゆず肌状	・こて
		・平たん状	・こて
		・凹凸状	・ローラー
		○ゆず肌状	○ローラー
		・さざ波状	・吹付け
		・着色骨材砂壁状	・こて

⑤ 建具改修工事	① 改修工法 (5.1.3)	<p>○かぶせ工法 (メーカー: )</p> <p>○カバー工法 ・持出し工法 ・ノンシール工法)</p> <p>○撤去工法</p> <p>・はつり工法 ・引抜き工法</p> <p>・例示仕様 ・個別認定 (認定番号 )</p>
	2 防火戸 (5.1.4)	<p>・製作する ・製作しない</p>
	3 見本の製作 (5.1.5)	<p>・再使用する ○再使用しない</p>
	④ ブラインド カーテンボックス等 (5.1.6(c))	<p>性能等級等</p> <p>○A種 ・B種 ・C種 (耐風圧性 S-4、気密性 A-3、水密性 W-4)</p> <p>・防音ドアセット、防音サッシ (等級 )</p> <p>・断熱ドアセット (等級 )</p> <p>・耐震ドアセット (等級 )</p>
	⑤ 7mm以上製建具 (5.2.2) (表5.2.1) (表5.2.2)	<p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類</p> <p>○外部に面する建具</p> <p>○B-1 ・B-2 ・</p> <p>・内部に面する建具</p> <p>・C-1 ・C-2 ・</p>

種類	呼び名	仕上形状	工法
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹出し	・吹付け
		・凹凸状	・こて
・外装厚塗材S	・外装厚塗材E	・吹出し	・吹付け
		・凹凸状	・こて
・複層仕上塗材	・複層塗材E	・ゆず肌状	・ローラー
		・凹凸状	・吹付け
○可とう形改修用仕上塗材	○可とう形改修塗材E	・平たん状	○ローラー
		・さざ波状	・吹付け
○可とう形改修塗材R	○可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	・吹付け

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・シリカ系	・水系	・艶有 ・艶無
・シリカ系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
・アクリル系	・水系	・艶有 ・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有 ・艶無 ・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有 ・艶無
	・水系	・艶有 ・艶無

(注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材及び可とう形改修塗材には適用しない。

工法	処理範囲
・サンダー工法	
○高圧水洗工法	改修工事関わる外壁、柱型、梁面
○塗膜剥離工法	劣化部
・水洗い工法 ・デッキブラシ ・高圧ポンプ 10～15MPa	

(4.6.4)

下地調整

○C-1 ・C-2 ・CM-2 ・E ・





<p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>3 コンクリートの打込み工法等</p> <p>(8.19.8) (8.21.5)</p>	<p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))</td> <td>・全ての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))</td> <td>・全ての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))</td> <td>・全ての増設壁 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))</td> <td>・全ての増設壁 ・図示</td> </tr> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部分の型枠 ・発砲プラスチック保温材等を埋込む ・ ( )</p> <p>柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示 ( )</p> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示 60mm ( )</p>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))	・全ての増設壁 ・図示	・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))	・全ての増設壁 ・図示	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))	・全ての増設壁 ・図示	・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))	・全ての増設壁 ・図示
	補強工法	打設工法	部位											
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))	・全ての増設壁 ・図示												
	・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))	・全ての増設壁 ・図示												
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 (8.19.8(a)(1)及び(b))	・全ての増設壁 ・図示												
	・圧入工法 (8.19.8(a)(2)及び(c))	・全ての増設壁 ・図示												
<p>(あと施工アンカー)</p> <p>① あと施工アンカーの材料</p> <p>(8.2.4) (表8.2.2)</p> <p>種類</p> <p>○ 金属系 セットの方法 ・ 本体打込み式(改良型・従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示 ( ) 引張耐力 ・ 図示 ( ) せん断耐力 ・ 図示 ( )</p> <p>○ 接着系 カプセル型 ○ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ○ 図示 ( ) 引張耐力 ○ 図示 ( ) せん断耐力 ○ 図示 ( )</p> <p>② あと施工アンカーの施工</p> <p>(8.11.2) (8.11.4) (8.11.5)</p> <p>埋込み配管等の探索の範囲及び方法 範囲 ・ 図示 ○ あと施工アンカー施工部分全て ・ ( )</p> <p>方法 ○ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ ( )</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ○ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ○ (8.11.5) による ( ) 確認強度 ・ (メーカー強度)</p> <p>(場所打ちコンクリート壁の増設工事)</p> <p>3 シアコネクタ</p> <p>(8.2.4) (8.3.4)</p> <p>種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</p> <p>径(mm) ・ D10 長さ(mm) ・ 増打壁厚-40 ( ) 影込み深さ(mm) ・ 5d (d: シアコネクタの径) 以上 ( ) 間隔(mm) ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ( )</p>														
<p>① 鉄骨製作工場</p> <p>(8.1.5)</p> <p>(株)日本鉄骨評価センターは(社)全国鐵鋼工業協会の「鉄骨政策工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ○ M ・ H ・ S</p> <p>② 施工管理技術者</p> <p>(8.1.5)</p> <p>施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用 ・ しない ○ する</p> <p>③ 高力ボルト</p> <p>(8.2.8)</p> <p>高力ボルトの適用 ○ トルシア形高力ボルト2種(S10T) ○ JIS形高力ボルト2種(F10T) トルシア形が使用できない部分 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)</p>														

<p>8の6</p> <p>耐震改修工事</p> <p>鉄骨工事</p>	<p>4 仮組 (8.12.9)</p> <p>5 技能資格者 (8.14.3)</p> <p>6 溶接部の試験 (8.14.11) ※構造特記仕様による</p> <p>9 耐火被覆材の種類及び性能 (8.17.2) (8.17.3)</p>	<p>仮組の実施 ・ 実施する ( ) ・ 実施しない</p> <p>溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する ( ) ○ 実施しない</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験</p> <p>工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(平成25年度版)(7.6.11(b))による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ・ 第6水準 ・ ( ) ロットの構成( )</p> <p>工場現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書(平成25年度版)(7.6.11(b))による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5%</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>種別</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	部位	種別	仕様																	
部位	種別	仕様																				
<p>8の7</p> <p>耐震改修工事</p> <p>グラウト工事</p>	<p>(グラウト工事)</p> <p>① モルタル及びグラウト材 (8.2.10) (8.5.10) (表8.5.2) (表8.2.8)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁及び増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)</p> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.19.9) (8.20.7)</p>	<p>構造体用モルタル ・ (8.2.10)及び(8.5.10)による。</p> <p>無収縮モルタル ・ (8.2.10(b))による。</p> <p>グラウト材 ・ (8.2.10(c))による。</p> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処理方法</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>増設壁の上部</td> <td>グラウト材を注入</td> <td>寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	部位	処理方法	備考	増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による														
部位	処理方法	備考																				
増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による																				
<p>9の1</p> <p>環境配慮改修工事</p> <p>(アスベスト含有建材の処理工事)</p>	<p>① 一般事項 (9.1.1) (9.1.2)</p> <p>② アスベスト含有吹付材の除去</p> <p>③ アスベスト含有成形板の除去</p>	<p>○関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。</p> <p>○石綿ばく露防止対策等の実施内容を見やすい場所に掲示すること。 ・ 事前の施工調査等を改標仕9.1.1(d)により行い、調査結果を監督員に提出すること。(行う・行わない)</p> <p>・ アスベスト粉塵濃度測定を(行う・行わない)。 ・ 濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部: 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法。 ・ 測定を行う場合、アスベスト除去工法の仕様による。 ・ 測定機関は、徳島労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・ 報告書を( )部作成し監督員に提出すること。</p> <p>○施工計画 (1) 工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、承諾を受けること。 (2) アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。</p> <p>○アスベスト含有建材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出する。 ・ 工法 (1) アスベスト除去工法は、「建築物等の保全技術・技術審査証明事業」による保全審査証明取得工法又は(財)日本建築センターによる審査証明取得工法とする。</p> <p>○養生等 ・ 作業場は、シート等により囲うこと。 ・ 建築物内部で除去作業を行う場合は、建具等を全て閉じた状態で行う</p> <p>○工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさきかけて行うこと。 (2) 除去は、可能な限り破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則「手ばらし」とする。建築物外部の成形板を除去する場合は、できる限り原形のまま除去すること。 (3) 除去作業中は、原則として散水その他の方法によりアスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。</p> <p>○除去箇所一覧表</p> <table border="1"> <tr> <th>階数</th> <th>室名</th> <th>箇所</th> <th>建材種別</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>女子バスケ部室</td> <td>天井床</td> <td>化粧石膏ボード ビニルタイル</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>放送室</td> <td>天井床</td> <td>岩綿吸音板下地石膏ボード ビニルタイル</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>男女便所</td> <td>天井壁</td> <td>石綿ケイカル板 EP塗装</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>外壁</td> <td>リシン、吹付タイル</td> </tr> </table>	階数	室名	箇所	建材種別	1	女子バスケ部室	天井床	化粧石膏ボード ビニルタイル	1	放送室	天井床	岩綿吸音板下地石膏ボード ビニルタイル	1	男女便所	天井壁	石綿ケイカル板 EP塗装			外壁	リシン、吹付タイル
階数	室名	箇所	建材種別																			
1	女子バスケ部室	天井床	化粧石膏ボード ビニルタイル																			
1	放送室	天井床	岩綿吸音板下地石膏ボード ビニルタイル																			
1	男女便所	天井壁	石綿ケイカル板 EP塗装																			
		外壁	リシン、吹付タイル																			

<p>10</p> <p>土工事</p>	<p>① 根切り</p> <p>② 敷地整理</p> <p>③ 埋戻し、盛土</p> <p>④ 残土処分</p>	<p>※工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工計画図を提出し、係員の承認を得るものとする。 ※根切り完了後、深さ、大きさ、床ざらひの状態について、係員の承認を得るものとする。 ・ 特殊工法 ・ 山留工法: 施工業者の責任施工とする。 ・ 樹木: ・ 移植 ・ 伐採 ・ その他 ( )</p> <p>※埋戻し: 砂質又は係員の承認する土砂を使用するものとする。 ・ 盛土: ・ 無 ・ 有(真砂土) ● 場外に搬出し適切に処分する。 ・ 場内推積 ○ 場内処分し ・ 指定地処分 ・ その他 ( )</p>
	<p>11</p> <p>地業工事</p>	<p>① 割栗及び砂利地業</p> <p>② 均しコンクリート地業</p> <p>③ ポリエチレンフィルム敷き</p> <p>④ 地盤改良</p>
<p>12</p> <p>屋根及び樋工事</p>	<p>① 金属板構造屋根</p> <p>② その他のケラ・鼻先・幕板</p> <p>③ 種</p> <p>④ 軒天</p>	<p>●材料: ・ 亜鉛鍍金鉄板 ・ 片面カラー鉄板 ・ ビニール被覆鉄板 ・ 折板 ●カラーガルバリウム鋼板 ●板厚: ● 0.6mm ●下地: ●改質アスファルトルーフィング A 1.0 耐火野地複合板 A 4.3 (硬質木毛セメント板 A 1.8 + フェノール樹脂 A 2.5) 田島 PPA-EX+ 同等品 コハ だんねつくん 同等品</p> <p>・ 工法: メーカーの責任施工とする</p> <p>●材料: ガルバリウム鋼板 7.0.6 曲げ加工 ●工法: 立平葺きまたは緩ハゼ葺き ●屋根: ・ 白ガス管 (φ mm) ・ 塩ビパイプ ●カラーVPφ100 φ75 7ヶ金物 亜鉛メッキφ900内外 ●谷樋: ●その他 耐酸被覆鋼板 7.0.6加工 ・ 軒樋: ・ 防露: ・ 建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温筒厚25mmの上アスファルトフェルト巻ビニールテープ押えとする。</p> <p>●材料: カラーガルバリウム鋼板φ125貼 貼0.5貼</p>
<p>13</p> <p>外構工事</p>	<p>① 一般事項</p> <p>2. 舗装</p> <p>3. フェンス</p> <p>4. 境界石</p> <p>5. 排水溝</p>	<p>※工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。</p> <p>●種別: ●アスファルト舗装 ●混合式 ・ 浸透式) ・ コンクリート舗装 (・有筋 ・無筋 ・溶接金網入) ・ 砂利撒き舗装: 切込砂利 m/m 撒布砂利 m/m ・ その他の舗装 インターロッキング敷</p> <p>・ 種別: ・ ネットフェンス ・ エキスパンドメタルフェンス ・ その他 (ユニフェンスR型)</p> <p>・ 高さ: H = 1200mm/m (メーカー: 朝日ユニフェンス)</p> <p>●型式: ●歩車境界用既製ブロック・その他</p> <p>●種別: 溝 ●U字側溝 ・ 既製コンクリート金所 450角 蓋共 ・ 現場打コンクリート溝 ・ その他 蓋 ●コンクリートブロック製 ・ 鋳鉄製 ・ その他 (鋼製グレーチングT-6、T-2) (メーカー: ダイレック)</p>

<p>14</p> <p>植栽工事</p>	<p>6. 路面駐車場</p> <p>7. 渡り廊下</p> <p>8. 倉庫</p> <p>9. スロープ</p>	<p>●種類: ●ライン引(白) ●車止め ●その他 (障害者マーク1箇所)</p> <p>●渡り廊下C棟 改修 図示による。 ●渡り廊下D棟 改修 図示による。</p> <p>●アパ'倉庫(基礎共) 図示による ●詳細図による (SUS手摺・誘導ブロック)</p> <p>●植栽: 風除け支柱の種類 ・ 三脚 ・ 四脚 ●鳥居形 ●補償期間: 新植、移植および芝張りの補償期間 引渡し日より 1年間 ●芝張り: 種別 ・ 野芝 ●高らい芝 ・ その他 ( ) 客土 ・ 不要 ●要 2.00m/m 既設補栽移植</p>
	<p>15</p> <p>その他工事</p>	<p>① 室札 階数表示</p> <p>② 体育器具</p> <p>③ 舞台機構</p> <p>④ 椅子用台車</p> <p>⑤ トイレブース</p> <p>⑥ 階段滑り止め</p> <p>⑦ 点検口</p> <p>⑧ 手摺</p> <p>⑨ 大理石</p> <p>⑩ 汚重石</p> <p>⑪ 下足箱</p> <p>⑫ 天井廻縁</p> <p>⑬ カーテン</p> <p>⑭ カーテンレール</p> <p>⑮ 撤去工事</p> <p>⑯ 移設工事</p> <p>⑰ 解体工事</p> <p>18. 家屋調査</p> <p>⑱ 引越し</p>

工事区分表											
工事項目	建築	電気	機械	別途	備考	工事項目	建築	電気	機械	別途	備考
1						56					
2			○			57					
3						58			○		
4	○	○				59	○				
5	○					60			○		
6	○					61					
7	○					62					
8	○					63					
9	○					64	○		○		
10		○	○			65					
11	○	○	○			66					
12						67					
13						68					
14						69					
15						70			○		
16						71	○	○	○		仮設引き込み共
17						72					
18						73					○
19						74					
20						75					
21						76					
22						77					
23						78					
24			○			79					
25			○			80					
26			○			81					
27						82					
28			○			83					
29						84					
30						85					
31						86					
32			○			87					
33			○			88					
34			○			89					
35						90					
36						91					
37						92					
38						93					
39						94					
40						95			○		
41						96	○		○		
42						97					
43						98					
44						99					
45						100					
46						101	○	○	○		
47						102			○		
48						103					
49						104	○				
50						105					○
51						106			○		
52						107	○				
53						108			○	○	
54											
55			○								



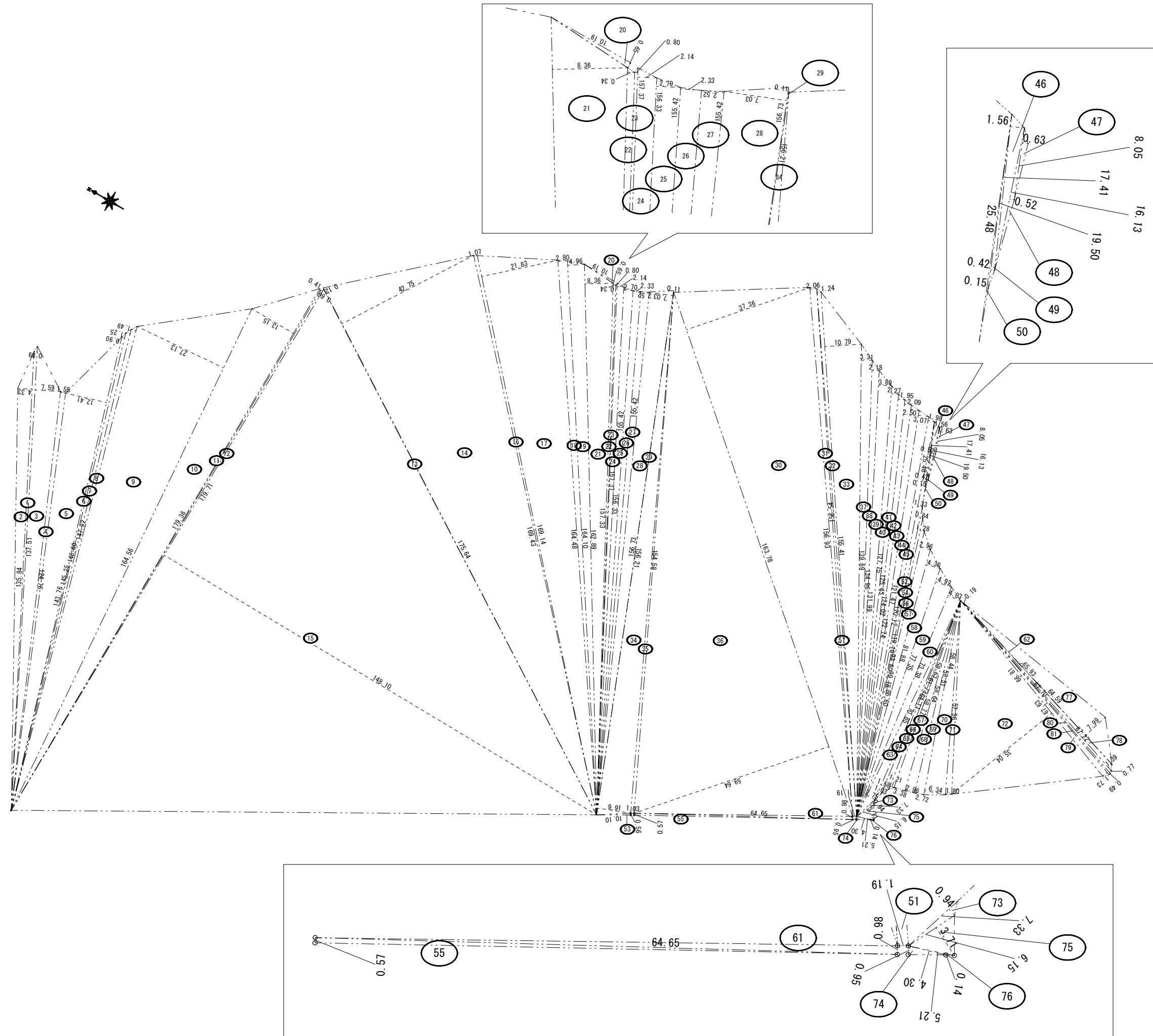
【既存】 屋外仕上表	1) 屋根	シート防水⑦0.8の上シムバ-仕上げ(責任施工、10年保障) ・アスファルト露出防水SCA-250 ・塗膜防水	【計画】 屋外仕上表	1) 屋根	ガルバリウム鋼板α0.6立平葺き 改質④ムアスファルト-フィング ア1.0	耐火野地複合板 ア43 幕板:断熱パネルt25 下地口-75x75x3.2	
	2) バラケット、笠木	防水モルタル金ゴテ押上、目地切②2,500(ホリザルファイト系シーラック充填)及び7mm笠木		2) バラケット、笠木 (屋内階段陸屋根)	既存下地処理の上露出アスファルト防水 トップコート(高反射系塗料)仕上		
	3) 軒裏	コンクリート打放し⑦アクリル系⑦シソ吹付⑦		3) 軒裏	大屋根:角波ガルバリウム鋼板 t0.6 RC部:外装薄塗材E		
	4) 樋	硬質塩ビ管φ100VP塗 養生管H=2,000 S.T.K41φ139.8x4.50P 把金物F.B25x3T番型OP@1200内外 軒樋 防水モルタル金ゴテ押上塗膜防水		JisA 6021 恒和化学工業 ハウダックス防水 同等品以上	4) 樋	谷樋:谷コイル 耐酸被膜鋼板α0.6下地高圧木毛セメント板α20 縦樋:カチ-VPφ100がみ物共 大屋根ドレイン 塩ビ自在ドレイン φ100 SUS網かへ付 谷樋立上り壁 ガルバリウム鋼板α0.6曲げ加工(下地同上) 養生管(南面のみ)SGP125A OPがみ物共 H=2000 大庇 中継ドレイン φ100	
	5) 外壁	(腰)コンクリート打放し H=750 (壁)コンクリート打放し(目地切)⑦アクリル系⑦シソ吹付⑦			5) 外壁	(壁および腰)可とう形改修塗材RE(ウレタン)ゆず肌 ローラー (外壁軒下ケバ部)断熱パネルt25 不燃認定品使用(NM-4912同等品)	
	6) 柱、梁型	同上		6) 柱、梁型	同上		
	7) 庇	防水モルタル金ゴテ押上 ⑥樋庇防水モルタル金ゴテ押上塗膜防水 JisA6021 [ 恒和化学工業、ハウダックス防水同等以上 ]		7) 庇	南庇 軒天 :高圧洗浄、劣化部補修、下地調整の上、外装薄塗材E塗装仕上 大庇 軒天 :可とう形改修塗材RE(ウレタン)ゆず肌 ローラー 大庇・南庇 上部 :表面補修処理の上 下地処理、ウレタン塗膜防水(立上り共) 大庇・南庇 側面 :表面補修処理の上 下地処理、可とう形改修塗材RE(ウレタン)ゆず肌ローラー	既設塗膜劣化部:剥離剤で除去後(石綿含有材撤去作業)、下地調整 (0-1) (部分的に隔離・飛散養生が必要) 既設笠木モルタル補修 浮き欠け等補修	
	8) 犬走り	砂利敷き⑦80 緑石120x120x600		8) 犬走り	コンクリートモルタル下地 EP塗装仕上(防滑性防塵塗料)		
	9) ホーチ	防水モルタル金ゴテ押上、目地切、段鼻、ノスリッパ 磁器タイル 下足箱 L1,200 x H1,800 x D300 4ヶ所		9) ホーチ(校舎側)	床:下地撤去補修の上 コンクリートモルタル下地150角タイル(ノスリッパ型)仕上、段鼻ノスリッパ 磁器タイル 下足箱1,250×400×1400 14台 (駐車場側については、下地処理の上防塵塗装仕上)	掃除用具入(×2) ウォータークーラー(×1) (冷水専用水道直結式):パナソニックウォータークーラー(SD-P205A)同等品	
	10) 側溝	U-300c、水勾配モルタル塗、コンクリート製蓋付(1種)		10) 側溝	U-300c、水勾配モルタル塗、コンクリート製蓋付(1種)		
	11) 屋外非常階段	(床)防水モルタル(段鼻)ノスリッパ 磁器タイル(手摺壁)外側:合板リッ付型枠打放し吹付タイル、内側:モルタル金ゴテアクリル系⑦シソ塗		(笠木)防水モルタル金ゴテ押上 (段裏)合板型枠打放し (アクリル系⑦シソ吹付)	11) 屋外非常階段	(床)防水モルタル(段鼻)ノスリッパ(SUS製)(手摺壁)外側:外壁同仕様 内側:外壁同仕様	(笠木)既設下地処理の上外壁同仕様(色:グレー)
	12) 足洗場	(2ヶ所)詳細図参照			13) 流し台(手洗い)	コンクリート打設 + モルタル仕上 W2,500 x D700	(段裏)外壁同仕様
	13) 流し台(手洗い)	コンクリート打設 + モルタル仕上 W2,500 x D700		14) 換気口	7mmガラリ		

階	室名	床	巾木	腰	壁	天井	天井高	カーテン カーテンレール カーテンボックス	室名札	備考
1階	球技場	(鋼製床組) ラン(T.)合板⑩12捨貼り ナフコリング 乱尺貼り⑩15 ウレタン樹脂塗 (特殊工法)	木製 H=100 OP	(正面) シ合板⑨0.0底目地貼 OP(H=3000) (背面) 有孔シ合板⑨0.0(寒冷紗貼ロッカー⑨50充填OP)	(正面) シ合板⑨0.0底目地貼 OP (背面) 有孔シ合板⑨0.0(寒冷紗貼ロッカー⑨50充填OP)	シムバ-ケル版 ホリザン吹付⑩10		○		姿見鏡1500x1800、目盛付黒板600x2500 7mm枠床下点検口600x600 各コートライン
	ステージ	同上	同上	シ合板⑨6 底目地貼りOP	シ合板⑨6 底目地貼り OP	ブドウ棚				移動式階段 ブドウ棚 舞台装置一式
	女子バスケット部室	⑩ニルマス⑩スタイル⑩2.0貼り	同上	シ合板⑨6 底目地貼りOP モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	シ合板⑨6 底目地貼り OP モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	化粧石膏ボード⑨9(LGS下地残し)	2,300	○	○	平面黒板1500x900
	放送室	仕織カーペット敷き⑦7.0 (01C程度)	同上	有孔シ合板⑨6(寒冷紗貼、ロッカー⑨50充填)OP	有孔シ合板⑨6(寒冷紗貼、ロッカー⑨50充填) OP	岩綿吸音板⑩12貼(天井裏ロッカー⑨50敷) 石膏ボード⑨9捨貼撤去(下地共)	同上	○	○	のぞき窓 天井点検口 平面黒板1500x900
	器具庫(1・2)	⑩ニルマス⑩スタイル⑩2.0貼り	同上	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	化粧石膏ボード⑨9	同上	○	○x2	天井点検口
	卓球部室(男子・女子)	⑩長尺塩ビシート⑩2.5張り(下地モルタル)	⑩ソフト巾木 H=100	同上	同上	⑩石綿ケイ酸カルシウム板⑩6 A.E.P	同上	○	○x2	脱衣棚 L1,350xH900xD360(木製 2ヶ所) 天井点検口
	シャワー室(男子・女子)	25角磁器タイル貼(下地防水モルタル)	100角半磁器タイル	100角半磁器タイル	100角半磁器タイル	同上	2,500			カーテンレール ビニールカーテン ゴム製マット
	便所(男子・女子)	同上 下部ビッド 防水モルタル塗り	同上	同上 H=1,300	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	⑩石綿ケイ酸カルシウム板⑩6 E.P	2,400		○x2	トイレ-ス、天井点検口
ステージ台車入	モルタル金ゴ								椅子収納台車(10台)	
2階	キャットウォーク	モルタル金ゴ押え	木製 H=100 OP	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	コンクリート打放し補修の上ホリザン吹付		○		手摺
	卓球場	⑩長尺塩ビシート⑩2.5貼り(下地モルタル)	同上	有孔シ合板⑨6.0寒冷紗貼、ロッカー⑨50充填、OP モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	有孔シ合板⑨6(寒冷紗貼、ロッカー⑨50充填 OP) モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	シムバ-ケル版 ホリザン吹付⑩10 一部、化粧石膏ボード⑨9.0		○		手摺
共通	階段室卓球場	⑩長尺塩ビシート⑩2.5貼り(下地モルタル)	モルタル金ゴテ押上E.P	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	モルタル金ゴテ押上 [E.P.]	化粧石膏ボード⑨9				下足入、詳細図参照

1階	球技場	(鋼製床組) 鋼製床下地 構造用合板α15 カーキア7-塗装品特殊張α18 表層6mmホリザン塗装	杉板材(赤節)α12 H=100 ウレタン塗装	同右	LGS65下地合板t9+杉板材t12本実(赤節有)ウレタン塗装 (既存壁仕上)に上張り)胴縁(45x18)+合板t9+杉板t12本実(赤節有)U塗装 (上部張出部)LGS下地新設+合板t9+ホリザン無地貼 t12 H100本実+ウレタン塗装 球技場上部:既存壁クランク処理、下地調整の上、EP(梁上部:LGS下地 シ合板+SOP)	(上部)鉄骨部 結露防止塗装 (C) 木毛セメント板仕上		○		姿見鏡1500x1800 7mm枠床下点検口600x600 各コートライン
	ステージ	同上	米松H=100mmウレタン塗	同右	(既存壁仕上)に上張り)胴縁(45x18)+合板t9+シ合板t6+ウレタン塗装	ブドウ棚 既存鉄骨下地処理SOP塗装				移動式階段 ブドウ棚 舞台装置一式
	女子バスケット部室	鋼製床下地 構造用合板α15 カーキア7-塗装品特殊張α18表層6mm ホリザン塗装 (入口)モルタル下地 長尺塩ビシートA	同上	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装 (既存壁仕上)に上張り)胴縁(45x18)+合板t9+シ合板t6+ウレタン塗装	ロッカーt50+GB-R t9.5 + 岩綿吸音板 t12 新設(既存下地LGS利用)	2,300	○	○	カーテンボックス、カーテン(レール共) 木製階段、木製見切、塩ビ廻縁(コ型)
	放送室	鋼製床下地 構造用合板α15 カーキア7-塗装品特殊張α18表層6mm ホリザン塗装 (入口)モルタル下地 長尺塩ビシートA	同上	同右	(既存壁木下地残しロッカー、合板新設) 木下地 有孔シ合板t6(寒冷紗貼、ロッカーt25充填)OP 既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装 LGS下地GB-R12.5+ケイカルt6	ロッカーt50+GB-R t9.5 + 岩綿吸音板 t12 新設(既存下地LGS利用)	同上	○	○	のぞき窓 天井点検口 平面黒板1500x900
	男女卓球部室(1・2)	モルタル下地長尺塩ビシートA	木製 H=100 OP	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装 LGS下地GB-R12.5+ケイカルt6	LGS下地+ケイカル板 t6 + EP塗装	同上		○x2	天井点検口
	器具庫(1・2)	下地処理の上 長尺塩ビシート A	木製 H=100 OP	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装	GB-D t9.5 (既存天井仕上)に上張り	同上		○x2	天井点検口 カーテン無
	多目的トイレ	土間コンクリートt=120、軽量コンクリートt=90 モルタル下地長尺塩ビシートB t=2.0	長尺床シート巻上 H=200	同右	LGS下地 GB-S t12.5の上化粧ケイカル板 t6(ジョイナー納まり) (ロッカー t50)	LGS下地 GB-R t12.5 + ケイカル板 t6 + EP塗装	2,300		○	暖房便座 ウォッシュレット ハビ-チア ハビ-ヘッド ビッドサイン ストリート電気温水器(節電型) 手洗い前鏡設置(W450xH800)
	便所(男子・女子)	同上	同上	同右	LGS下地 GB-S12.5の上化粧ケイカル板α6(ジョイナー納まり) (ロッカー t50) GL下地 GB-S t12.5の上化粧ケイカル板 t6(ジョイナー納まり)	LGS下地 GB-R t12.5 + ケイカル板 t6 + EP塗装	2,300		○x2	トイレ-ス、天井点検口 コンセント設置(暖房便座用) 手洗い前鏡(W450xH600)×3(男女共) 男子手洗い下部に補助水栓設置 床下点検口(600角)
ステージ台車入	既存モルタル金ゴ				既設モルタル下地処理、クランク処理の上 EP				椅子収納台車(8台) 万能台車(4台)	
2階	キャットウォーク	モルタル金ゴ押え 下地処理の上塗床	木製 H=100 OP	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装	(上部)鉄骨部 結露防止塗装 (C) (キャットウォーク下)LGS + シ合板 + EP塗装		○		手摺:下地処理の上錆止めSOP ノンスリップ
	卓球場	モルタル下地長尺塩ビシートA (縦衝シート)	同上	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装 溝形LGS下地有孔シ合板 t6 底目地張り (寒冷紗ロッカー t25 充填)	鉄骨部 結露防止塗装 (C) (一部 LGS + ケイカル板 t6 寒冷紗 + ロッカー t25 充填)		○		手摺:下地処理の上錆止めSOP 笠木:大理石 カーテンボックス、カーテン(レール共)、木製天井見切
共通	階段室卓球場	モルタル下地長尺塩ビシート A	既設下地処理の上 モルタル金ゴ押上 E.P	同右	既存壁クランク処理、非劣化部は既存塗膜下地調整の上、EP塗装	LGS + ケイカル板 t6 + EP塗装(階段部)				既設手摺表面処理の上SOP塗装 段鼻ノンスリップ

【既存】 凡例・ 特記事項	凡例 EP:合成樹脂コンパネ⑦イント(3回塗) AEP:合成樹脂アクリル系コンパネ⑦イント(3回塗) OP:合成樹脂調合⑦イント(3回塗)	特記事項 1)床仕上げにて、ビニールマス⑩スタイル及び長尺塩ビシートは1.2階共、ホリザン系接着剤使用のこと 2)カーテン、暗幕は防炎加工品とする、ひだの種類はB種とする 3)7mm床組(鋼製床組)及び、フロリング乱尺貼り(特殊工法)は責任施工とする 4)屋根工法は、シムバ-ケル工法(SCS版)とし、責任施工とする ⑩ニルマス使用部分を示す。【計画】欄記載は、封じ込め箇所および方法を示す。 封じ込め措置に石綿飛散防止剤等を使用場合は、 法第37条第2項に基づき認定を受けたものを使用する事。	【計画】 凡例・ 特記事項	(C) 屋根工事 (T) トイレ改修工事 特記外改修工事 ・外壁内壁ひび割れ大きい部分補修 ウレタン充填工法 ひび割れ小さい部分補修 シール充填工法 ・LGS壁下地は⑩303とする。※内装材はすべて☆☆☆☆の材料を使用する(天井裏も同様とする)。 ・壁コンクリート(梁・軒樋等)撤去部:15mmハツリ込み鉄筋防止の上樹脂モルタルにて補修の事。 ・塗床は特記なき限り防滑工法はα1.2mm 一般工法はα0.8mmとすること。 ・既設部分への塗装は特記ある部分及び特記なき部分についてもケレン(RB種)の仕上を行う事。 ・既設面への仕上は下地処理・清掃の上仕上を行う事。 ・外壁面は高圧洗浄工法、下地調整、クランク補修の上仕上する事。 ・特記なき限りガルバリウム鋼板はカーガガルバリウム鋼板とする。	・底目地貼の目地底は7mm二重貼とすること。 ・塗装の下地調整[既存塗膜除去共]はRB種とすること。 ・塗装の塗回数は特記なき限り公共建築工事標準仕様書に準じること。 ・特記なき限り外部サッシ入替えの箇所は防水モルタルとすること。 ・特記なき限り外部サッシ廻りコーキング撤去の上打ち替えのこと。 ・撤去及び移設工事は係員と協議し既設クランクの上行う事。 ・カーテン、暗幕は防炎加工品とする、ひだの種類はB種とする。 ・7mm床組(鋼製床組)及び、フロリング貼りは責任施工とする。 ・内部仕上材については、全てF☆☆☆☆を使用とする。
	・室名札、平付型、表示部、塩ビ製(270x84x16) 支持金具7mm(文字入共含) ・カーテン(一般) (株)川島織物、ビ7A同等品以上 (競技場、卓球場、ギャラリー) 暗幕カーテン (株)川島織物、ブラインド-500同等品以上	各主要構造部仕様 準耐火(ロ-2)(主要構造部不燃)告示第1400号 屋根:ガルバリウム鋼板 t0.6 梁:RSL以上:鉄骨造 RSL以下:鉄筋コンクリート造 柱・床・外壁・階段:鉄筋コンクリート造			

特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達夫	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事	承認	検閲	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
図面名称 【既存・計画】仕上表		縮尺 - (A2) - (A3)	訂正年月日	図面No. A-08				



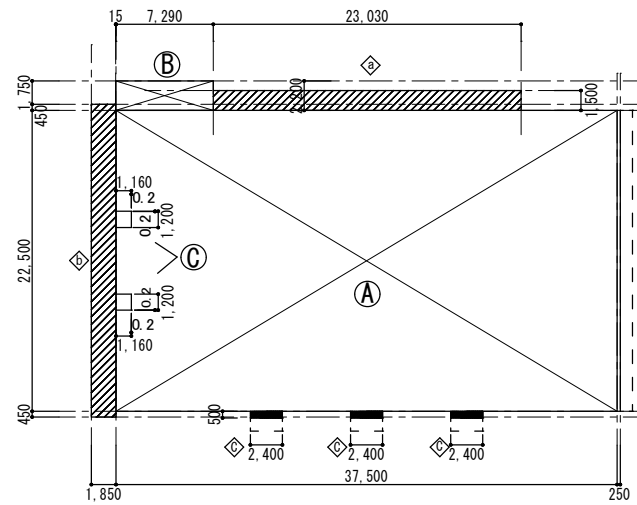
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	137.51	0.89	122.3839	61.19195
2	135.84	4.33	588.1872	294.09360
3	137.51	7.59	1,043.7009	521.85045
4	124.76	1.55	193.3780	96.68900
5	143.76	12.41	1,784.0616	892.03080
6	145.25	0.90	130.7250	65.36250
7	146.60	1.25	183.2500	91.62500
8	147.92	1.49	220.4008	110.20040
9	164.56	27.13	4,464.5128	2,232.25640
10	179.36	13.15	2,358.5840	1,179.29200
11	179.36	0.41	73.5376	36.76880
12	179.71	0.66	118.6086	59.30430
13	175.64	0.12	21.0768	10.53840
14	175.64	42.75	7,508.6100	3,754.30500
15	179.71	148.10	26,615.0510	13,307.52550
16	169.43	1.07	181.2901	90.64505
17	169.14	21.83	3,692.3262	1,846.16310
18	164.48	2.80	460.5440	230.27200
19	164.10	4.96	813.9360	406.96800
20	10.19	0.65	6.6235	3.31175
21	162.89	8.36	1,361.7604	680.88020
22	157.33	0.80	125.8640	62.93200
23	157.37	0.34	53.5058	26.75290
24	157.37	2.14	336.7718	168.38590
25	156.33	2.70	422.0910	211.04550
26	155.42	2.33	362.1286	181.06430
27	155.42	2.52	391.6584	195.82920
28	156.73	7.03	1,101.8119	550.90595
29	156.73	0.11	17.2403	8.62015
30	163.78	37.36	6,118.8208	3,059.41040
31	156.93	2.06	323.2758	161.63790
32	156.54	1.24	194.1096	97.05480
33	155.41	10.79	1,676.8739	838.43695
34	156.21	9.91	1,548.0411	774.02055
35	154.58	1.03	159.2174	79.60870
36	163.78	59.64	9,767.8392	4,883.91960
37	139.69	3.31	462.3739	231.18695
38	134.96	2.18	294.2128	147.10640
39	131.99	3.89	513.4411	256.72055
40	127.75	2.27	289.9925	144.99625
41	125.43	1.95	244.5885	122.29425
42	124.02	2.09	259.2018	129.60090
43	122.74	2.50	306.8500	153.42500
44	121.47	3.07	372.9129	186.45645
45	120.12	1.98	237.8376	118.91880
46	17.41	1.56	27.1596	13.57980
47	8.05	0.63	5.0715	2.53575
48	16.13	0.52	8.3876	4.19380
49	19.50	0.42	8.1900	4.09500
50	25.48	0.15	3.8220	1.91100
51	156.54	1.19	186.2826	93.14130
52	119.10	1.33	158.4030	79.20150
53	10.10	0.56	5.6560	2.82800
54	93.50	0.84	78.5400	39.27000
55	64.65	0.57	36.8505	18.42525
56	90.18	1.28	115.4304	57.71520
57	86.60	2.96	256.3360	128.16800
58	81.88	4.30	352.0840	176.04200
59	77.35	4.92	380.5620	190.28100
60	73.38	4.03	295.7214	147.86070
61	64.65	0.98	63.3570	31.67850
62	65.93	0.19	12.5267	6.26335
63	70.85	2.75	194.8375	97.41875
64	64.11	1.03	66.0333	33.01665
65	61.73	1.58	97.5334	48.76670
66	59.67	1.21	72.2007	36.10035
67	58.77	3.38	198.6426	99.32130
68	58.64	2.96	173.5744	86.78720
69	58.51	2.72	159.1472	79.57360
70	58.44	6.34	370.5096	185.25480
71	57.56	1.80	103.6080	51.80400
72	66.81	35.04	2,341.0224	1,170.51120
73	7.33	0.94	6.8902	3.44510
74	4.30	0.95	4.0850	2.04250
75	6.15	3.71	22.8165	11.40825
76	5.21	0.14	0.7294	0.36470
77	64.59	7.99	516.0741	258.03705
78	67.22	1.39	93.4358	46.71790
79	67.63	1.73	116.9999	58.49995
80	67.70	0.77	52.1290	26.06450
81	67.70	0.49	33.1730	16.58650
合 計				42,070.51600
敷地面積				42,070.51 m <sup>2</sup>

特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。

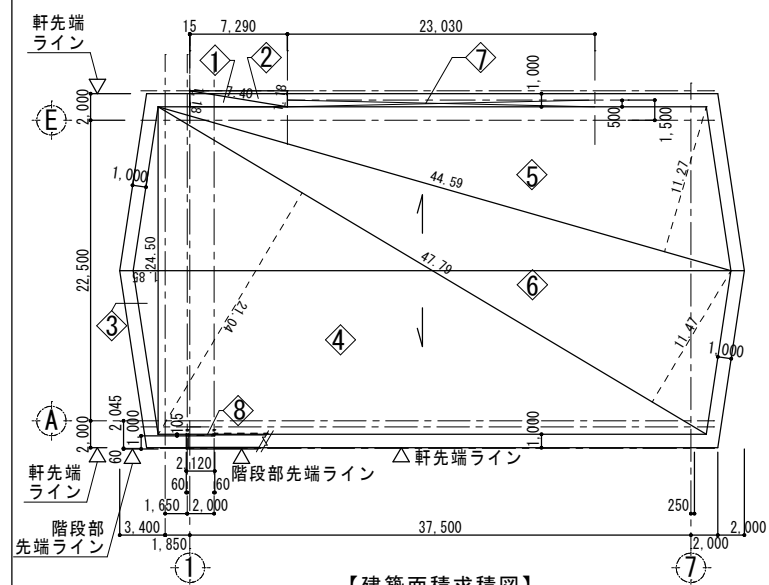
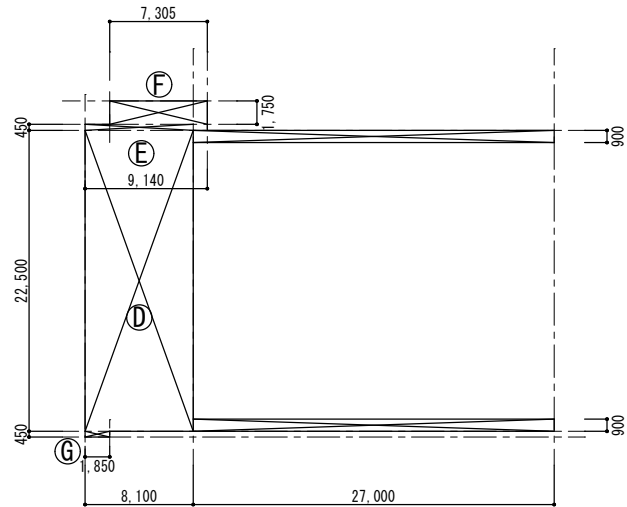
株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
図面名称 【既存・計画】敷地求積図

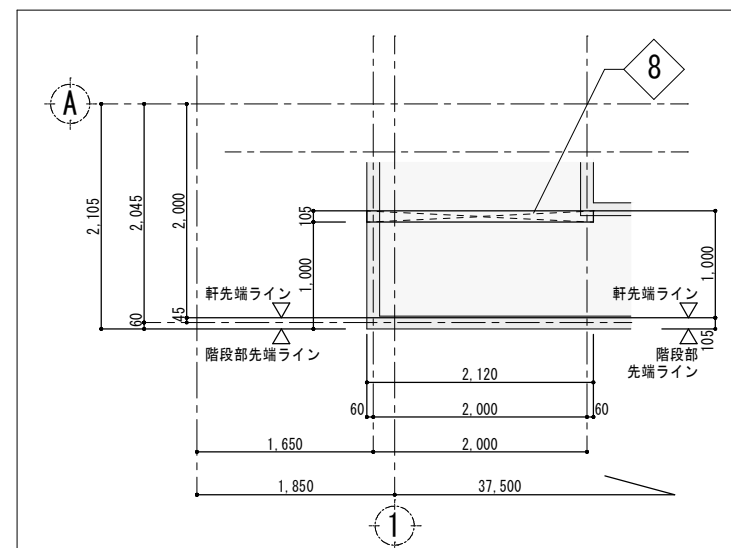
縮尺 1/800 (A2) 1/1,127 (A3)  
承認 核図 設計 製図  
作図年月日 2022.11. 提出図  
訂正年月日 図面No. A-09



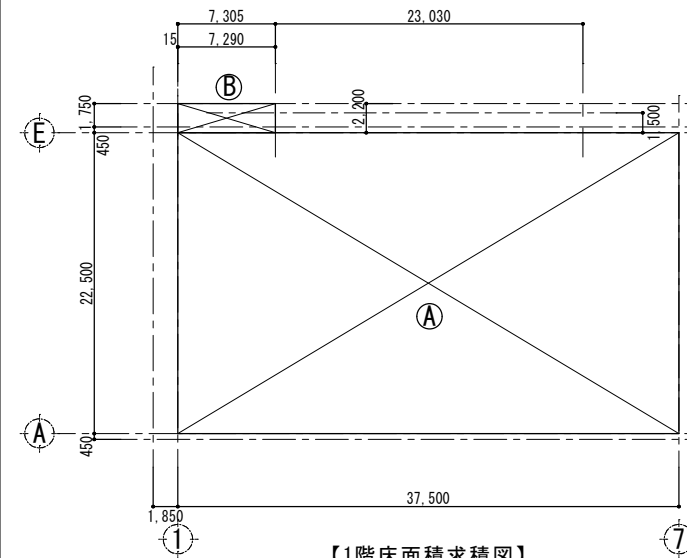
【既存】 求積図 S=1/400



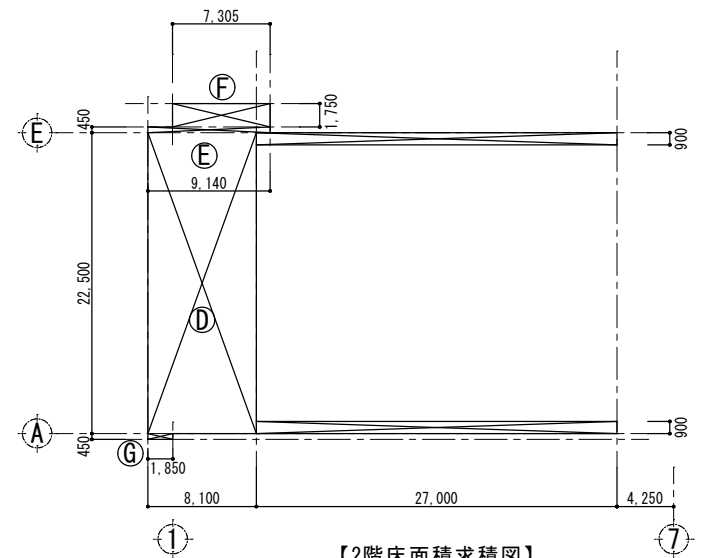
【建築面積求積図】



8 部拡大図 S=1/50



【1階床面積求積図】



【2階床面積求積図】

【計画】 求積図 S=1/400

※キョットワークについては、保守点検等一時的な使用を目的としている為、床面積対象外扱いとなります。

床面積			建築面積			床面積(容積対象面積)			建築面積			
⊙A	$37.500 \times 22.500 = 843.750$	⊙E	$9.140 \times 0.450 = 4.113$		(1階床面積) = 857.077	⊙A	$37.500 \times 22.500 = 843.750$	⊙E	$9.140 \times 0.450 = 4.113$	◇1	$7.40 \times 1.18 / 2 = 4.36600$	
⊙B	$7.305 \times 2.200 = 16.071$	⊙F	$7.305 \times 1.750 = 12.784$	◇a	$23.030 \times 1.500 = 34.545$	⊙B	$7.305 \times 2.200 = 16.071$	⊙F	$7.305 \times 1.750 = 12.784$	◇2	$7.40 \times 1.18 / 2 = 4.36600$	
⊙C	$\Delta (1.160 \times 1.200 - 0.2 \times 0.2 \times 1/2) \times 2 = 2.744$	⊙G	$1.850 \times 0.450 = 0.833$	◇b	$1.850 \times 23.400 = 43.290$	○		⊙G	$1.850 \times 0.450 = 0.833$	◇3	$24.50 \times 1.85 / 2 = 22.66250$	
○	1F計 857.077		2F計 199.980	◇c	$2.400 \times 500 \times 3 = 3.600$	○	1F計 859.83		2F計 199.98	◇4	$47.79 \times 21.04 / 2 = 502.75080$	
⊙D	$8.100 \times 22.500 = 182.250$		延面積 1057.057	◇d	$250 \times 22.500 = 5.625$	合計 944.137	⊙D	$8.100 \times 22.500 = 182.250$		延面積 1,059.81	◇5	$44.59 \times 11.27 / 2 = 251.26465$
										◇6	$47.79 \times 11.47 / 2 = 274.07565$	
										◇7	$23.03 \times 0.5 = 11.51500$	
										◇8	$2.12 \times 0.105 = 0.2226$	
										合計	1,071.23	

建蔽率：4675.22 / 42070.51\*100=11.12%

容積率：7003.59 / 42070.51\*100=16.65%

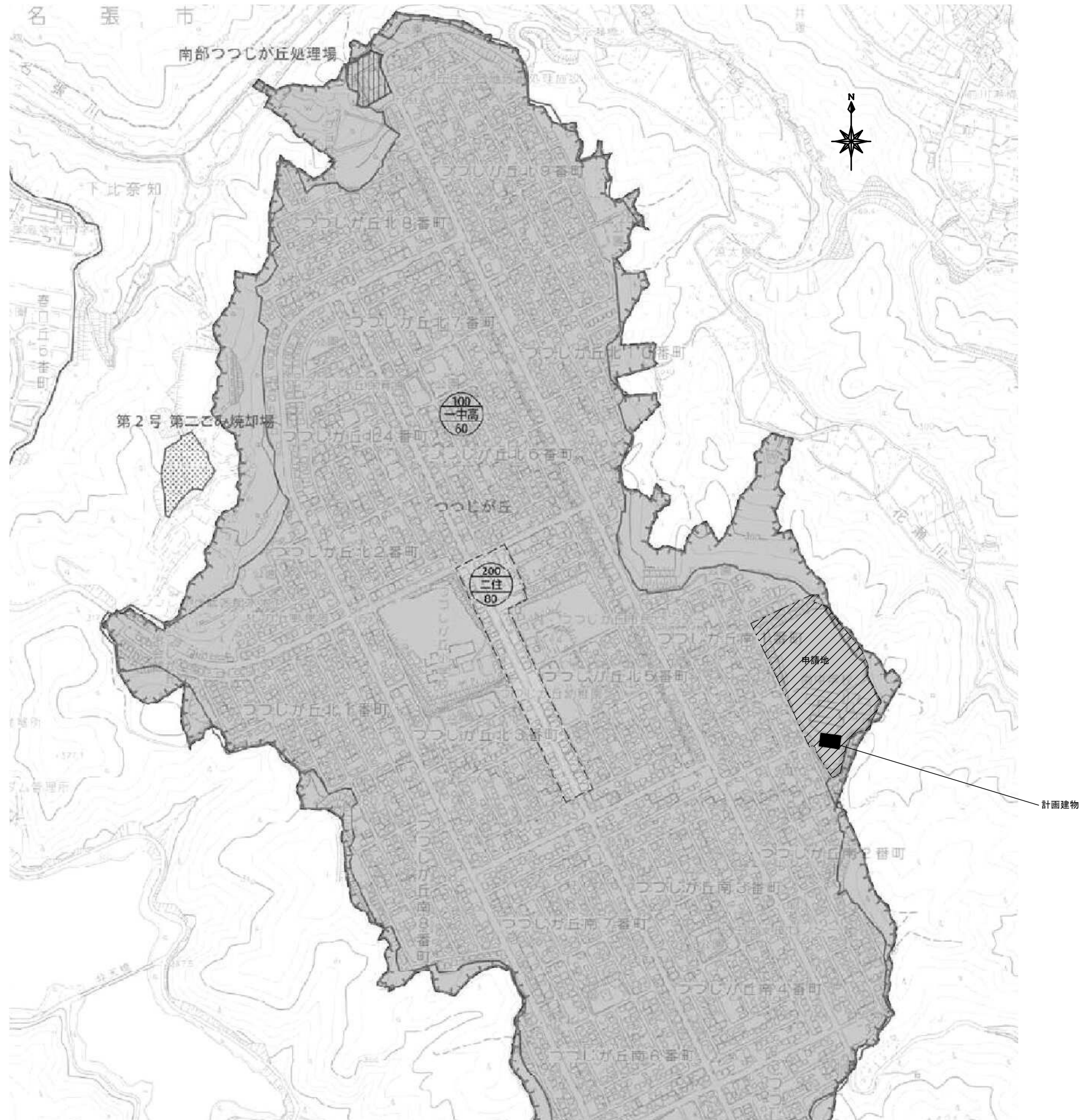
※全体の建築面積と容積対象面積は配置図による。

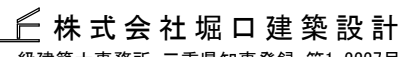
特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は7%のサイズとする。

株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
図面名称 【既存・計画】 求積図

縮尺 1/400 (A2) 1/563 (A3)  
承認 概図 設計 製図  
作図年月日 2022.11. 提出図  
訂正年月日 図面No. A-10



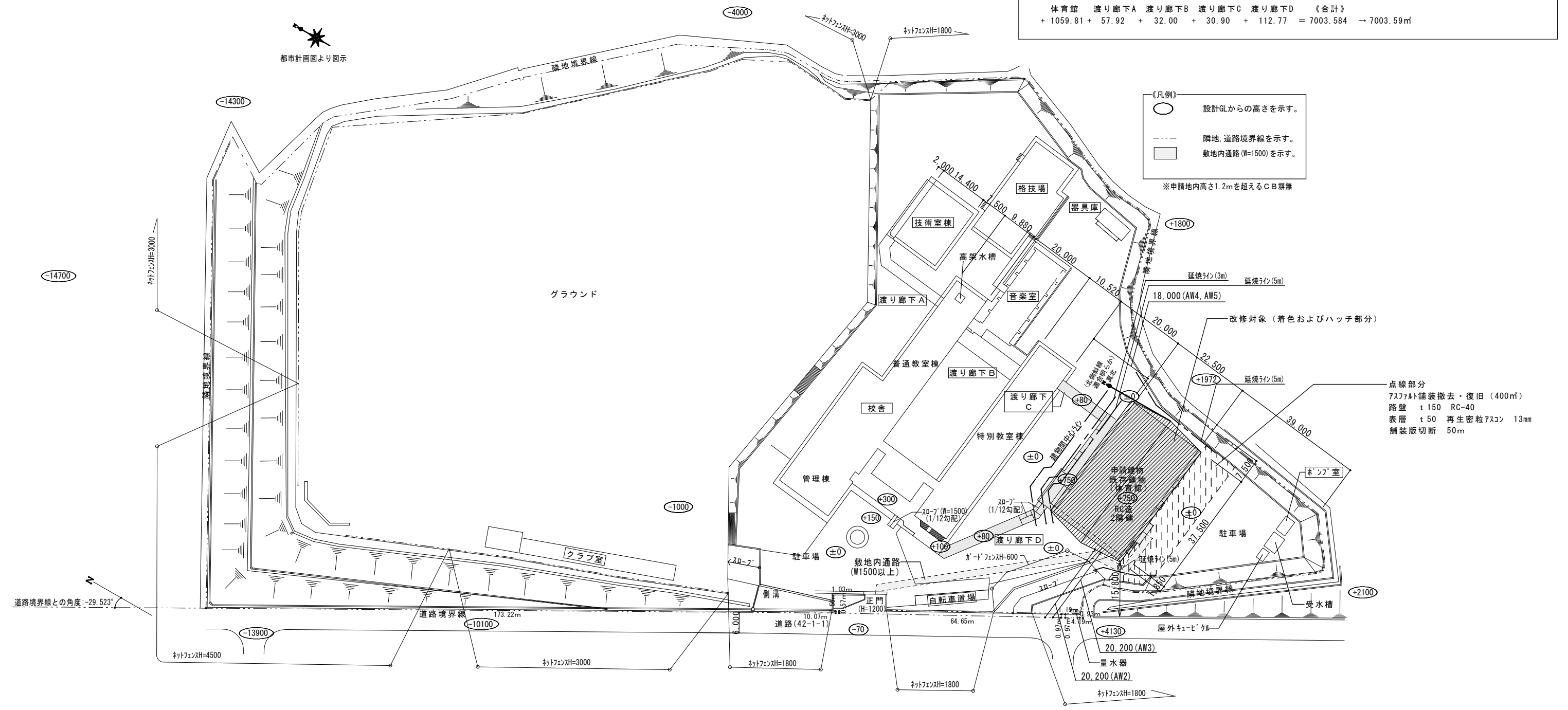
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	 <b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 <b>南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)</b>	承認 検図 設計 製図	作図年月日 2022.11. 訂正年月日	種別 <b>提出図</b> 図面No. <b>A-11-1</b>

【建築面積】

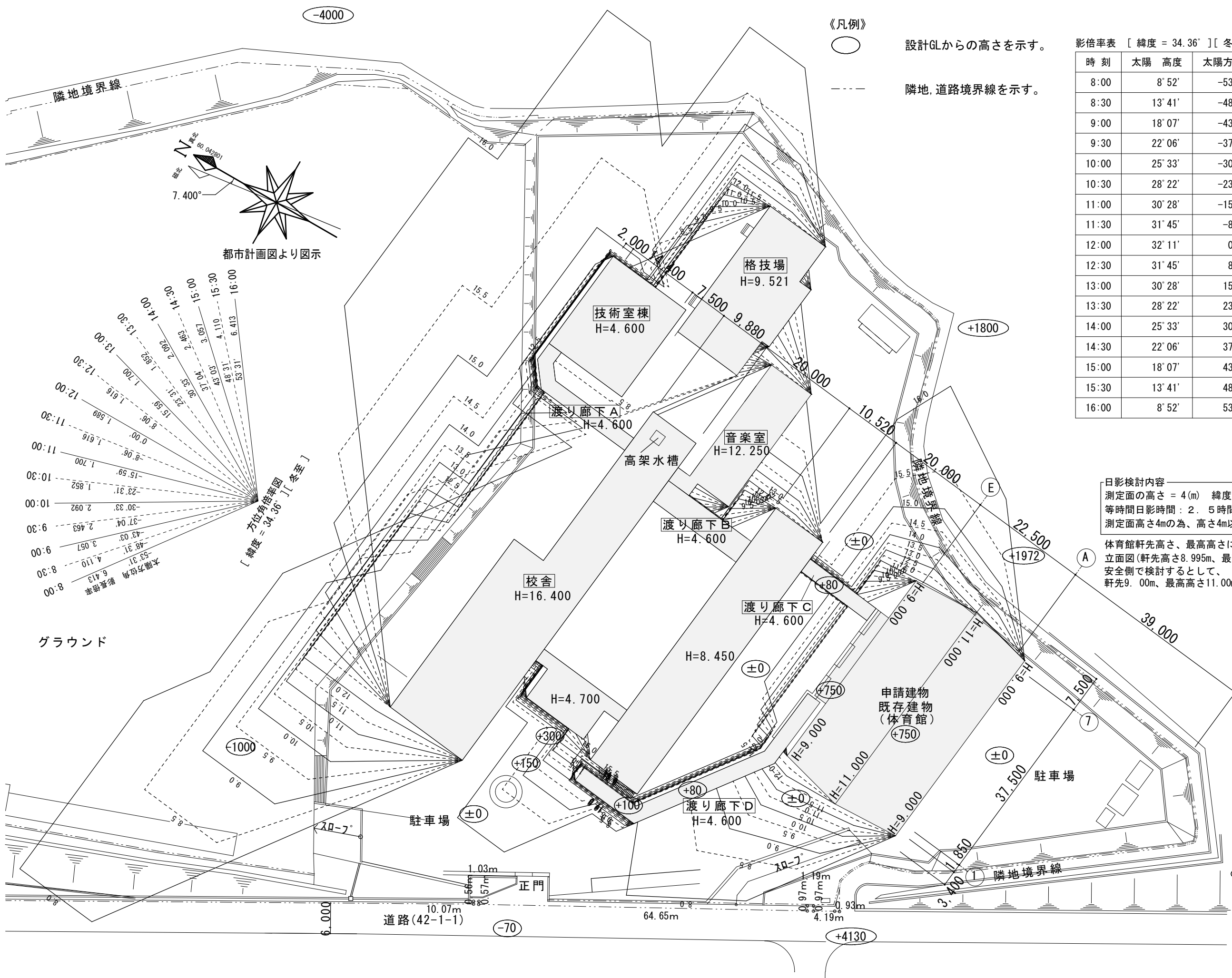
確認申請時 既存建物全体面積 (概要書参照)	既存体育館面積 (求積図参照)	計画体育館面積 (求積図参照)	格技場 (概要書参照)	音楽室 (概要書参照)	【合計】
3591.181	- 944.137	+ 1071.23	+ 484.94	+ 472.00	= 4675.214 → 4675.22㎡

【延床面積】(容積対象面積)

技術室	格技場	器具庫	音楽室	校舎	クラブ室	自転車置場	ホッパ室
265.68	+ 433.79	+ 41.085	+ 1053.200	+ 3631.199	+ 252.51	+ 17.12	+ 15.60
体育館 渡り廊下A 渡り廊下B 渡り廊下C 渡り廊下D 【合計】							
+ 1059.81 + 57.92 + 32.00 + 30.90 + 112.77 = 7003.584 → 7003.59㎡							



	校舎	技術室棟	音楽室	格技場	クラブ室	器具庫	自転車置場	ホッパ室	渡り廊下A	渡り廊下B	渡り廊下C	渡り廊下D
構造	RC造 3階建(一部2階建)	RC造 平屋建	RC造 3階建	鉄骨造 平屋建	CB造 平屋建	CB造 平屋建	鉄骨造 平屋建	CB造 平屋建	鉄骨造 平屋建	鉄骨造 平屋建	鉄骨造 平屋建	鉄骨造 平屋建
高さ	16.400m	4.600m	12.250m	9.521m	3.400m	3.300m	2.233m	3.400m	4.600m	4.600m	4.600m	4.600m
延床面積	3631.199㎡	265.680㎡	1053.200㎡	433.790㎡	252.510㎡	41.085㎡	17.120㎡	15.600㎡	57.920㎡	32.000㎡	30.900㎡	112.770㎡



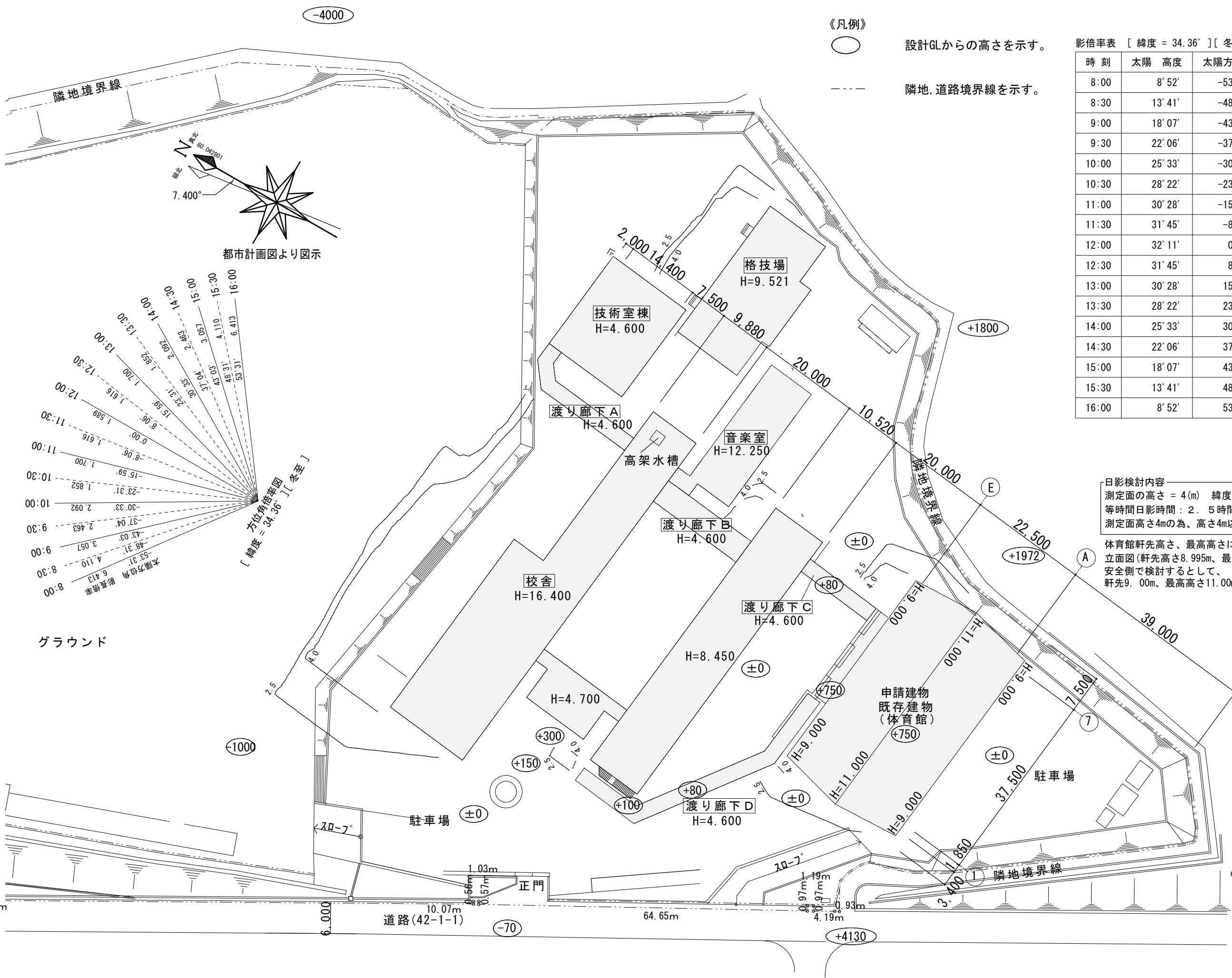
《凡例》  
 ○ 設計GLからの高さを示す。  
 - - - 隣地、道路境界線を示す。

影倍率表 [緯度 = 34.36°][冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	8°52'	-53°31'	6.413	-5.157	3.813
8:30	13°41'	-48°31'	4.110	-3.078	2.723
9:00	18°07'	-43°03'	3.057	-2.086	2.234
9:30	22°06'	-37°04'	2.463	-1.484	1.965
10:00	25°33'	-30°33'	2.092	-1.064	1.801
10:30	28°22'	-23°31'	1.852	-0.739	1.698
11:00	30°28'	-15°59'	1.700	-0.468	1.635
11:30	31°45'	-8°06'	1.616	-0.228	1.600
12:00	32°11'	0°00'	1.589	0.000	1.589
12:30	31°45'	8°06'	1.616	0.228	1.600
13:00	30°28'	15°59'	1.700	0.468	1.635
13:30	28°22'	23°31'	1.852	0.739	1.698
14:00	25°33'	30°33'	2.092	1.064	1.801
14:30	22°06'	37°04'	2.463	1.484	1.965
15:00	18°07'	43°03'	3.057	2.086	2.234
15:30	13°41'	48°31'	4.110	3.078	2.723
16:00	8°52'	53°31'	6.413	5.157	3.813

日影検討内容  
 測定面の高さ = 4(m) 緯度 = 34.36° [冬至] 測定時間: 8時~16時  
 等時間日影時間: 2.5時間及び4時間  
 測定面高さ4mの為、高さ4m以下の建物については、検討対象外となります。

体育館軒先高さ、最高高さについては、  
 立面図(軒先高さ8.995m、最高高さ10.980)より転記。  
 安全側で検討するとして、  
 軒先9.00m、最高高さ11.00mの数値で検討いたしております。



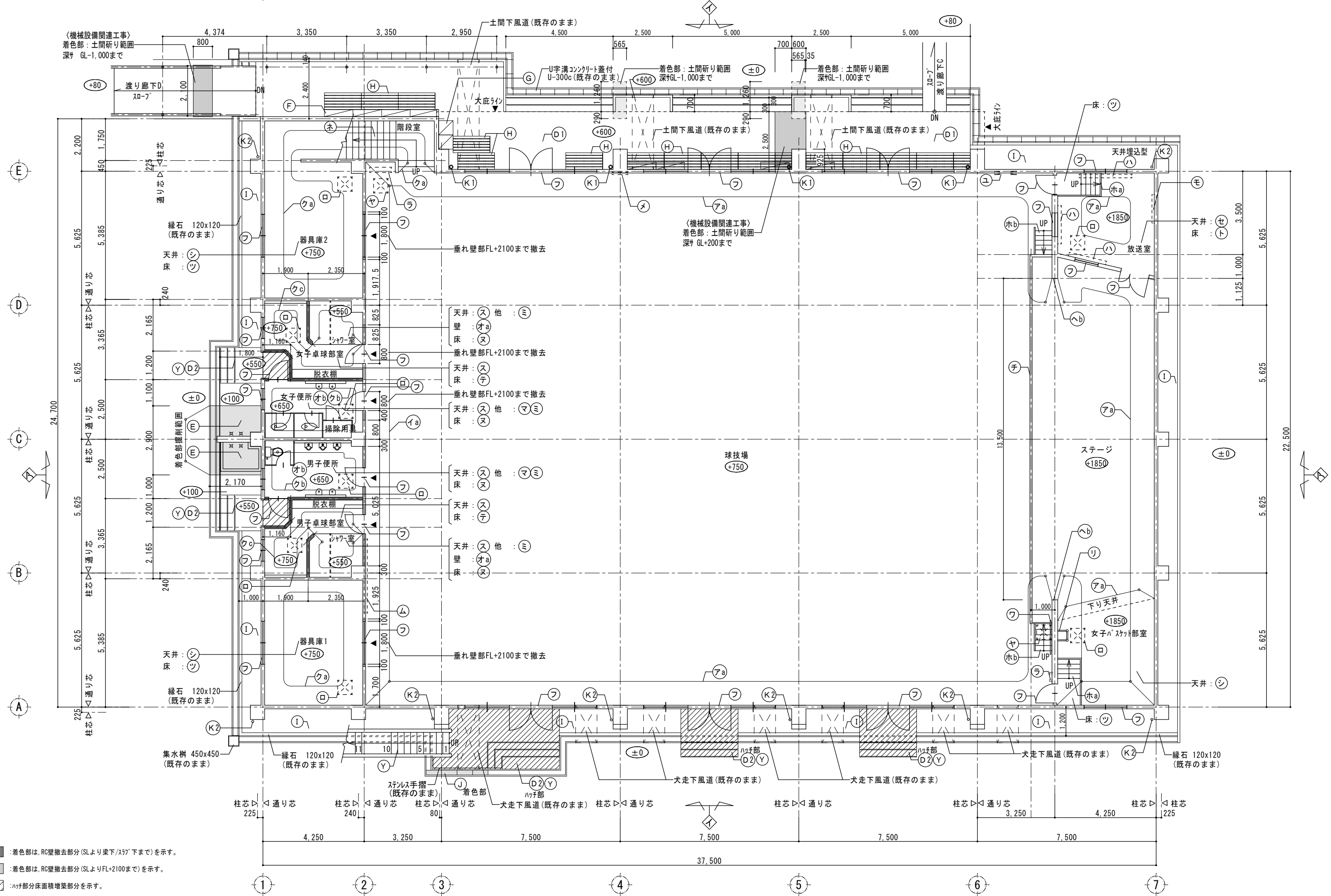
《凡例》  
 ○ 設計GLからの高さを示す。  
 - - - 隣地、道路境界線を示す。

影倍率表 [緯度 = 34.36°][冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	8°52'	-53°31'	6.413	-5.157	3.813
8:30	13°41'	-48°31'	4.110	-3.078	2.723
9:00	18°07'	-43°03'	3.057	-2.086	2.234
9:30	22°06'	-37°04'	2.463	-1.484	1.965
10:00	25°33'	-30°33'	2.092	-1.064	1.801
10:30	28°22'	-23°31'	1.852	-0.739	1.698
11:00	30°28'	-15°59'	1.700	-0.468	1.635
11:30	31°45'	-8°06'	1.616	-0.228	1.600
12:00	32°11'	0°00'	1.589	0.000	1.589
12:30	31°45'	8°06'	1.616	0.228	1.600
13:00	30°28'	15°59'	1.700	0.468	1.635
13:30	28°22'	23°31'	1.852	0.739	1.698
14:00	25°33'	30°33'	2.092	1.064	1.801
14:30	22°06'	37°04'	2.463	1.484	1.965
15:00	18°07'	43°03'	3.057	2.086	2.234
15:30	13°41'	48°31'	4.110	3.078	2.723
16:00	8°52'	53°31'	6.413	5.157	3.813

日影検討内容  
 測定面の高さ = 4(m) 緯度 = 34.36° [冬至] 測定時間: 8時~16時  
 等時間日影時間: 2.5時間及び4時間  
 測定面高さ4mの為、高さ4m以下の建物については、検討対象外となります。

体育館軒先高さ、最高高さについては、  
 立面図(軒先高さ8.995m、最高高さ10.980)より転記。  
 安全側で検討するとして、  
 軒先9.00m、最高高さ11.00mの数値で検討いたしております。



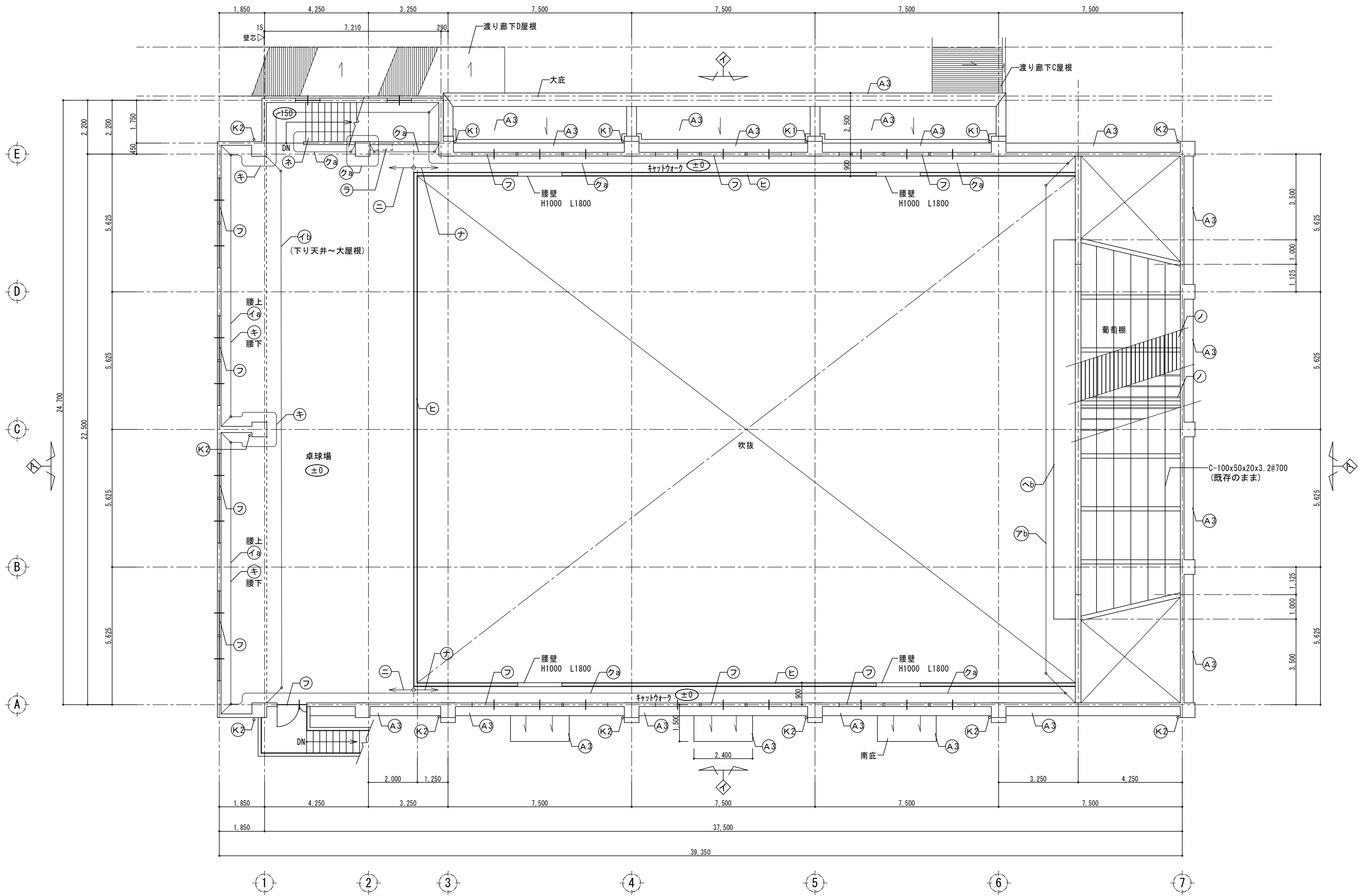
- : 着色部は、RC壁撤去部分 (SLより梁下/ス7'下まで) を示す。
- : 着色部は、RC壁撤去部分 (SLよりFL+2100まで) を示す。
- ▨ : ハチ部分床面積増築部分を示す。
- ±0 : SGLからの床レベルを示す。

1階平面図 S=1/100

※ステージ内壁等の既設仕上げ撤去部分については、適宜シト等で養生を行うこと。

特 記本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。 ※ステージ廻り、便所廻り、建具の撤去詳細は既存詳細図による。 壁種VP100φ(養生管共)撤去 カーテンBOX撤去は、カーテン、レール共撤去とする。既存下足箱、XP-7、ロッカー撤去。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	一級建築士 第379482号 堀口達矢	工事名称 <b>南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)</b> 図面名称 <b>【既存】1階平面図</b>	縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)	承認 概図 設計 製図	作図年月日 2022.11. 訂正年月日	種別 提出図 図面No. A-12
--	--	------------------------	--	-----------------------------	-------------	-------------------------	----------------------





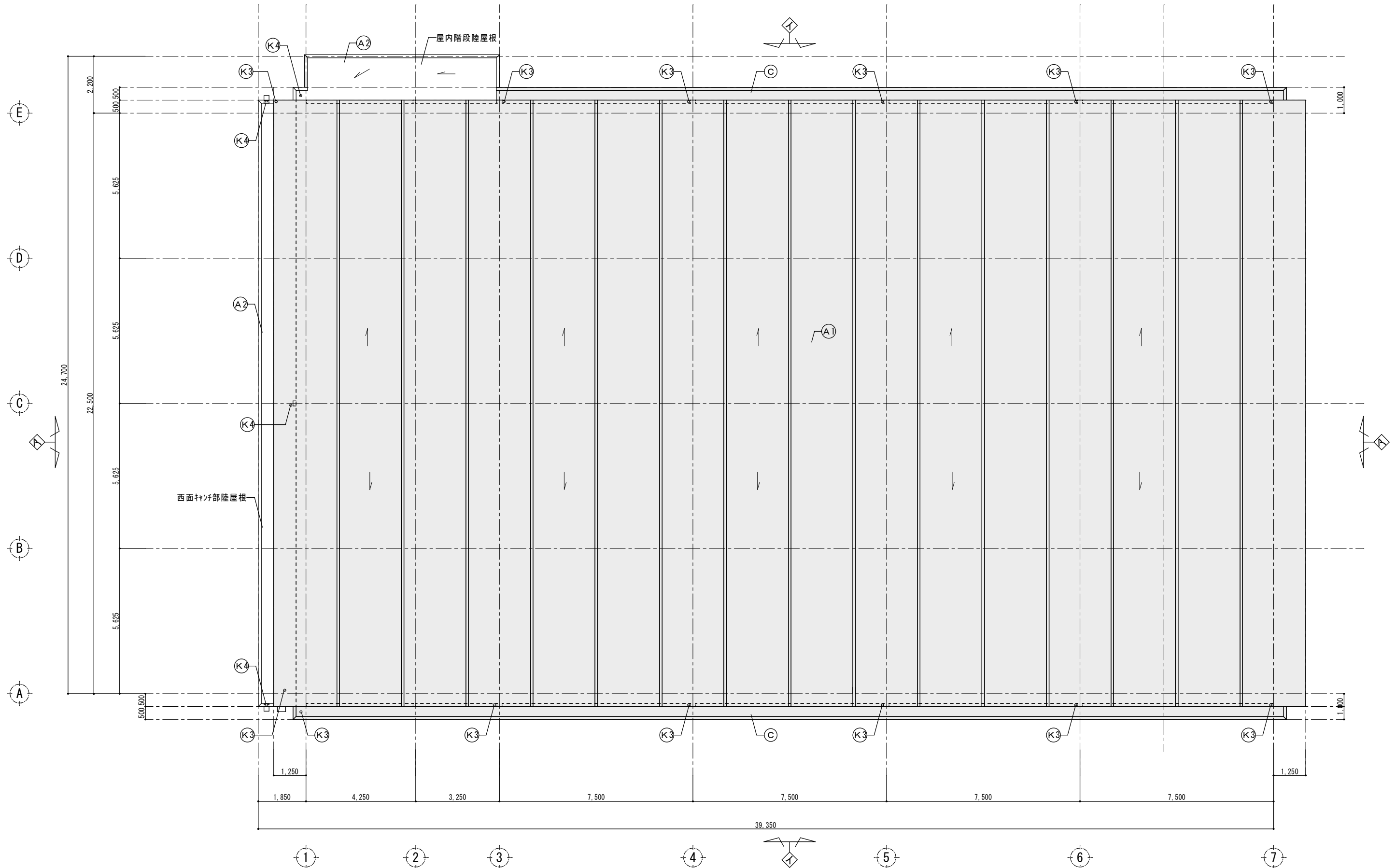
±0 : FLからの床レベルを示す。

2階平面図 S=1/100

※ステージ内壁等の既設仕上げ非撤去部分については、適宜シート等で養生を行うこと。

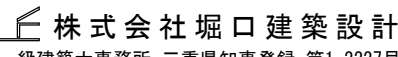
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号	一級建築士 第379482号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日	種別
			図面名称 【既存】2階平面図	縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)				2022.11.	提出図

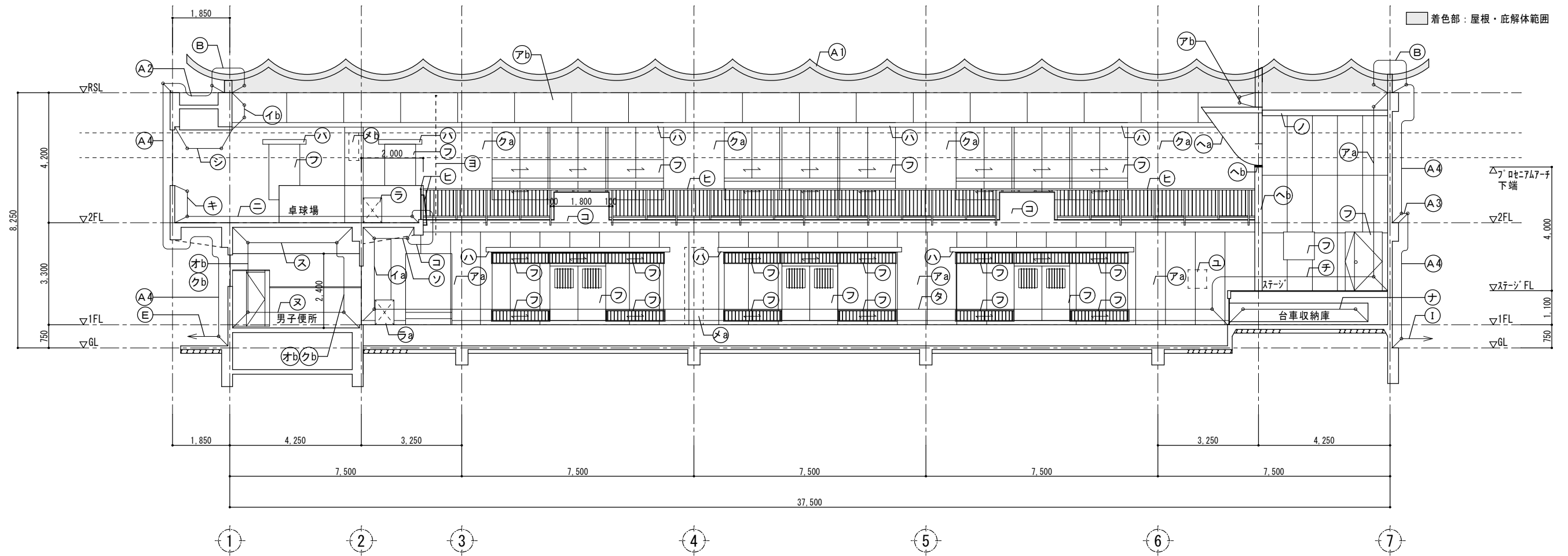
訂正年月日 図面No. A-13



■ : 着色部は解体範囲を示す

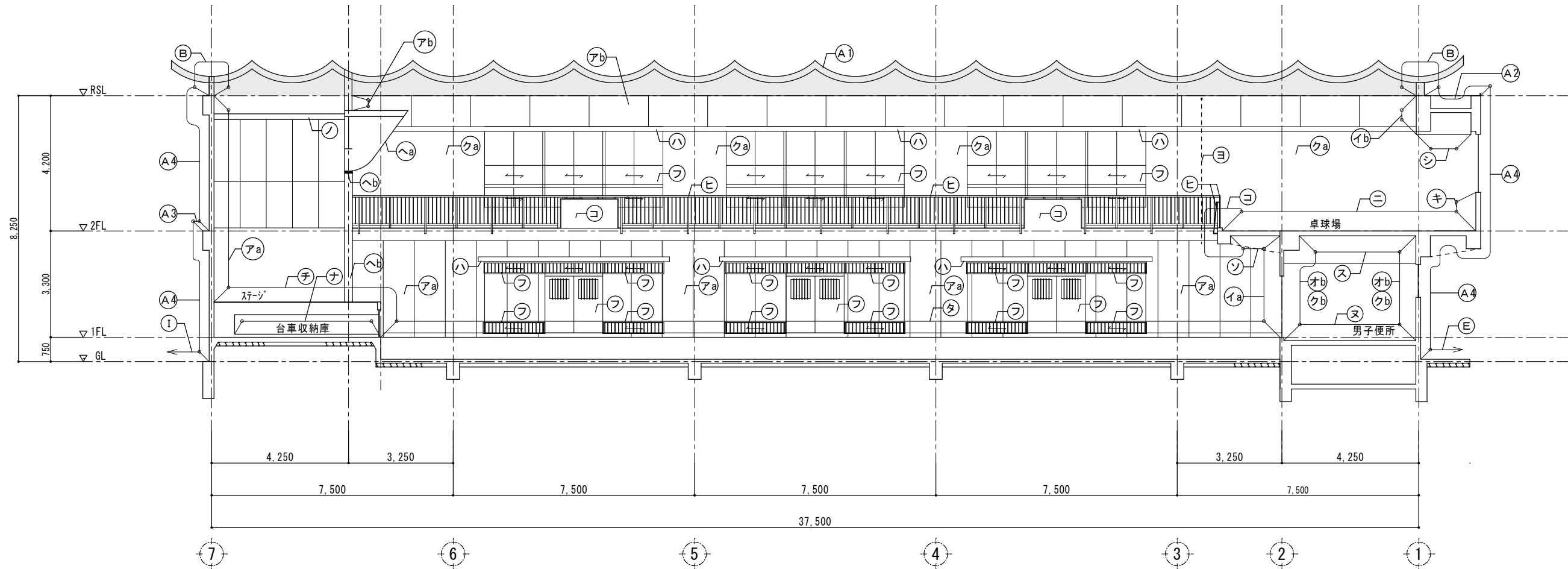
屋根平面図 S=1/100

特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	 株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認 核図 設計 製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【既存】屋根平面図	縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)	訂正年月日	図面No. A-14



ア-ア断面図 S=1/100 (北面矢視)

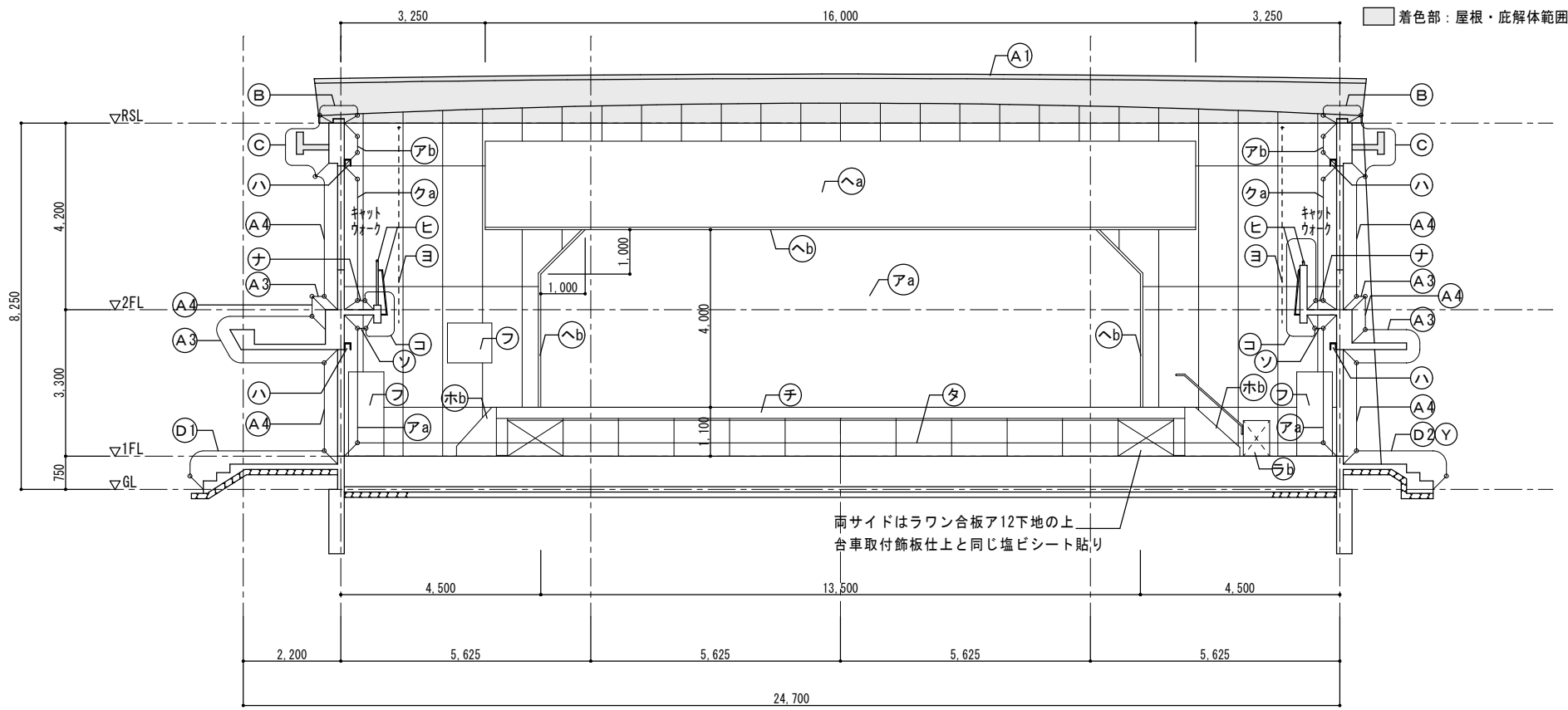
※ステージ内壁等の既設仕上げ非撤去部分については、適宜シート等で養生を行うこと。



ア-ア断面図 S=1/100 (南面矢視)

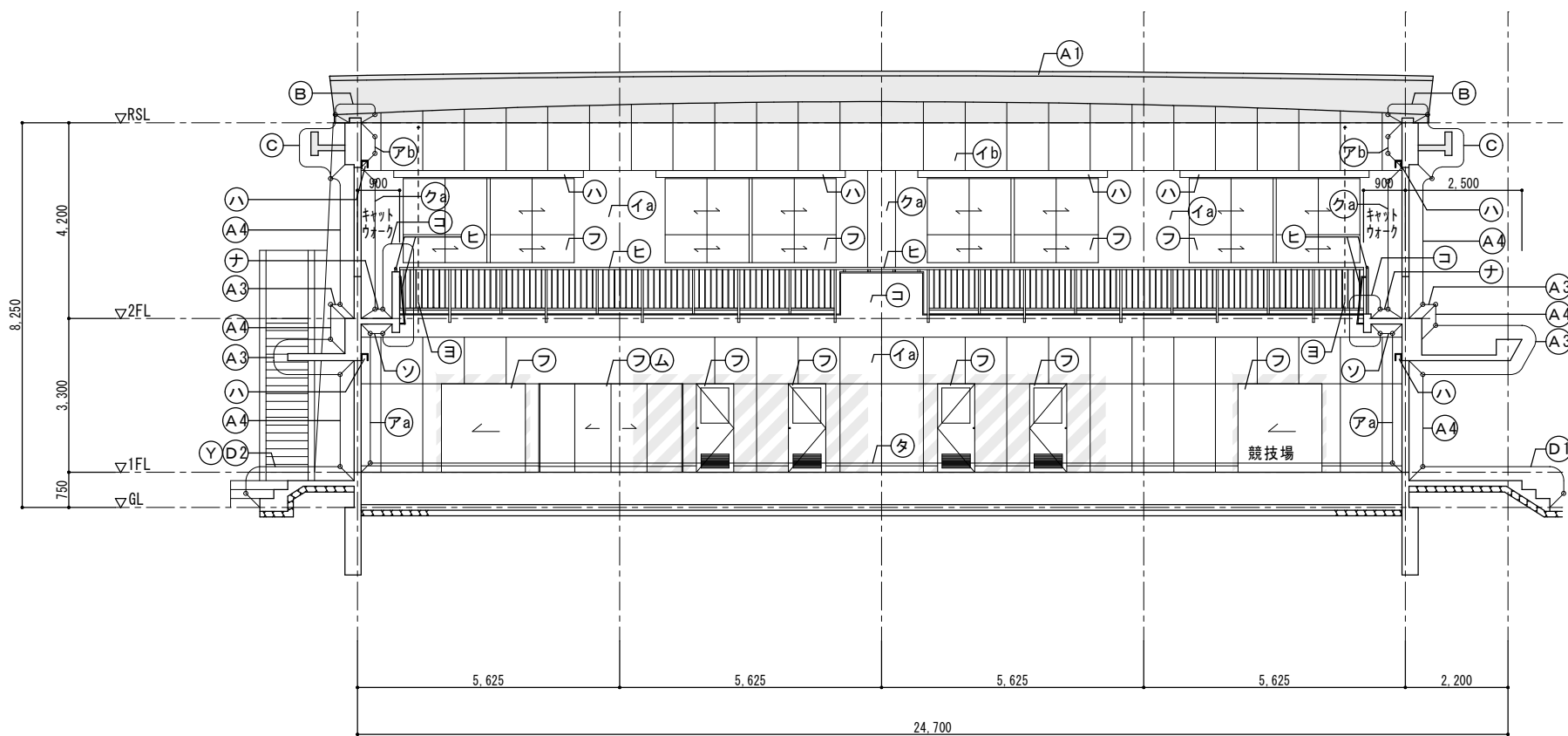
※ステージ内壁等の既設仕上げ非撤去部分については、適宜シート等で養生を行うこと。

<b>特記</b> 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 <b>南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)</b> 図面名称 <b>【既存】断面図(1)</b>	縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)	承認	校図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
								訂正年月日	図面No. A-15



イ-イ断面図 S=1/100 (東面矢視)

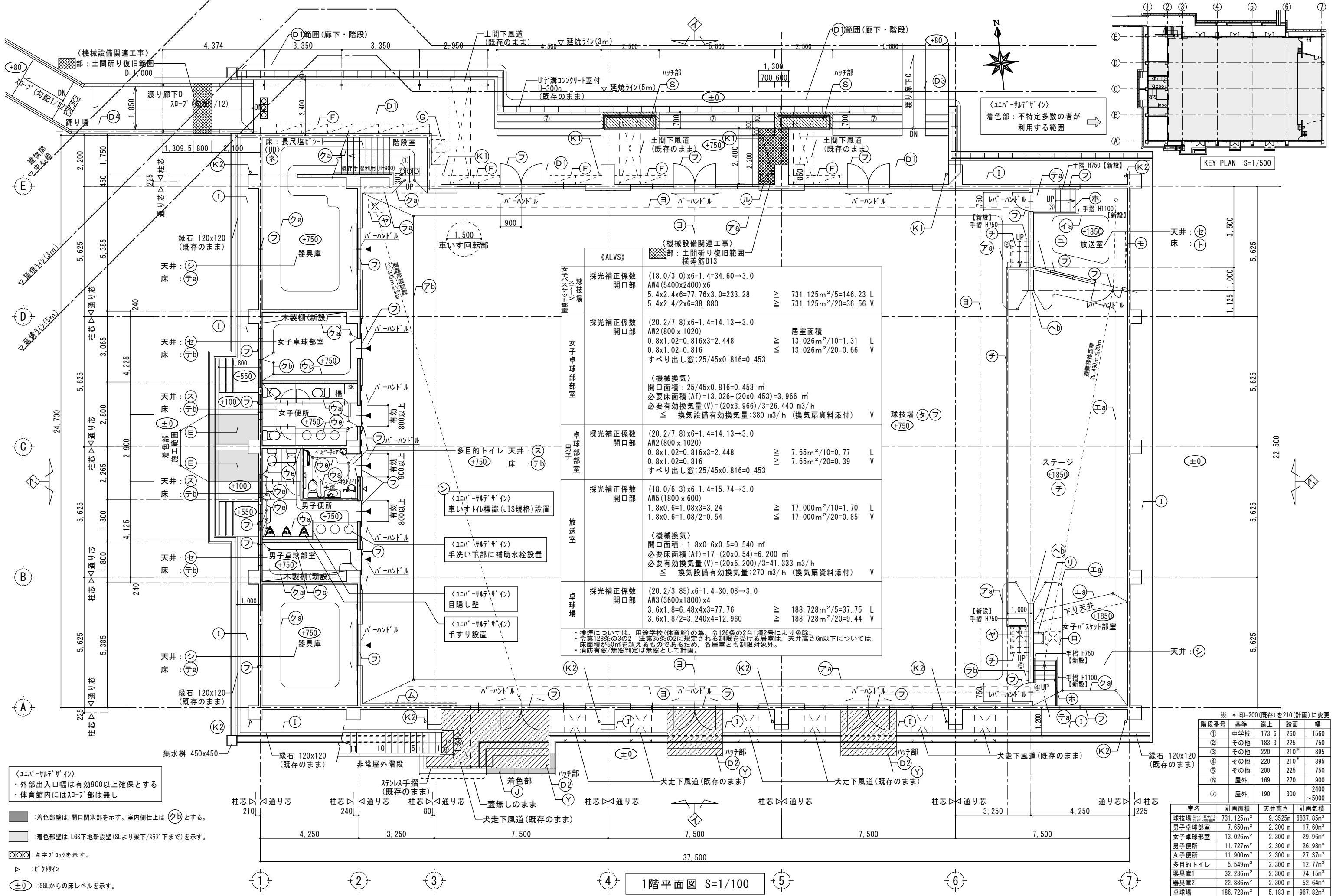
※ステージ内壁等の既設仕上げ非撤去部分については、適宜シト等で養生を行うこと。



イ-イ断面図 S=1/100 (西面矢視)

着色部：RC壁撤去範囲

箇所	内容	箇所	内容			
外部	撤去一覧表	内部	撤去一覧表			
①	シルハ-屋根 シート防水 t0.8の上シルハ-仕上	撤去	シ	天井：化粧石膏ボード79.0仕上	仕上撤去 下地存置	
②	露出75mm防水 SCA-250 RC下地	撤去	ス	天井：石綿ケ酸カルシウム板76.0 AEP/EP (下地含む)	撤去	
③	大庇・南庇・2F梁型天端 平場：防水モルタル鍍押え仕上の上、塗膜防水 一部防水モルタル鍍押え仕上 庇軒下：アクリル樹脂吹付	既存のまま 撤去	セ	天井：岩棉吸音板712貼 (天井裏ロックウール 50敷)石膏ボード79.0捨貼 (LGS下地存置)	撤去	
④	外壁 コンクリ打放の上、アクリル樹脂吹付仕上	既存のまま	ソ	キャットウォークスラブ下：合板型枠打放 ホコリ吹付	既存のまま	
⑤	RF梁上部RSLより上	撤去	タ	球技場床：ラン合板712捨貼の上 アラロンク乱尺貼715 ウレタン樹脂塗撤去(東含む) (白ウレタン含む)	撤去	
⑥	上部RC庇 防水モルタルの上、塗膜防水	撤去	チ	ステージ：ラン合板712捨貼の上 アラロンク乱尺貼715 ウレタン樹脂塗	撤去	
⑦	北面ホーチおよび階段 モルタル鍍押え仕上	一部撤去	ツ	床：ビニールスペーススタイル72.0貼	撤去	
⑧	南面ホーチおよび階段・西面階段 モルタル鍍押え仕上	既存のまま (段鼻を除く)	テ	床：長尺塩ビシート貼72.5 下地モルタル 下地モルタルは既存のまま	撤去	
⑨	足洗場(屋外水栓、排水金物共)	撤去 着色部GL-800 まで掘削	ト	床：不織カーペット敷77.0(OIC程度) (下地共)	撤去	
⑩	下足箱(木製6台、鋼製2台)	撤去	ナ	床：モルタル金コ押し	既存のまま	
⑪	収納ロッカー	撤去	ニ	床：長尺塩ビシート貼72.5貼 下地モルタル	撤去 既存のまま	
⑫	スノ	撤去	ヌ	床：25角磁器タイル貼 防水モルタル下地	既存のまま	
⑬	犬走り	砕石および 盛土GL-270 まで撤去	ネ	階段踏面：モルタル金コ押し下地ウレタン樹脂塗膜 ノスリッパ、見切材を含む	撤去	
⑭	既存コンクリート溝蓋	撤去	ノ	ステージ 葡萄棚：根太 40×45@450 小間返板貼 18×150	撤去	
⑮	縦樋(塩ビφ100)、養生管(SGP150、H2000) 中継ドレンφ100	撤去	内部	ハ	カーテンBOX：H150 D150 カーテン及びカーテンレール	既存のまま 撤去
⑯	縦樋(塩ビφ100)、養生管(SGP150、H2000)	撤去	ヒ	スチール手摺	既存のまま	
⑰	シルハ-屋根・上部RC庇 スラブ厚100(縦型)	撤去	フ	建具(面格子を含む)	撤去	
⑱	屋内階段陸屋根・西面キャッチ部陸屋根 スラブ厚100(横型)	撤去	ヘ	700x700仕上面材：ラン+ウレタン貼 (下地含む)	撤去	
⑲	RC下地モルタル鍍押え仕上階段 段鼻ノスリッパ	撤去	ヘ	700x700方立・鴨居：行集成材 50×260 ウレタン塗	撤去	
内部	撤去一覧表	内部	撤去一覧表			
ア	壁：シ合板76.0 底目地貼 OP (下地胴縁含む)	既存のまま	ホ	木製階段(木見切を含む)	撤去	
ア	巾木：木製H100 OP	撤去	ホ	移動式階段	撤去	
ア	壁：シ合板76.0 底目地貼 OP	撤去	マ	衛生器具	撤去	
イ	壁：有孔シ合板79.0 底目地貼 OP (寒冷紗貼 ロックウール750充填)	既存のまま	ミ	水栓金具	撤去	
イ	巾木：木製H100 OP	撤去	ム	姿見鏡 1500×1800(収納扉を含む)	撤去	
イ	壁：有孔シ合板79.0 底目地貼 OP (寒冷紗貼 ロックウール750充填)	撤去	メ	目盛付黒板(球技場1F) 600×2500	撤去	
オ	壁：100角半磁器タイル モルタル下地 巾木：100角半磁器タイル モルタル下地	撤去	メ	サージェントジャンプ台(球技場2F) 300×900	撤去	
オ	壁：100角半磁器タイル (FL+1300まで) 巾木：100角半磁器タイル モルタル下地	撤去	モ	平面黒板(放送室内) 1200×900	撤去	
キ	壁：シ合板76.0 底目地貼 OP 巾木：木製H100 OP	既存のまま 撤去	ヤ	700x700床下点検口 600×600	撤去	
ク	壁：モルタル金コ押し EP 巾木：木製H100 OP	既存のまま	ユ	操作盤	撤去	
ク	壁：モルタル金コ押し EP 巾木：木製H100 OP	既存のまま ②通のみ撤去	ヨ	防球ネット(レール・ランナー共)	撤去	
ク	壁：モルタル金コ押し EP 巾木：木製H100 OP	撤去	ラ	消火栓BOX	既存のまま	
コ	腰壁：モルタル金コ押し EP 巾木：モルタル金コ押し EP	既存のまま	ラ	消火栓BOX	既存のまま	
			リ	鋼製タラップ 400x400 OP塗装仕上	既存のまま	
			ロ	700x700製天井点検口 600x600	撤去	
			ワ	木製手すり L=1500	撤去	



〈ユニバーサルデザイン〉  
・外部出入口幅は有効900以上確保とする  
・体育館内にはスロープ部は無し

■ : 着色部壁は、開口閉塞部を示す。室内側仕上は (クb) とする。  
■ : 着色部壁は、LGS地下新設壁 (SLより梁下/スリ下まで) を示す。

○ : 点字ブロックを示す。  
▷ : ヒコトサイン  
±0 : SGLからの床レベルを示す。

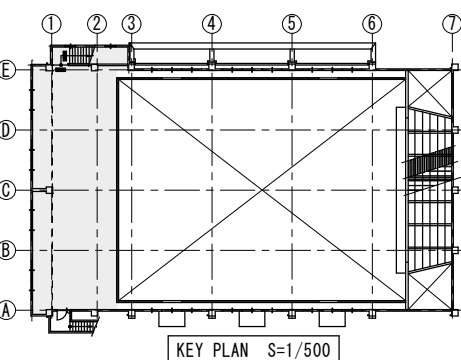
※ \* 印=200 (既存) を 210 (計画) に変更

階段番号	基準	蹴上	踏面	幅
①	中学校	173.6	260	1560
②	その他	183.3	225	750
③	その他	220	210*	895
④	その他	220	210*	895
⑤	その他	200	225	750
⑥	屋外	169	270	900
⑦	屋外	190	300	2400 ~ 5000

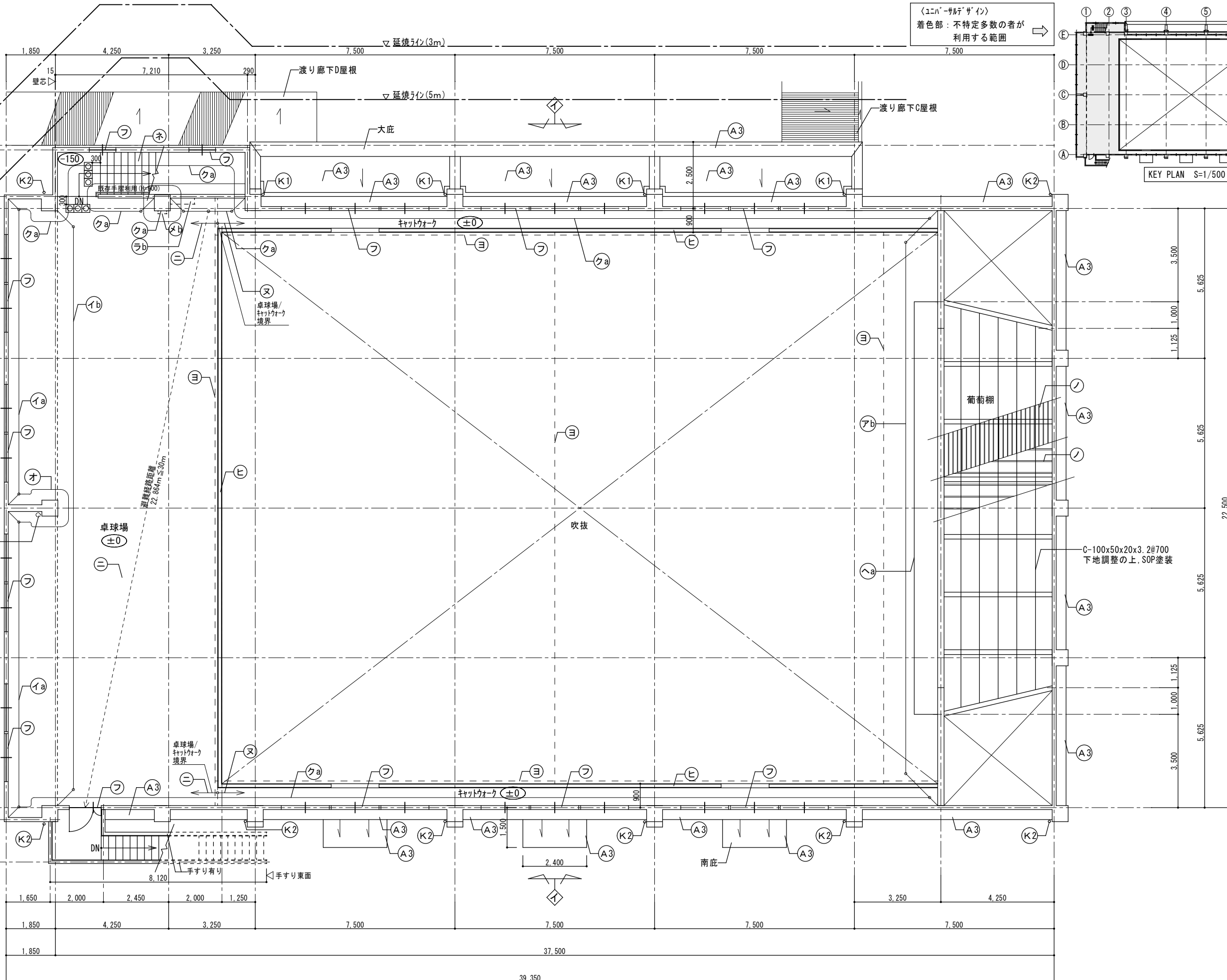
室名	計画面積	天井高さ	計画気積
球技場	731.125 m <sup>2</sup>	9.3525 m	6837.85 m <sup>3</sup>
男子卓球部室	7.650 m <sup>2</sup>	2.300 m	17.60 m <sup>3</sup>
女子卓球部室	13.026 m <sup>2</sup>	2.300 m	29.96 m <sup>3</sup>
男子便所	11.727 m <sup>2</sup>	2.300 m	26.98 m <sup>3</sup>
女子便所	11.900 m <sup>2</sup>	2.300 m	27.37 m <sup>3</sup>
多目的トイレ	5.549 m <sup>2</sup>	2.300 m	12.77 m <sup>3</sup>
器具庫1	32.236 m <sup>2</sup>	2.300 m	74.15 m <sup>3</sup>
器具庫2	22.886 m <sup>2</sup>	2.300 m	52.64 m <sup>3</sup>
卓球場	186.728 m <sup>2</sup>	5.183 m	967.82 m <sup>3</sup>



〈ユニバーサルデザイン〉  
着色部：不特定多数の者が  
利用する範囲



〈ユニバーサルデザイン〉  
階段部 段鼻突き出し無し  
(ノンスリップ 金物ゴムタイフ 設置)  
床材とノンスリップゴムにて識別に配慮



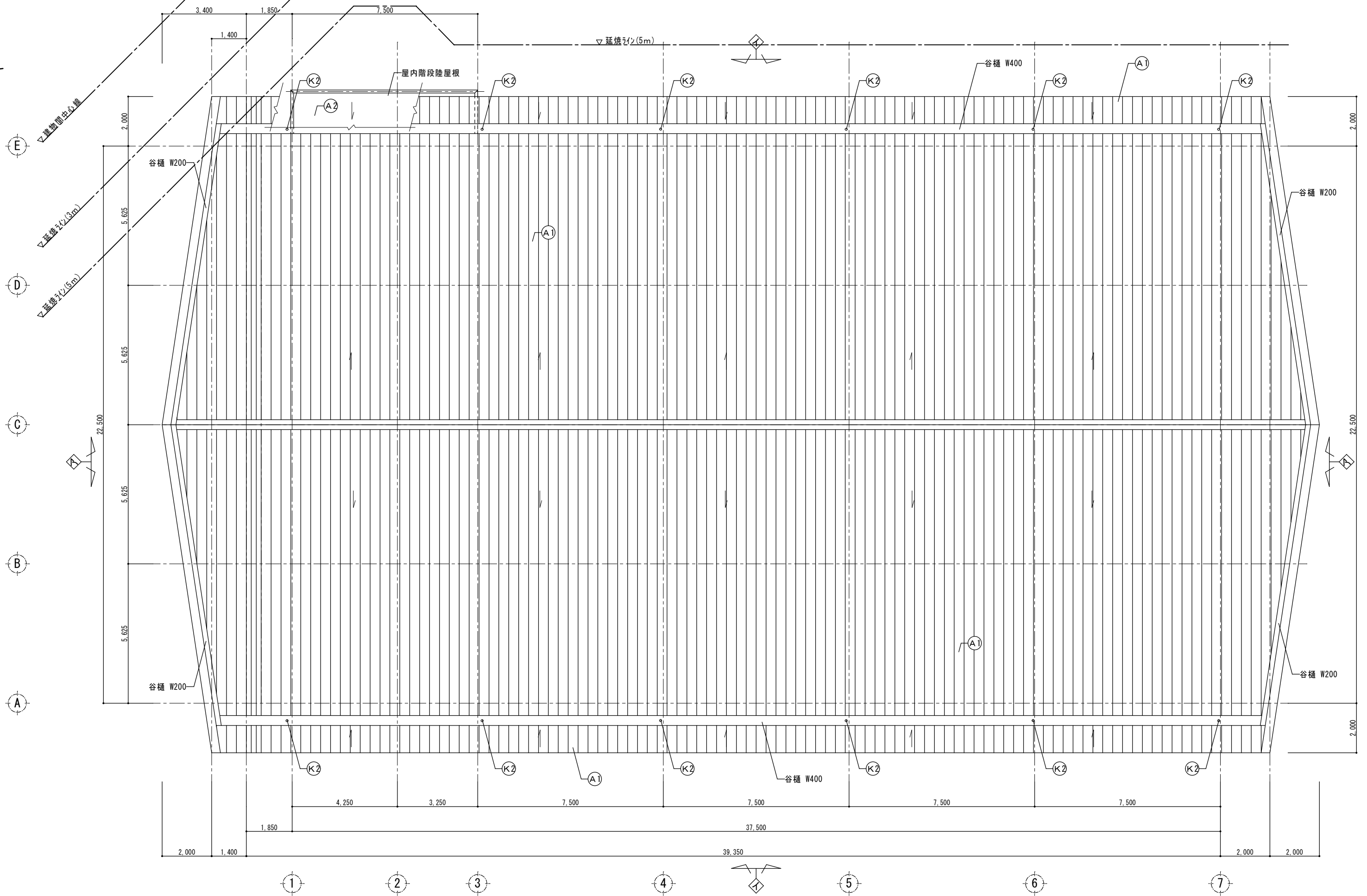
▽ 延焼ライン(3m)  
▽ 延焼ライン(5m)  
▽ 延焼ライン(3m)  
▽ 延焼ライン(5m)

【卓球場 面積】  
 $(1.85 + 4.25 + 2.00) \times (22.50 + 0.45) = 185.8950$   
 $1.85 \times 0.45 = 0.8325$   
 $185.8950 + 0.5325 = 186.7275$   
 面積 186.728 m<sup>2</sup>

□□□□：点字ブロックを示す。  
 ±0：FLからの床レベルを示す。

2階平面図 S=1/100

特記：本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。		<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢		工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築) 図面名称 【計画】2階平面図		縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)		承認 概図 設計 製図 作図年月日 2022.11. 訂正年月日		種類 提出図 図面No. A-18	
--	--	--	--	--	--	-----------------------------	--	--	--	----------------------	--



屋根平面図 S=1/100

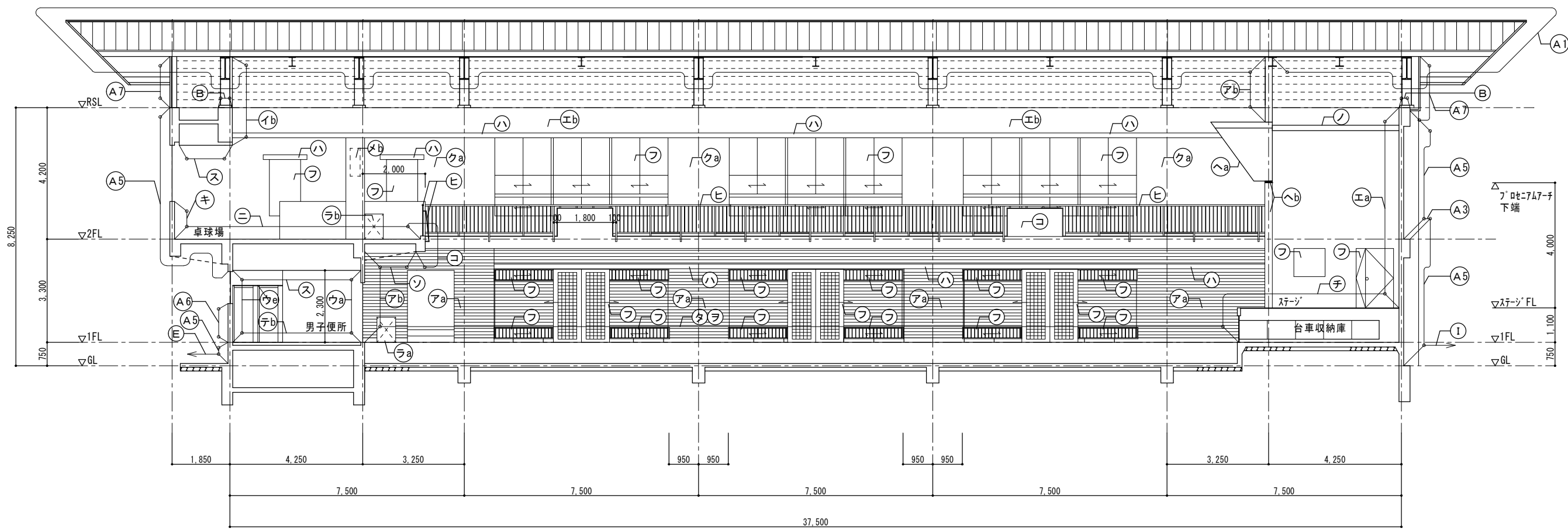
特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。

株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

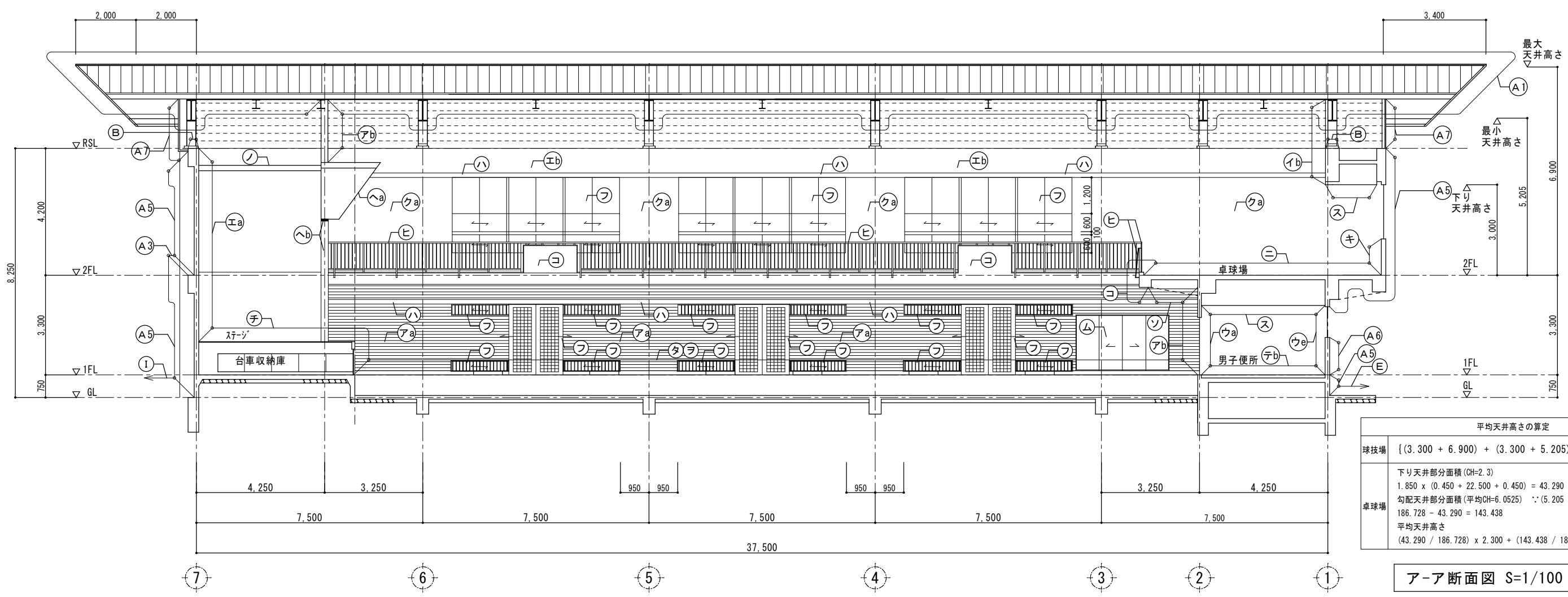
工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
図面名称 【計画】屋根平面図

縮尺 1/100 (A2)  
1/141 (A3)

承認	検図	設計	製図	作図年月日	種別
				2022.11.	提出図
				訂正年月日	図面No. A-19



ア-ア断面図 S=1/100 (北面矢視)



ア-ア断面図 S=1/100 (南面矢視)

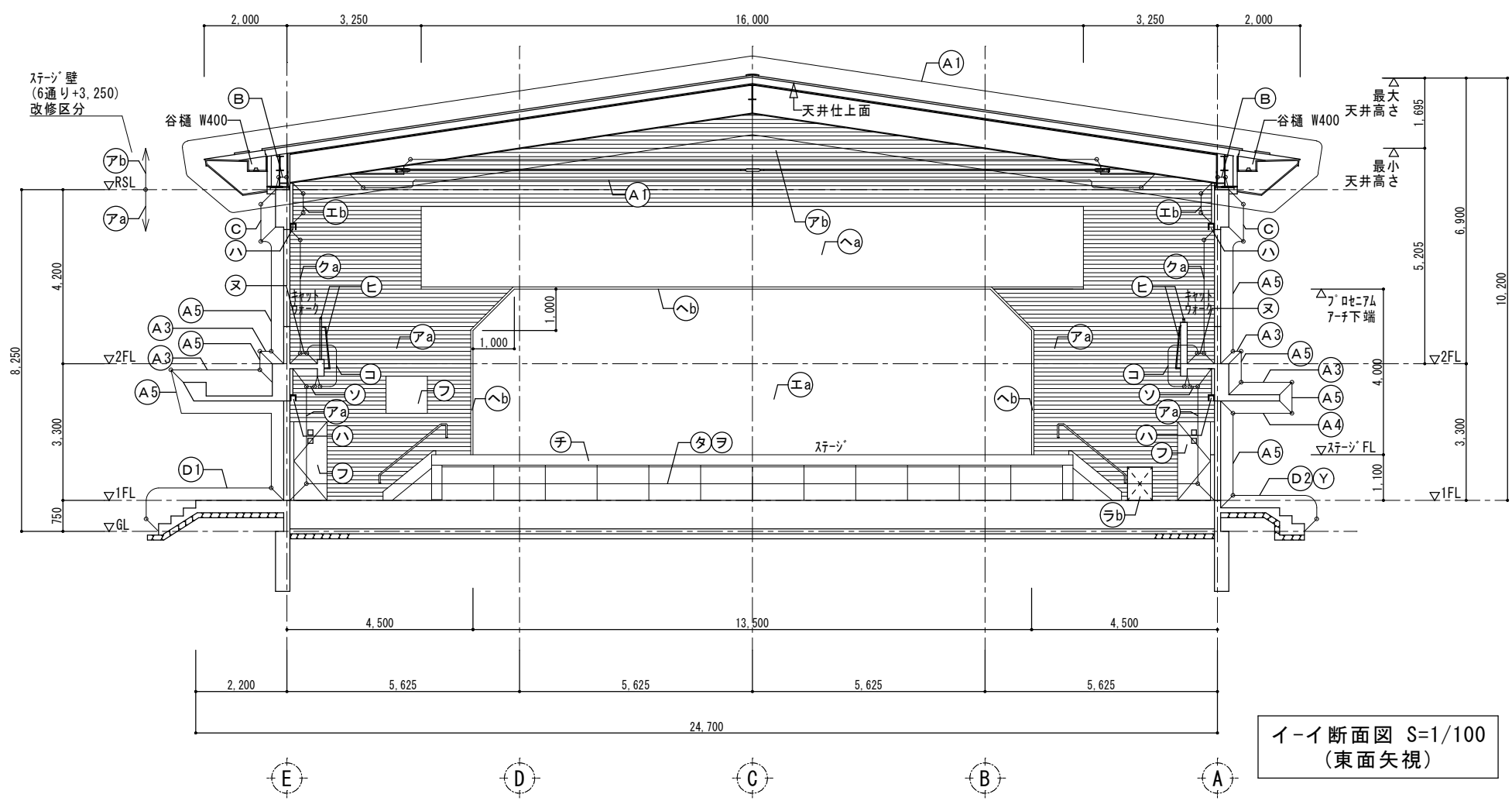
特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は7%のサイズとする。

株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

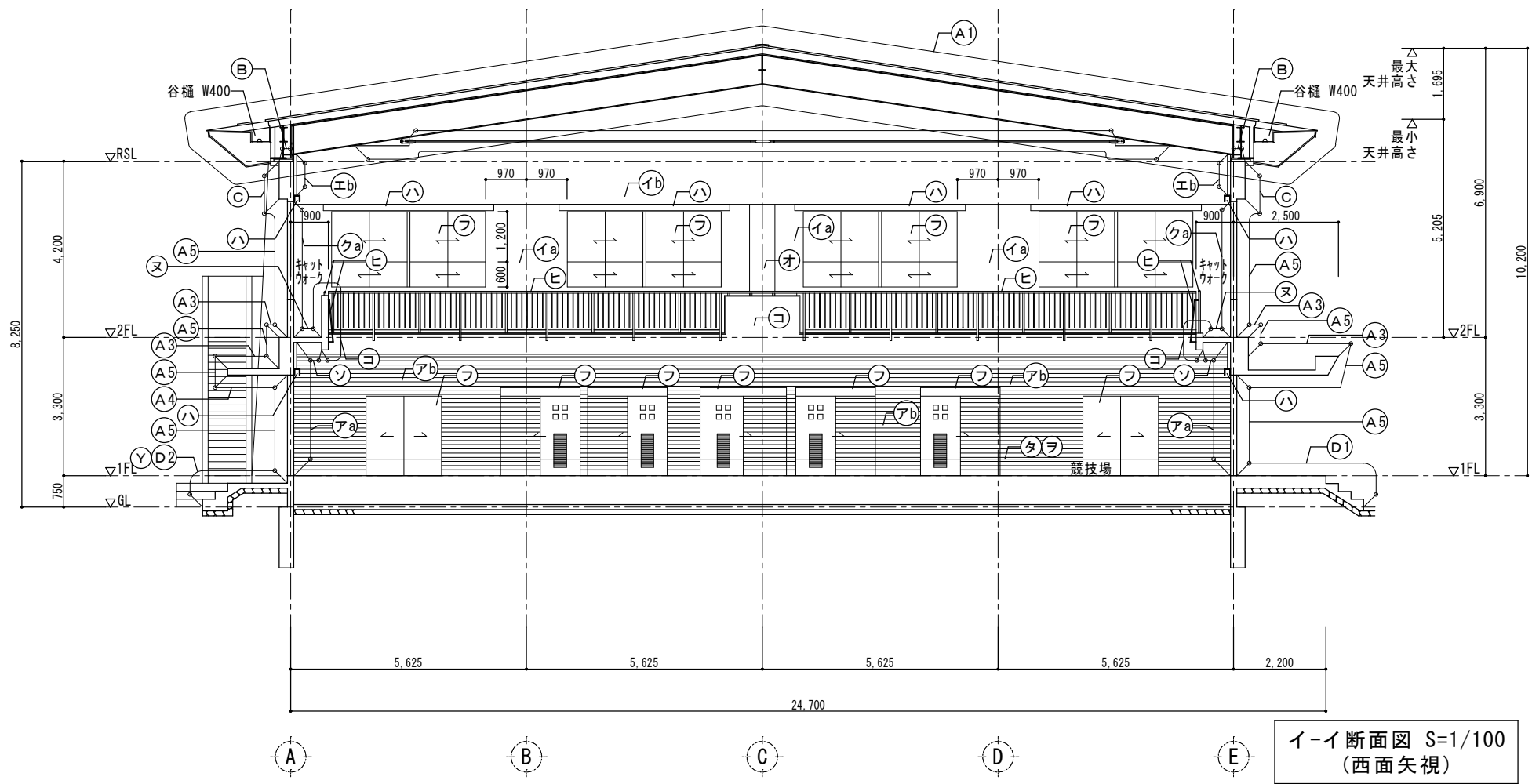
工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
図面名称 【計画】断面図(1) 縮尺 1/100 (A2) 1/141 (A3)

承認	検図	設計	製図	作図年月日	種類
				2022.11.	提出図
				訂正年月日	図面No.
					A-20



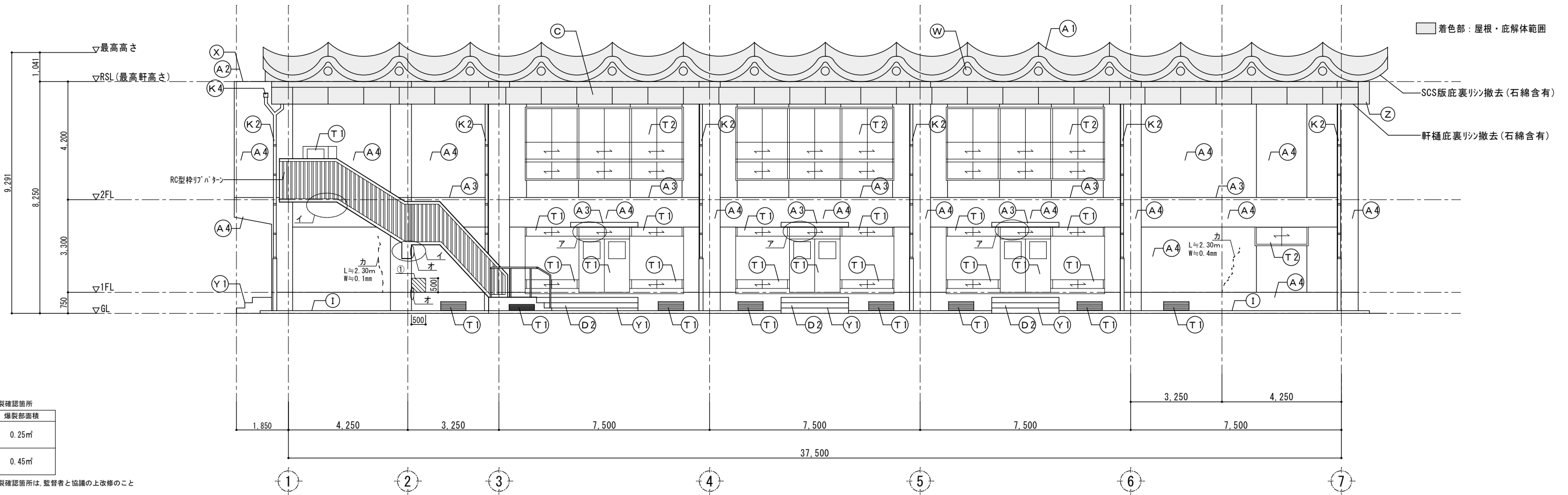


I-I断面図 S=1/100  
(東面矢視)

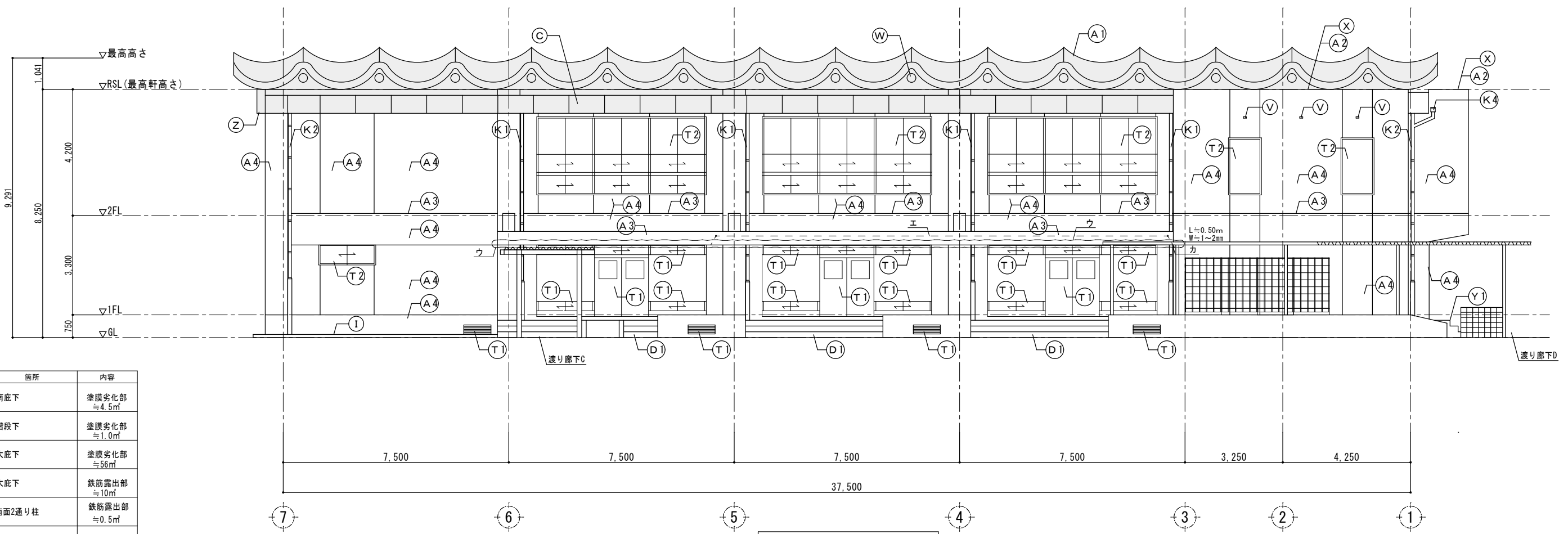


I-I断面図 S=1/100  
(西面矢視)

箇所	内容	箇所	内容
(A1)	ガルバリウム鋼板t0.6 立平または縦ハレ 葺き 改質ゴムアスファルト-フック t1.0 耐火野地複合板 t43 (30分耐火+断熱) 底鼻ガルバリウム鋼板 t0.6曲げ加工 鉄骨小屋組・ブレース 見掛け部地下処理 の上結露防止塗装 ガルバリウム鋼板色:シルバー系 (2.5Y7.5/0.5)	(E) 壁 : LGS + 合板 t6 底目地貼 SOP塗装仕上	新設
(A2)	階段室上部陸屋根 地下処理の上、露出アスファルト防水 EP塗装仕上 (高反射系塗料)	(F) GB-R t12.5 EP塗装仕上 既存仕上に上張り	新設
(A3)	大庇軒天及び立上り・南庇軒天・2F梁型 軒天 高圧洗浄、下地調整の上、ウレタン塗膜 防水仕上	(G) 壁 : 合板 7.6.0 底目地貼 OP 巾木: 木製H100 OP	新設
(A4)	南庇軒天 高圧洗浄、劣化部補修、下地調整の上、 外装薄塗材E塗装仕上	(H) 壁 : 既存モルタル地下処理、クラック処理の上 EP塗装仕上 巾木: 既設 SOP塗	新設
(A5)	外壁・大庇及び南庇垂直面 高圧洗浄、 クラック処理、下地調整の上、可とう形改修塗材 RE塗装仕上 (ウレタン ゆず肌ローラー)	(I) 壁 : リップ溝形鋼(100x50x20 t2.3)の上、 調整軽量セメントモルタル塗合板(t9)の地下 下地調整の上、EP塗装仕上 巾木: 木製H100 SOP塗	新設
(A6)	リップ溝形鋼(100x50x20 t2.3)の上、調整軽量 セメントモルタル塗合板張(t12)の地下 下地調整の上、可とう形改修塗材RE塗装 仕上 (ウレタン ゆず肌ローラー) 既存壁取合 シーリング (PU-2) 20x10	(J) 腰壁・巾木共: 既設モルタル地下処理、クラック 処理の上EP塗	新設
(A7)	リップ溝形鋼(100x50x20 t2.3)の上 断熱ハネt25 既存壁取合 水切り設置	(K) 天井: GB-D t9.5 (下地既設利用) 女子バス部室下がり天井見切アングル材共	新設
(B)	無収縮モルタル t50	(L) 天井: GB-R t9.5+ケイカル板 t6 下地 (既存仕上材に上張り)、EP塗装	新設
(C)	2階RC庇撤去跡 モルタル補修、下地調整の上 可とう形改修塗材RE塗装仕上	(M) 天井: GB-Rt9.5 岩綿吸音板t12 既存下地利用	新設
(D1)	北面ホーチおよび階段 (鉄筋D13@150シングル) +モルタル塗30コンクリート打設120 磁器質タイル貼仕上 (150角、ノンスリップ型)	(N) キャットウォーク下: 既存塗膜下地調整の上、 (卓球場スラブはね出し部下含む) EP塗装	新設
(D2)	南面ホーチおよび階段 高圧洗浄の上、 防滑性防塵塗床仕上 (垂直面共)	(O) 卓球場床: 鋼製床下地 構造用合板 t15 かゝり7塗装品特殊貼 t18 表層6mmガルバリウム鋼板	新設
(D3)	渡り廊下Cスロープ RC下地塗上 + モルタル鍍押し仕上	(P) ステップ: かゝり7塗装品特殊貼t18 ウレタン塗 床: 杉木集成材 ウレタン塗 (鋼製床組、移動式階段、下部椅子収納、 台車入含む)	新設
(D4)	渡り廊下Dスロープ RC塗上 + モルタル鍍押し下地 + EP塗装仕上	(Q) 床: ビニールタイル t2.0	新設
(E)	足洗い場撤去跡 RC(鉄筋D13@150シングル) +防水モルタル鍍押し仕上	(R) 床: 既存モルタル下地の上、長尺塩ビシートA	新設
(F)	下足入	(S) 床: 軽量コンクリート t100 長尺塩ビシートA	新設
(G)	掃除員入	(T) 床: 鋼製床下地 構造用合板 t15 かゝり7タイル	新設
(I)	犬走り (鉄筋D13@150シングル) 仕上H=GL±0 防滑性防塵塗床仕上	(U) 床: 長尺塩ビシート t2.5貼 (緩衝シート) 下地モルタル	新設
(J)	既成コンクリート溝蓋 U-300c	(V) 床: 下地処理の上、水性ウレタン樹脂系塗床仕上	新設
(S)	流し台(手洗い) W2500 D700 RC + 防水モルタル下地 ウレタン塗装仕上	(W) 階段踏面: モルタル下地 長尺塩ビシートA ノンスリップ、見切材、点字タイルを含む	新設
(K1)	縦樋(塩ビφ100)、ルーフレンφ100(SUS φ100網付)、大庇 中継ドレン(φ100)	(X) ステップ 葡萄棚: 根太 40×45@450 小間返板貼 18×150	新設
(K2)	縦樋(塩ビφ100) ルーフレン(SUSφ100網付) 養生管SGP125A H1800	(Y) 既設カーテンBOX利用: 杉集成材t25H150D200 既存塗膜下地調整の上、SOP塗装 カーテンレール	新設
(Y1)	RC下地モルタル鍍押し仕上階段 段鼻ノンスリップタイル	(Z) ステール手摺: 下地処理錆止めの上SOP塗装	新設
(Y2)	屋外階段(20段) モルタル鍍押し仕上+SUS製ノンスリップ(同面仕上)	(aa) 建具(面格子を含む)	新設
(アa)	壁 : 鋼線 + 合板 t9 下地 杉板 t12 本実 ウレタン塗装仕上 既存壁仕上に上張り 巾木: 杉板(赤節有)H100 ウレタン塗装仕上	(ab) プロペラム仕上面材: LGS下地+合板t9 +桧無地 t12本実+ウレタン塗装仕上	新設
(アb)	壁 : LGS + 鋼線 + 合板 t9 下地 杉板 t12 本実 ウレタン塗装仕上 巾木: 杉板(赤節有)H100 ウレタン塗装仕上	(ac) プロペラム方立・鴨居: 杉集成材 50×260 ウレタン塗装仕上	新設
(イa)	壁 : 鋼線 + 有孔合板 t6 ウレタン塗装仕上(寒冷紗貼, RWt25充填) 既存仕上に上張り 巾木: 木製 H100 SOP塗	(ad) 木製階段(木見切を含む)	新設
(イb)	壁 : LGS(W50)一部薄型LGS +有効合板 t6.0 底目地貼	(ae) 姿見鏡 1500×1800(収納扉を含む)	新設
(ウa)	壁 : LGS + GB-S t12.5 化粧ケイカル板 t6.0 RW t50充填 巾木: 長尺シートB巻上 H200	(af) サージェントジャンプ台(卓球場2F) WG282	新設
(ウc)	壁 : LGS+GB-R t12.5+ケイカル板 t6 EP塗装 巾木: 木製 H100 SOP塗	(ag) 平面黒板 1500×900	新設
(ウe)	壁 : GL下地GB-S t12.5 化粧ケイカル板t6 巾木: 長尺シートA巻上 H200	(ah) アルミ板床下点検口 600×600	新設
(エa)	壁 : 鋼線 + 合板 t9.0 下地 + 合板 t6.0 ウレタン塗装仕上 既存壁仕上に上張り 巾木: 木製 H100 SOP塗	(ai) 操作盤	新設
		(aj) 防球ネット	新設
		(ak) 消火栓BOX ヒンジ 損傷部補修、内外部下地 調整の上SOP塗装(ホース類既存利用) 別途、機械設備工事に伴う壁面補修あり	新設
		(al) 消火栓BOX 内外部下地調整の上SOP塗装 (ホース類既存利用)2F消火栓への配管SOP塗装 別途、機械設備工事に伴う壁面補修あり	新設
		(am) 鋼製ラック 400x400 既存塗膜下地調整の上、SOP塗装	新設
		(an) ウォータークーラー W345 D300 H947	新設
		(ao) アルミ製天井点検口 600x600 鍵付	新設
		(ap) 卓球場床ライン	新設
		(aq) ビックサイン(×4)(JIS規格) (車イス、オストマイ、バレー、バドミントン)	新設

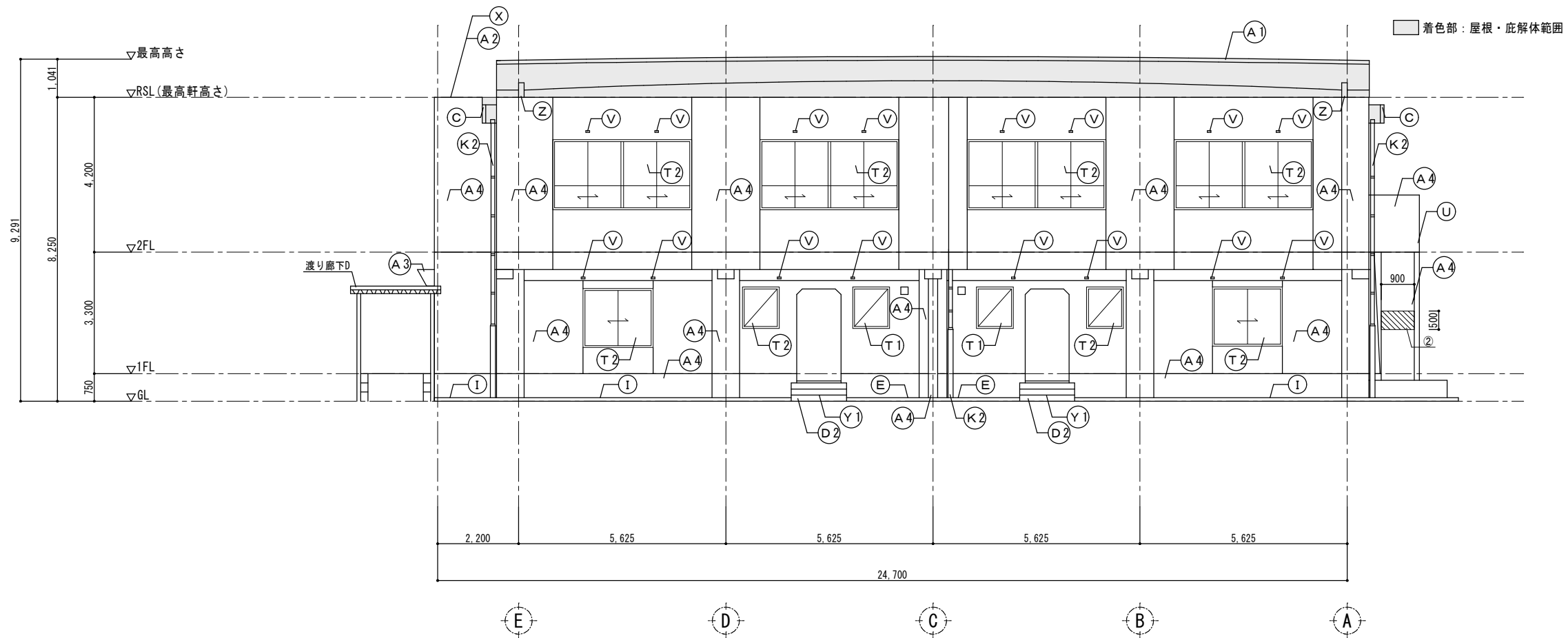


南側立面図 S=1/100

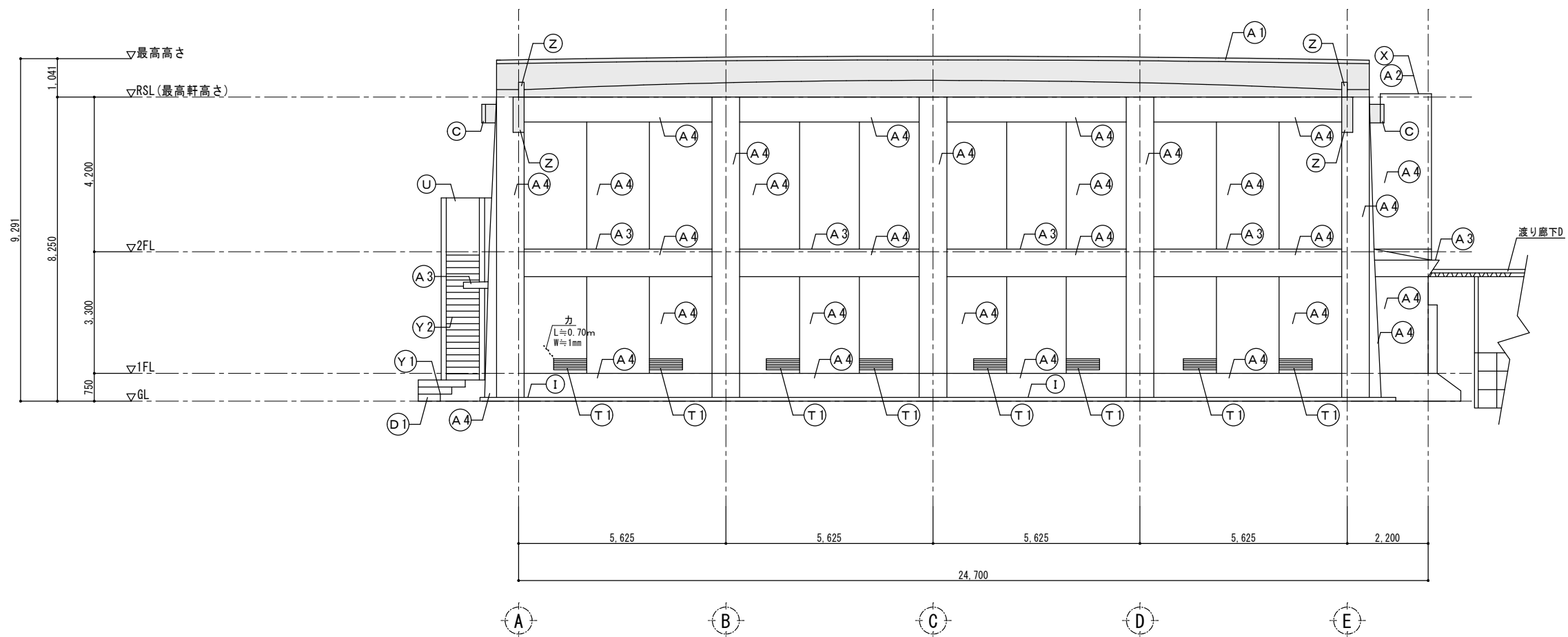


北側立面図 S=1/100

記号	箇所	内容
ア	南底下	塗膜劣化部 ≒4.5m <sup>2</sup>
イ	階段下	塗膜劣化部 ≒1.0m <sup>2</sup>
ウ	大底下	塗膜劣化部 ≒5.6m <sup>2</sup>
エ	大底下	鉄筋露出部 ≒10m <sup>2</sup>
オ	南面2通り柱	鉄筋露出部 ≒0.5m <sup>2</sup>
カ	外壁	クラック部



西側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

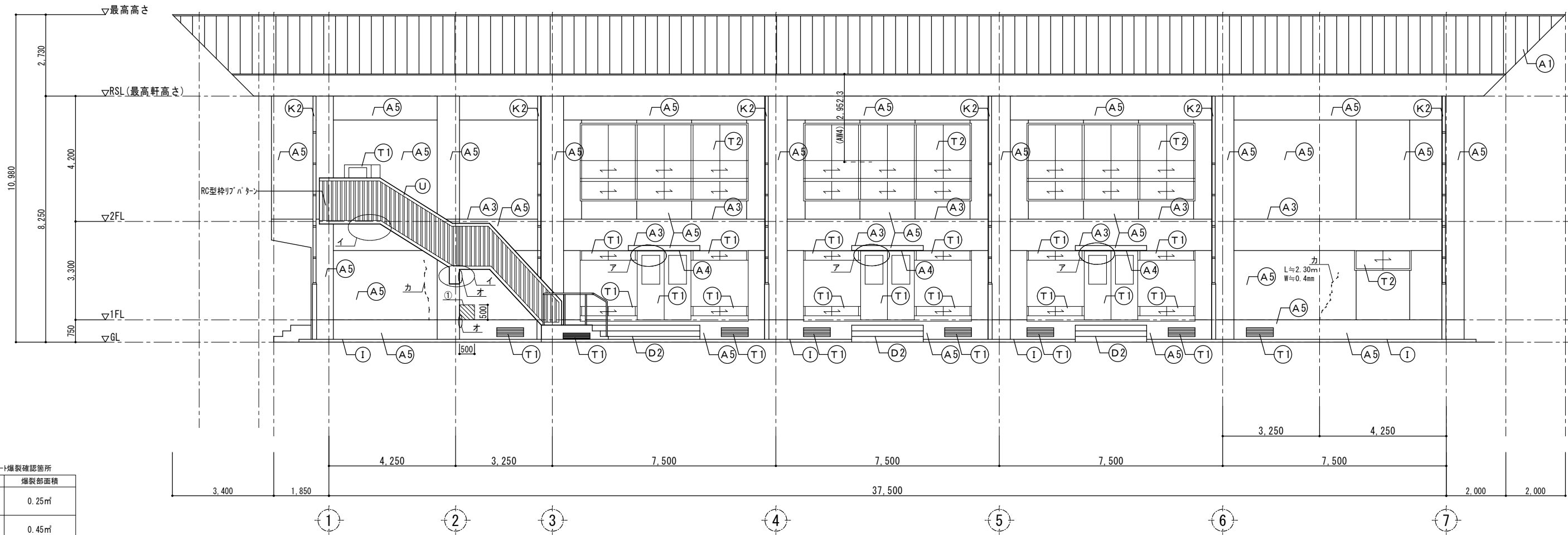
符号	箇所	内容
(A1)	シルバ-屋根: シート防水 70.8の上シルバ-仕上	撤去
(A2)	露出アスファルト防水 SCA-250 RC下地	撤去
(A3)	大庇・南庇・2F梁型天端 平場: 防水モルタル鍍押え仕上の上, 塗膜防水 一部防水モルタル鍍押え仕上 庇軒下: アクリリシ吹付	既存のまま 撤去
(A4)	外壁・巾木(腰) コンクリ打放の上, アクリリシ吹付仕上	既存のまま
(B)	RF梁上部RSLより上	撤去
(C)	上部RC庇 防水モルタルの上, 塗膜防水 一部リシ吹付	撤去
(D1)	北面* -ちおよび階段 モルタル鍍押え仕上	一部撤去
(D2)	南面* -ちおよび階段・西面階段 モルタル鍍押え仕上	既存のまま (段鼻を除く)
(E)	足洗場(屋外水栓, 排水金物共)	撤去 着色部GL-800 まで掘削
(I)	犬走り	砕石および 盛土GL-350 まで撤去
(K1)	縦樋(塩ビφ100), 養生管(SGP150, H2000) 中継ドレンφ100	撤去
(K2)	縦樋(塩ビφ100), 養生管(SGP150, H2000)	撤去
(T1)	建具	撤去
(T2)	建具	撤去 (枠残し)
(U)	屋外階段	既存のまま (段鼻を除く)
(V)	換気ハ-イ' □-100x50 ステンレスハ-イ' (防虫網付)	既存のまま
(W)	換気ハ-イ' 150φ 硬質塩ビ製(防虫網付)	撤去
(X)	階段室陸屋根 アルミ笠木	撤去
(Y1)	RC下地モルタル鍍押え仕上階段 段鼻/スリッパ-	撤去
(Y2)	屋外階段(20段)RC下地モルタル鍍押え仕上 段鼻/スリッパ-タイル・路面蹴上面モルタル	撤去
(Z)	東面A・E通り梁キャッチ部 東西面A・E通り梁上RC部	撤去

コンクリート爆裂確認箇所

記号	爆裂部面積
①	0.25㎡
②	0.45㎡

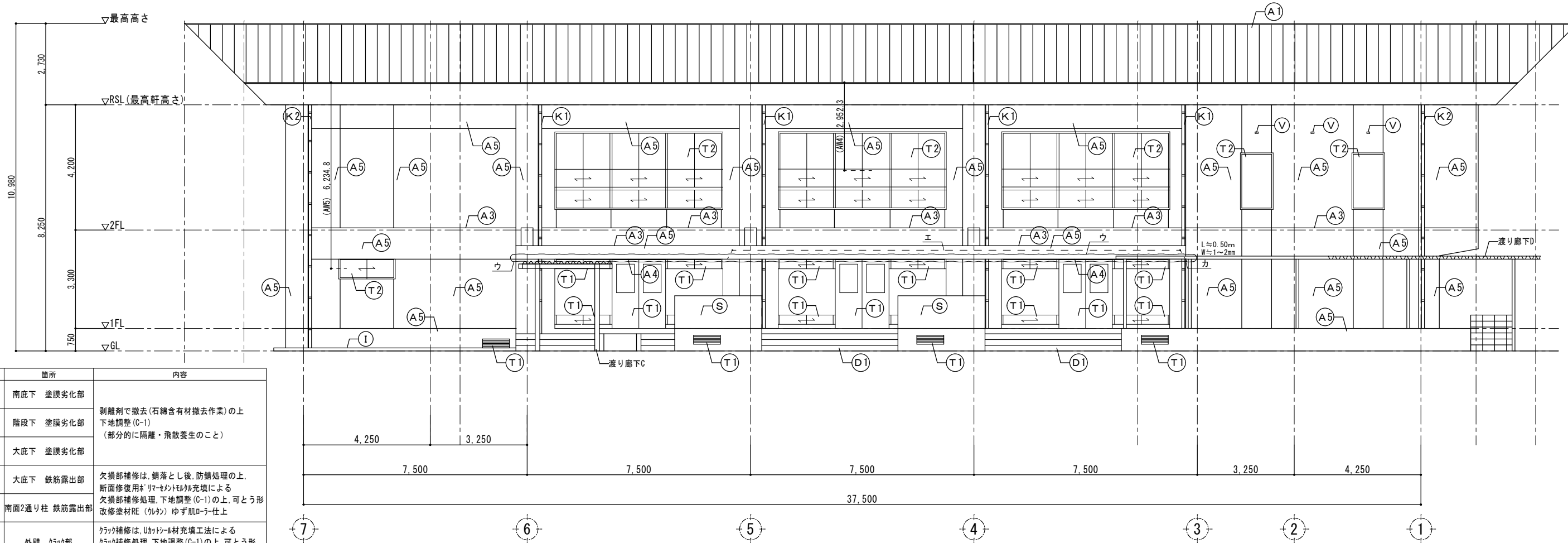
※別途爆裂確認箇所は, 監督者と協議の上改修のこと

記号	箇所	内容
ア	南庇下	塗膜劣化部 ≒4.5㎡
イ	階段下	塗膜劣化部 ≒1.0㎡
ウ	大庇下	塗膜劣化部 ≒56㎡
エ	大庇下	鉄筋露出部 ≒10㎡
オ	南面2通り柱	鉄筋露出部 ≒0.5㎡
カ	外壁	クラック部



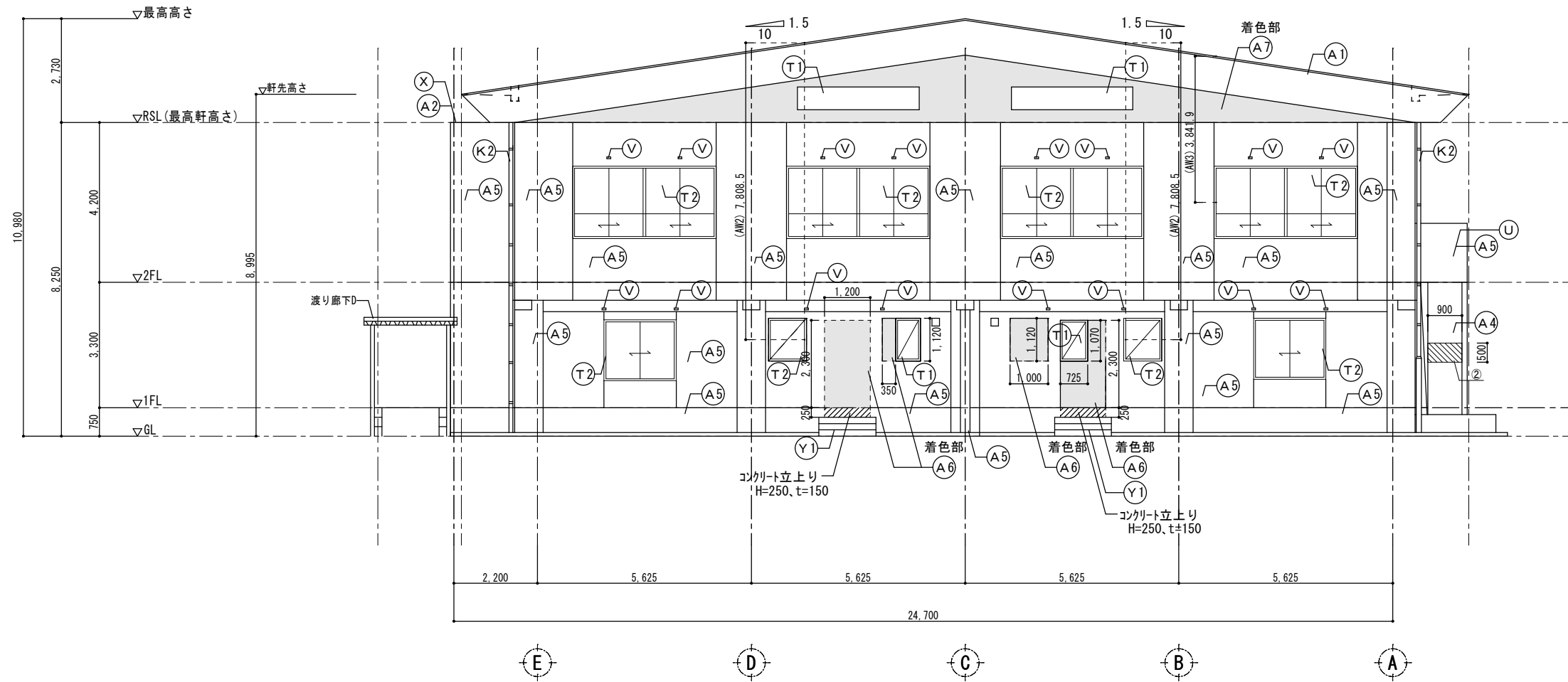
南側立面図 S=1/100

※別途爆裂確認箇所は、監督者と協議の上改修のこと

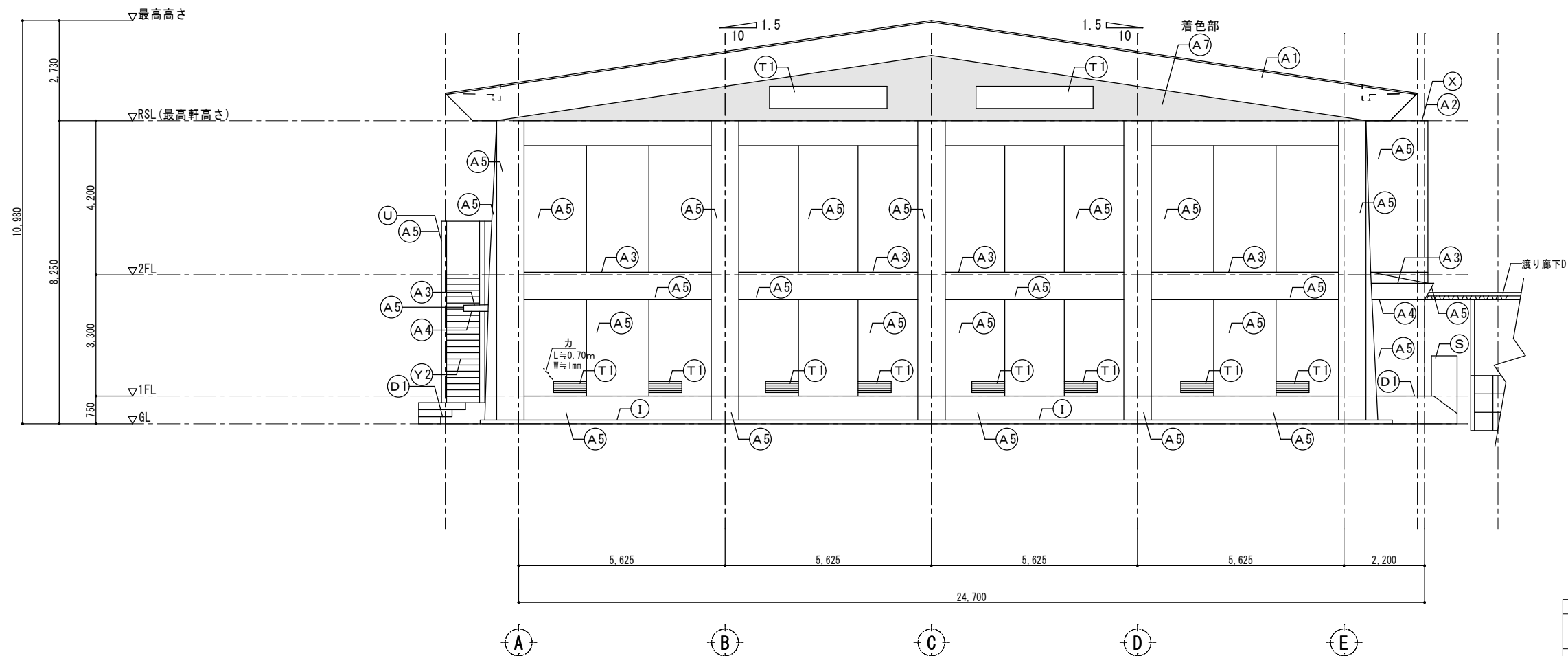


北側立面図 S=1/100

記号	箇所	内容
ア	南庇下 塗膜劣化部	剥離剤で撤去(石綿含有材撤去作業)の上 下地調整(C-1) (部分的に隔離・飛散養生のこと)
イ	階段下 塗膜劣化部	
ウ	大庇下 塗膜劣化部	
エ	大庇下 鉄筋露出部	欠損部補修は、錆落とし後、防錆処理の上、 断面修復用*リマセメント充填による 欠損部補修処理、下地調整(C-1)の上、可とう形 改修塗材RE(ケルカ) ゆず肌ロー仕上げ
オ	南面2通り柱 鉄筋露出部	
カ	外壁 クラック部	クラック補修は、Uカット材充填法による クラック補修処理、下地調整(C-1)の上、可とう形 改修塗材RE(ケルカ) ゆず肌ロー仕上げ



西側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

箇所	内容	
A1	が 鋼板 t0.6 立平または縦ハレ 葺き改質 アスファルト-フィンク t1.0 耐火野地複合板 t43(30分耐火+断熱) 庇鼻が 鋼板 t0.6 曲げ加工 鉄骨小屋組・ブレース 見掛け部下地処理の上結露防止塗装 が 鋼板色:シルバ-系(2.5Y7.5/0.5)	新設
A2	階段室上部陸屋根 下地処理の上、露出アスファルト防水 EP塗装仕上(高反射系塗料)	新設
A3	大庇天端及び立上り・南庇天端・2F梁型天端 高圧洗浄、下地調整の上、ウレタン塗膜防水仕上	新設
A4	大庇、南庇及び西面軒部軒天 高圧洗浄、劣化部補修、下地調整の上、外装薄塗材E塗装仕上	新設
A5	外壁・大庇及び南庇垂直面 高圧洗浄、クワック処理、下地調整の上、可とう形改修塗材RE塗装仕上(ウレタン ゆず肌ローラー) 塗装色:7/6シリ-系(2.5Y8.5/1.5) 既存同色系とする	新設
A6	リップ溝形鋼(100x50x20 t2.3)の上、調合軽量セメントモルタル塗合板張(t12)下地 下地調整の上、可とう形改修塗材RE塗装仕上(ウレタン ゆず肌ローラー) 既存壁取合 シーリング(PU-2)20x10	新設
A7	リップ溝形鋼(100x50x20 t2.3)の上 断熱壁ハル t25 既存壁取合 水切り設置	新設
D1	北面ホ-チおよび階段 RC(鉄筋D13@150シヅメ)+モルタル嵩上げ(+150) 磁器質タイル貼仕上(150角、ノズリクワック型)	新設
D2	南面ホ-チおよび階段 高圧洗浄の上、EP(防汚性防塵塗料)塗装仕上	新設
E	足洗い場撤去跡 RC(鉄筋D13@150シヅメ)+防水モルタル鍍押え仕上仕上	新設
T1	建具	新設
T2	建具(かへ-工法)	新設
I	犬走り RC(鉄筋D13@150シヅメ)+モルタル塗30mmコンクリート打設120 EP(防汚性防塵塗料)塗装仕上	新設
K1	縦樋(塩ビφ100)、ル-フレンドφ100(SUSφ100網付)、大庇 中継ドレン(φ100)	新設
K2	縦樋(塩ビφ100) ル-フレンド(SUSφ100網付) 南側のみ養生管SGP125A H2000	新設
S	流し台(手洗い) W2500 D700 RC+防水モルタル下地、ウレタン防水塗装仕上	新設
U	屋外階段 壁面・笠木仕様はA5に準じる 笠木塗装色はグレーとする	新設
V	既存換気ハ-ブ □-100x50 既存ステンレスハ-ブ(防虫網付) 下地調整の上、DP塗装	既存のまま
X	階段室陸屋根 7/6笠木	新設
Y1	RC下地モルタル鍍押え仕上階段 段鼻ノズリクワック	新設
Y2	屋外階段(20段) モルタル鍍押え仕上+SUS製ノズリクワック(同面仕上)	新設

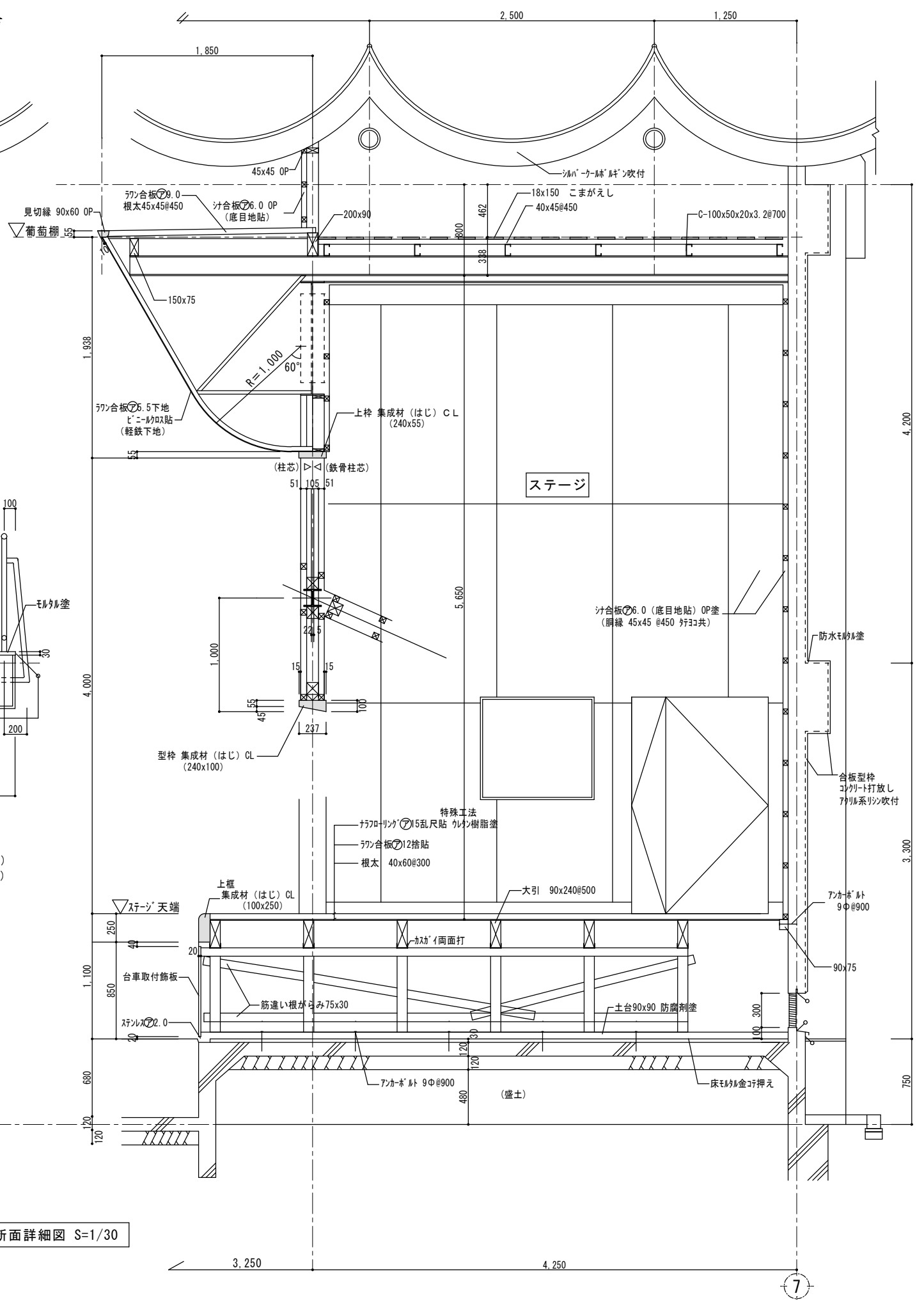
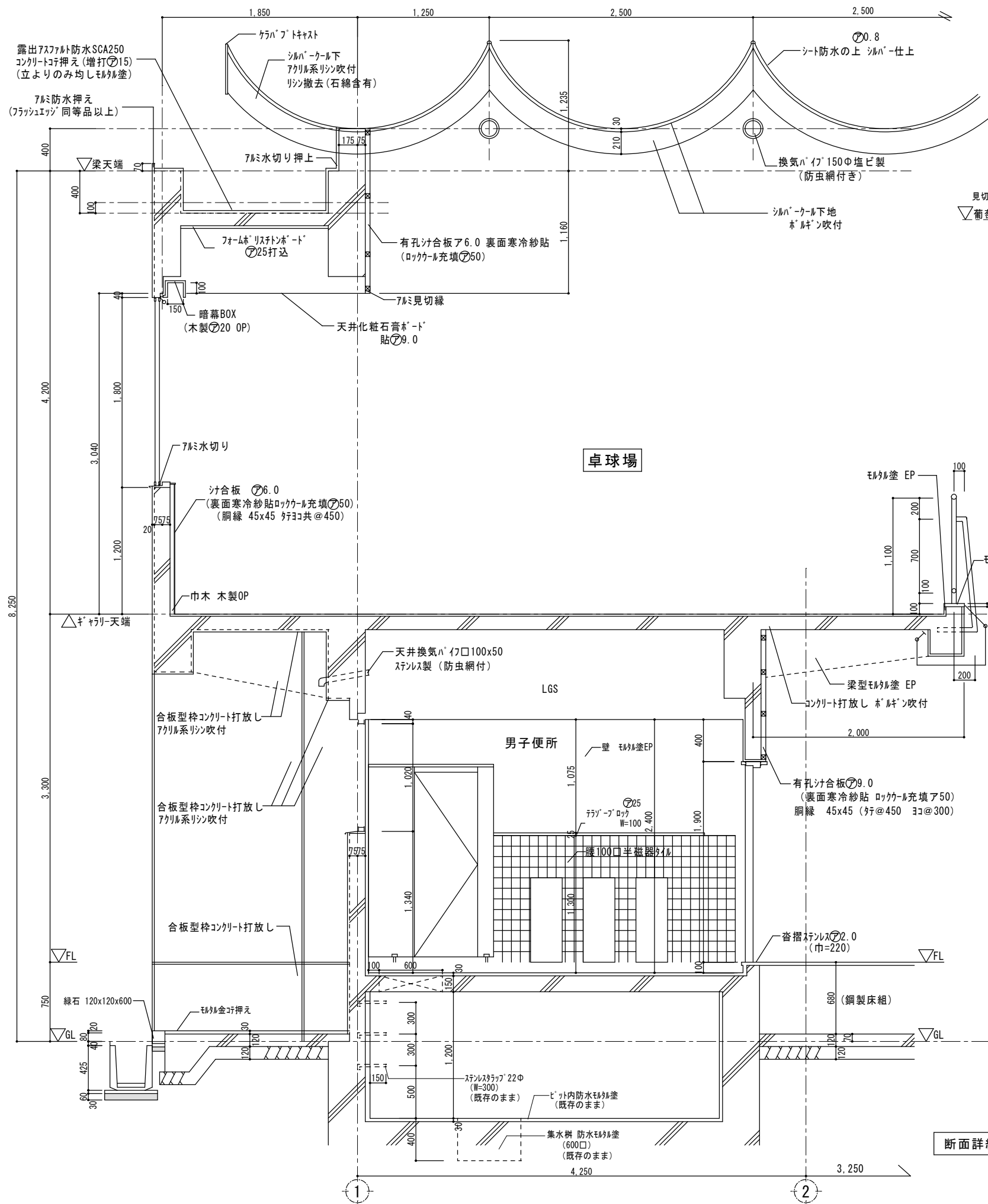
記号	箇所	内容
ア	南庇下 塗膜劣化部	
イ	階段下 塗膜劣化部	剥離剤で撤去(石綿含有材撤去作業)の上 下地調整(C-1) (部分的に隔離・飛散養生のこと)
ウ	大庇下 塗膜劣化部	
エ	大庇下 鉄筋露出部	欠損部補修は、錆落とし後、防錆処理の上、断面修復用リ-メントモルタル充填による 欠損部補修処理、下地調整(C-1)の上、可とう形改修塗材RE(ウレタン) ゆず肌ローラー仕上
オ	南面2通り柱 鉄筋露出部	クワック補修は、ウレタン材充填工法による クワック補修処理、下地調整(C-1)の上、可とう形改修塗材RE(ウレタン) ゆず肌ローラー仕上
カ	外壁 クワック部	クワック補修は、ウレタン材充填工法による クワック補修処理、下地調整(C-1)の上、可とう形改修塗材RE(ウレタン) ゆず肌ローラー仕上

コンクリート爆裂確認箇所

記号	爆裂部面積
①	0.25㎡
②	0.45㎡

※別途爆裂確認箇所は、監督者と協議の上改修のこと





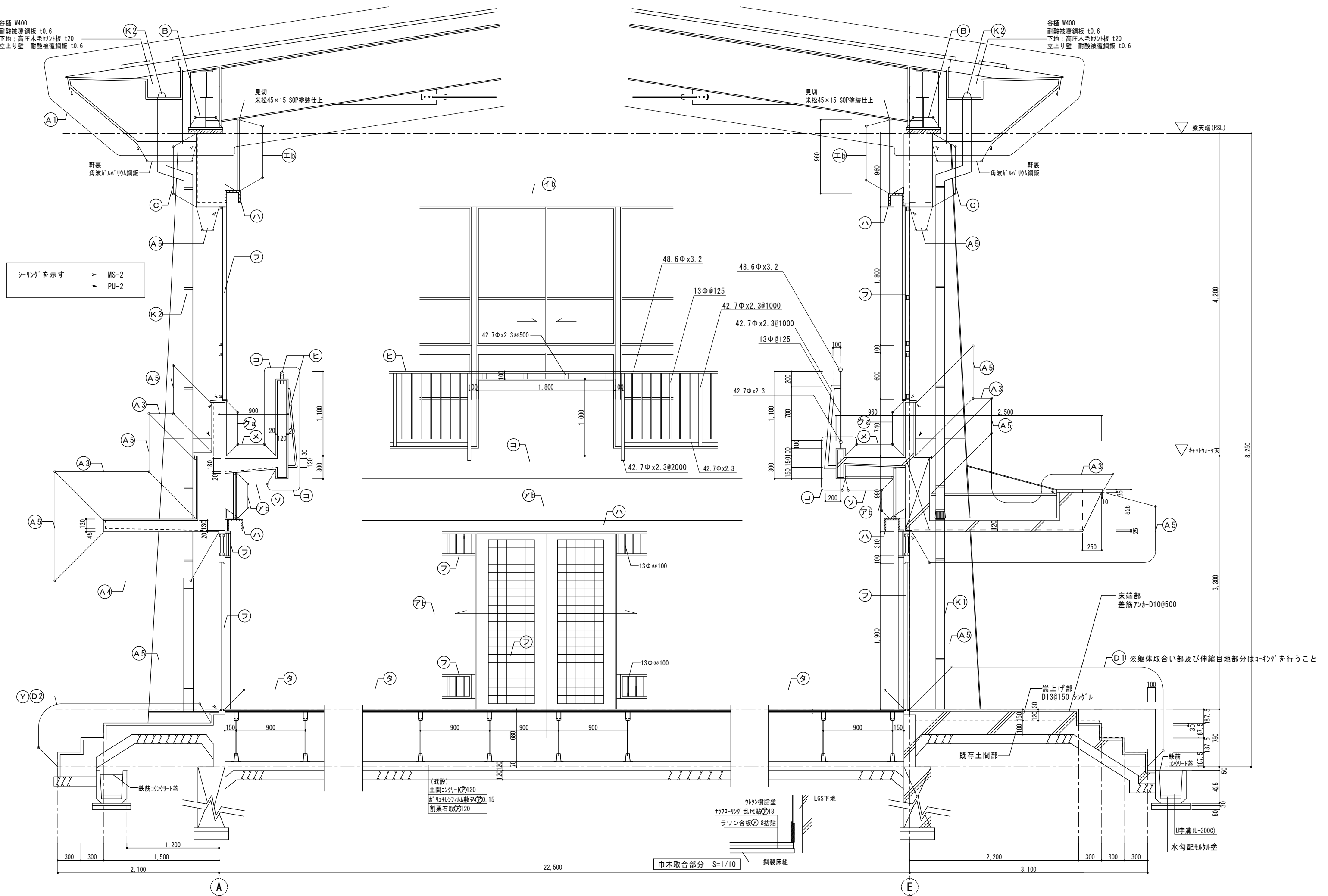
断面詳細図 S=1/30

特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認 概図 設計 製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【既存】矩計詳細図(2)	縮尺 1/30 (A2) 1/42 (A3)	訂正年月日	図面No. A-27

谷樋 W400  
耐酸被覆鋼板 t0.6  
下地：高圧木毛t120板 t20  
立上り壁 耐酸被覆鋼板 t0.6

谷樋 W400  
耐酸被覆鋼板 t0.6  
下地：高圧木毛t120板 t20  
立上り壁 耐酸被覆鋼板 t0.6

シーリングを示す  
 ▶ MS-2  
 ▶ PU-2



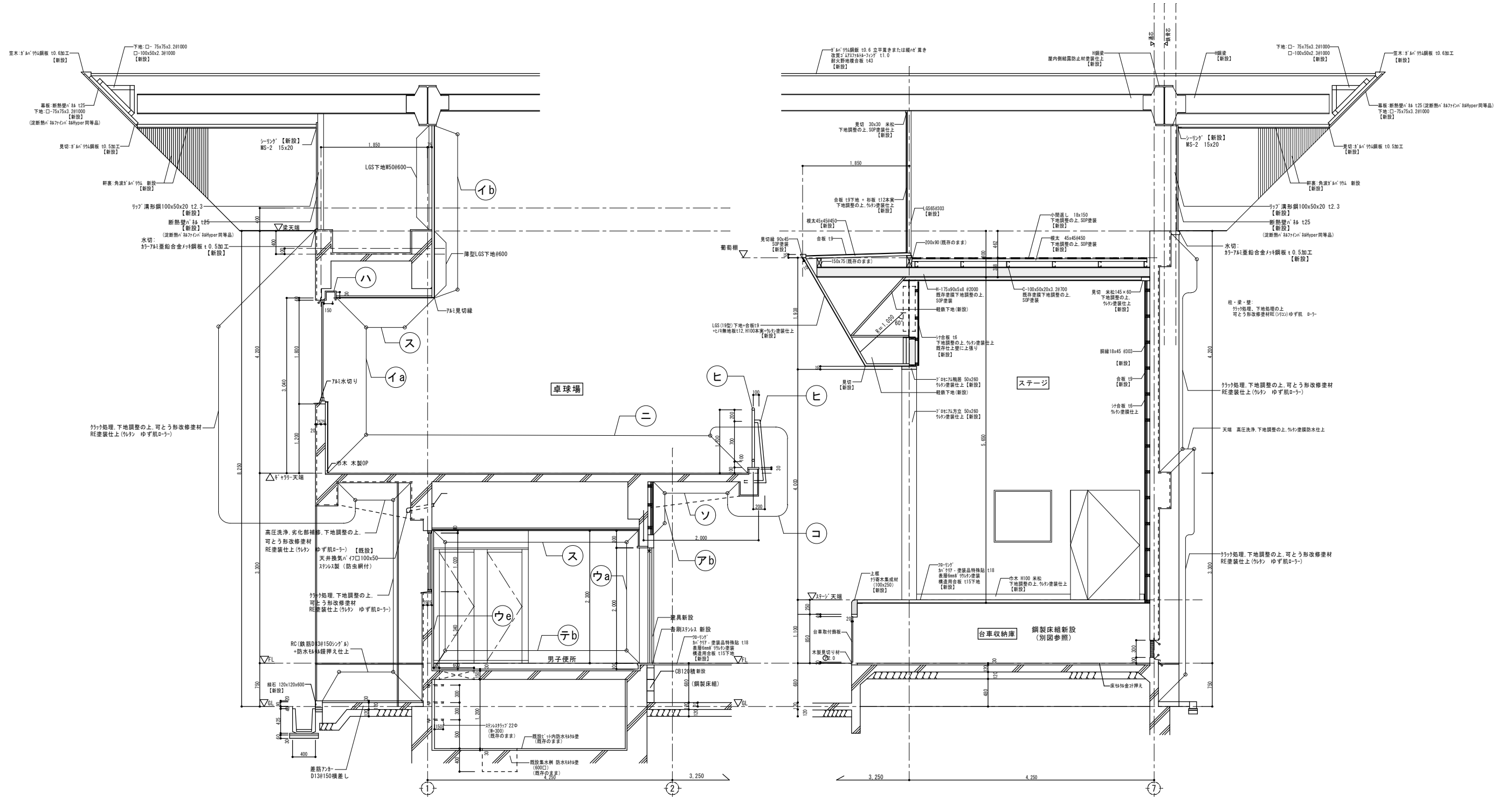
特記  
 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。

株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
 図面名称 【計画】矩計詳細図(1)  
 縮尺 1/30 (A2)  
 1/42 (A3)

承認 検図 設計 製図  
 作図年月日 2022.11.  
 訂正年月日  
 種類 提出図  
 図面No. A-28

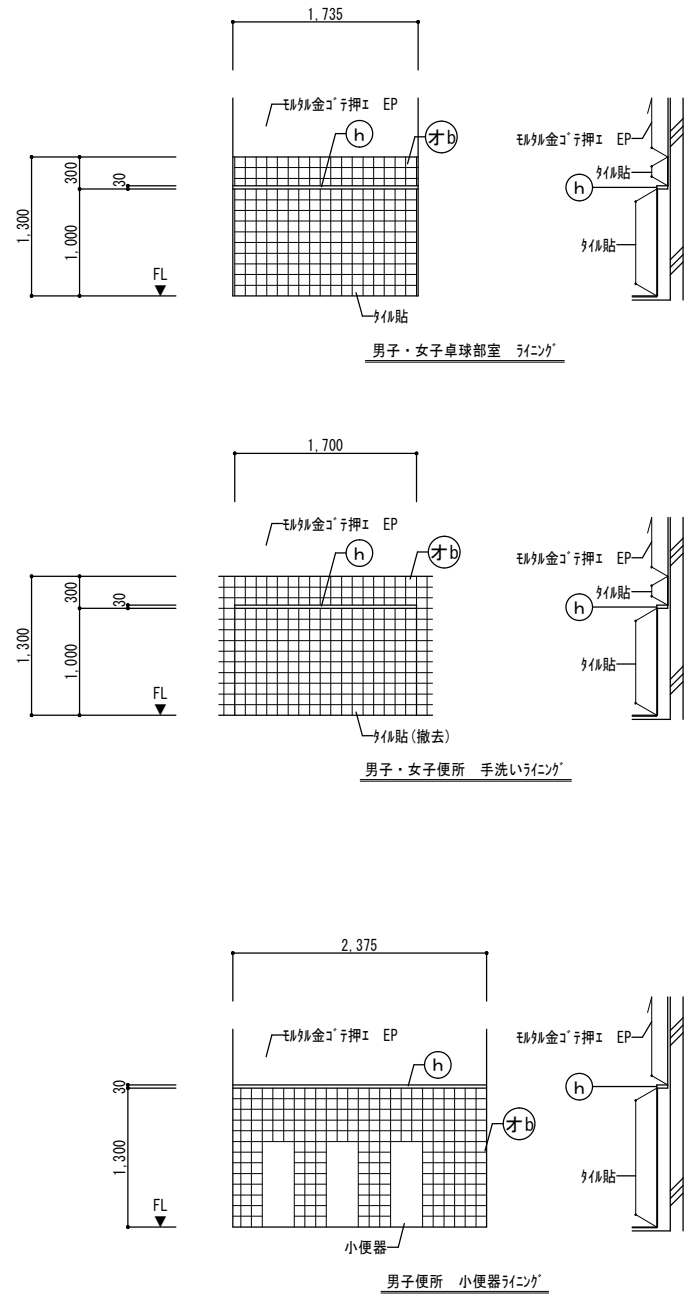
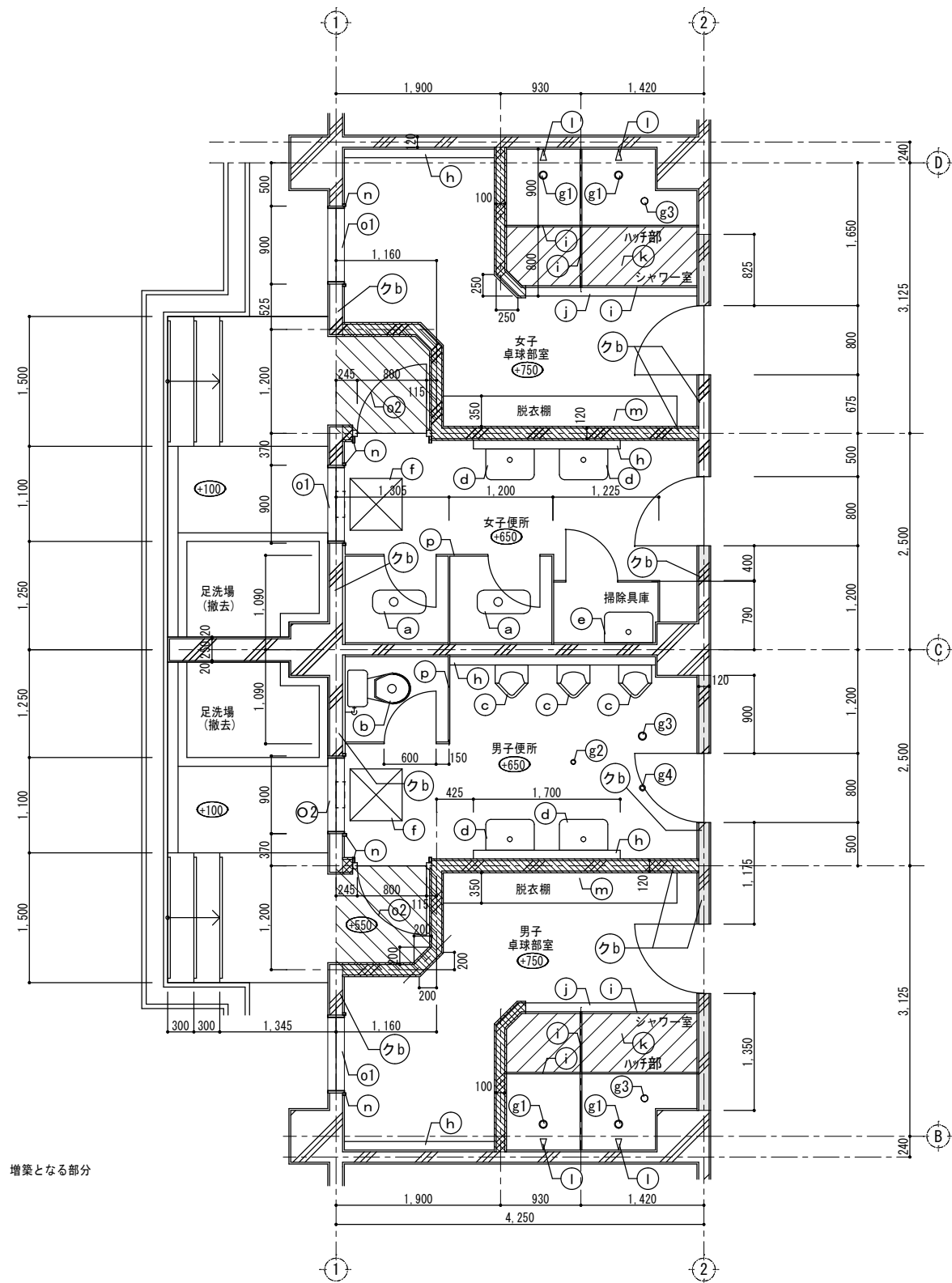




※特記無き場合、天井以外の骨格見え振りについてはSFPとす。  
 ※特記無き場合、天井の骨格見え振りについては結露防止とす。  
 ※部品等で工事を行う上で支障になるものは、監理員と協議の上、保管場所を決め、必ず養生を行う事。

断面詳細図 S=1/50

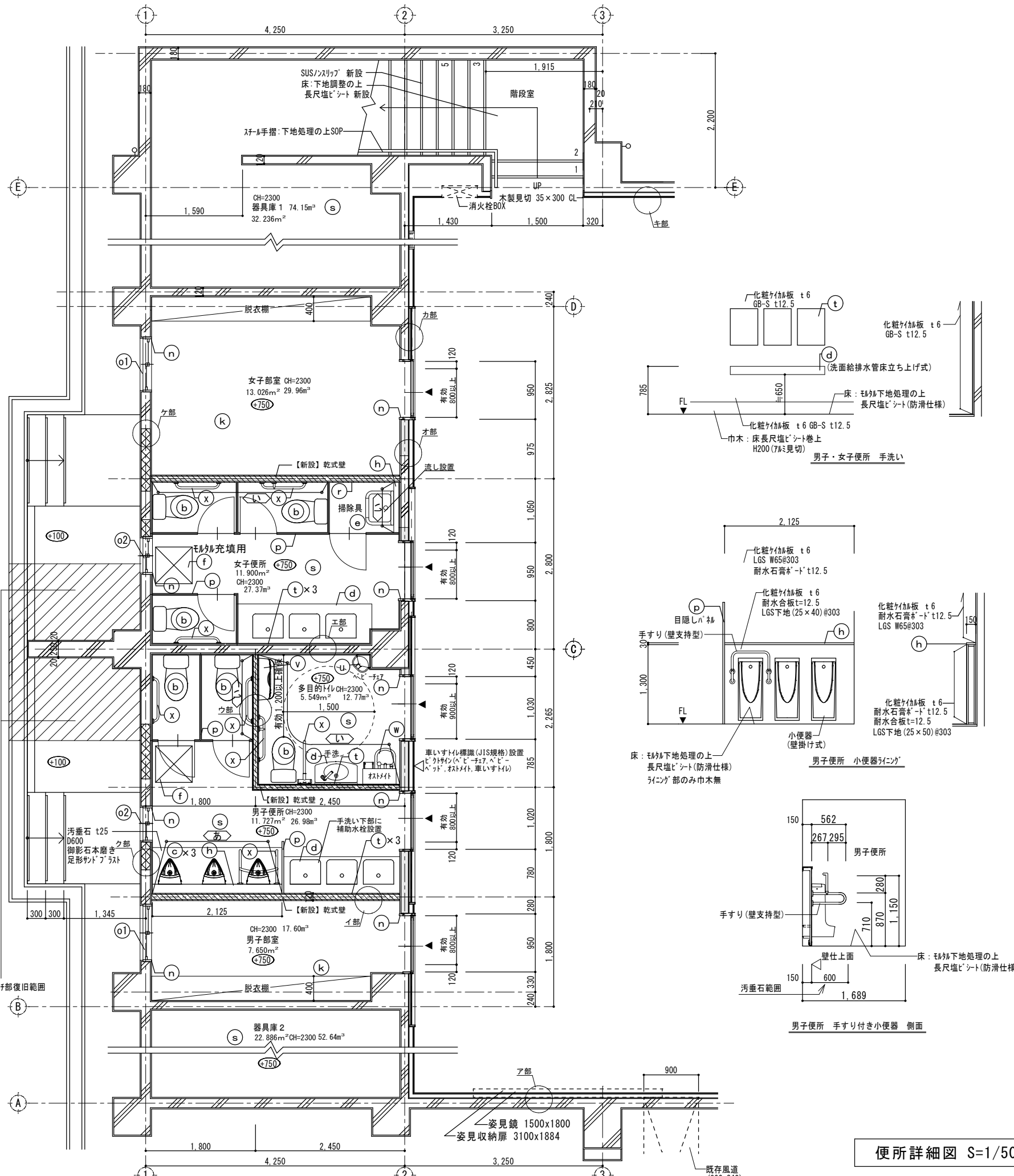
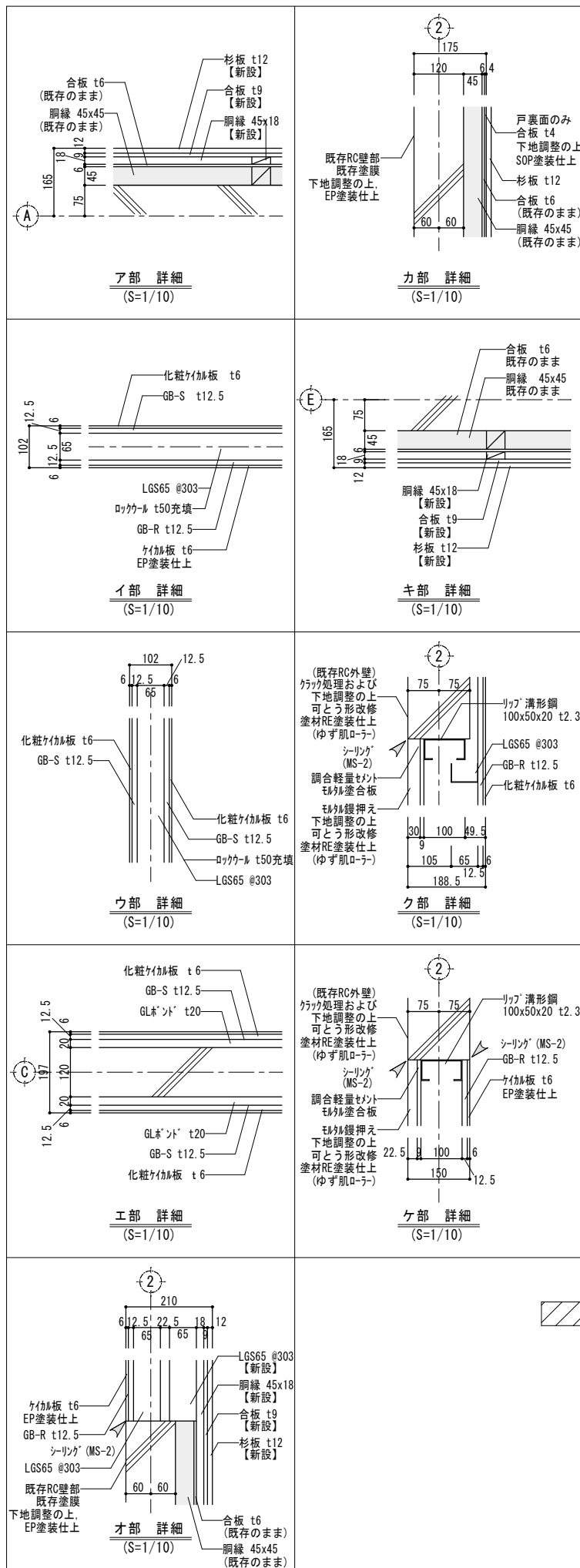
<b>特記</b> 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 <b>南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)</b>	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 <b>【計画】矩計詳細図(2)</b>	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



撤去箇所	
	RC撤去部分 (SLより梁下/スラブ下まで)
	RC撤去部分 (SLよりFL2100まで)
(a)	和式大便器
(b)	洋式大便器
(c)	小便器
(d)	手洗器 (水栓金具共)
(e)	スロップシンク
(f)	床下点検口 600×600 ステンレス枠
(g1)	床排水金物 φ75
(g2)	床排水金物 φ50
(g3)	掃除口 φ75
(g4)	掃除口 φ50
(h)	ライニング 笠木 人工大理石 t30 D100
(i)	ビニル製シャワーカーテン・レール
(j)	床見切 人工大理石ブロック
(k)	モルタルコテ押えの上、ゴム製マット敷
(l)	シャワー水栓金具
(m)	木製脱衣棚 3段
(n)	窓額縁 木製 SOP
(o1)	アルミ建具 枠残し
(o2)	アルミ建具
(p)	トイレース
(q)	掃除具庫巾木: 木製 50×25 OP
(r)	掃除具庫 ステンレス製フック 5か所
(オb)	腰壁: 100角半磁器タイル (FL+1300まで) 巾木: 100角半磁器タイル モルタル下地 ライニング: 下地CB撤去
(クb)	壁: モルタルコテ押え EP 外壁部: 既存のまま 内部間仕切: 一部撤去

床仕上: 既存床タイル存置

便所詳細図 S=1/50



新設箇所	
	乾式間仕切壁 (SLより梁下/スラブ下まで)
	乾式間仕切壁 (FLよりFL2100まで)
	開口閉塞 乾式壁
(b)	洋式大便器
(c)	小便器
(d)	手洗器 (水栓金具共)
(e)	スロップ シンク
(f)	床下点検口 600×600 ステンレス枠
(h)	ライング 笠木 人工大理石 t30 D150
(k)	床: モルタル下地の上, 長尺塩ビシートA 軽量コンクリートA90
(n)	額縁
(o1)	7mm建具 (カバー工法)
(o2)	7mm建具
(p)	トイレマス (目隠しカバー含む)
(r)	掃除具庫 ステンレス製フック 5か所
(s)	床: モルタル下地の上, 長尺塩ビシートB 軽量コンクリートA90巾巾木H=100
(t)	(男女トイレ) 鏡 (W450×H600) (多目的便所) 鏡 (W450×H800)
(u)	(多目的便所) ベビークリーン
(v)	(多目的便所) ベビークリーン
(w)	(多目的便所) オストメイト
(x)	L型手摺×6 跳ね上げ式×1 立位用手摺 (小便器前)×1

あ FL+1300まで  
LGS + 耐水合板t12.5 +  
耐水石膏ボードt12.5 + 化粧ケイカル板t6

い 一部下地補強部分は耐水合板t12.5とする。

《凡例》

△ : 車いすトイレ標識 (JIS規格) 設置  
ベビークリーン : 標識設置  
オストメイト : 標識設置

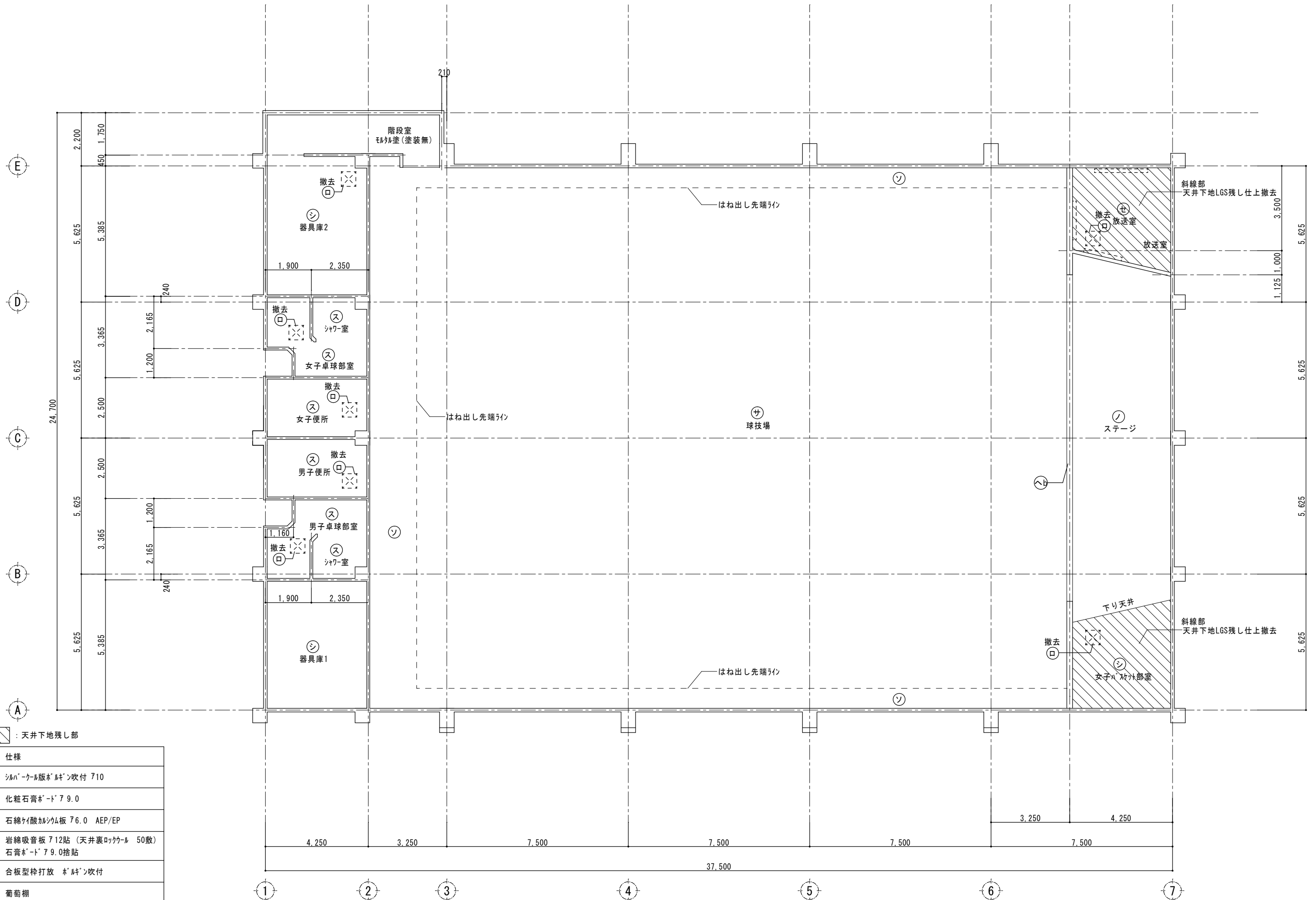
《ユニバーサルデザイン》

- 出入口については、車いす利用者の利用を考慮して有効開口幅90cmを確保する
- 床材については、滑りにくいものとし段差は無いものとする
- 手洗い洗面器は足元開放タイプとし、BOX型の洗面台は不可とする
- 便器両側の手すりについては、片側は跳ね上げ式のものとする
- 手洗い水栓については、自動式とする
- 出入口扉取手は「ハンドフリー」とする
- 多機能便房内腰掛便座、手すり、洗浄装置、鏡、鏡、洗面、水栓、非常警報装置、ベビークリーン設置 (設置についてはUD申請設置マニュアルに準ずる)

※ 手洗いかみかみ等の水廻り取合部分は、シロコキネンを行うこと  
※ 和式便器撤去跡は普通コンクリート打設のこと  
Fcl8 D10付コブアル (差し筋失)

床仕上: コンクリート直均しモルタル無とする。

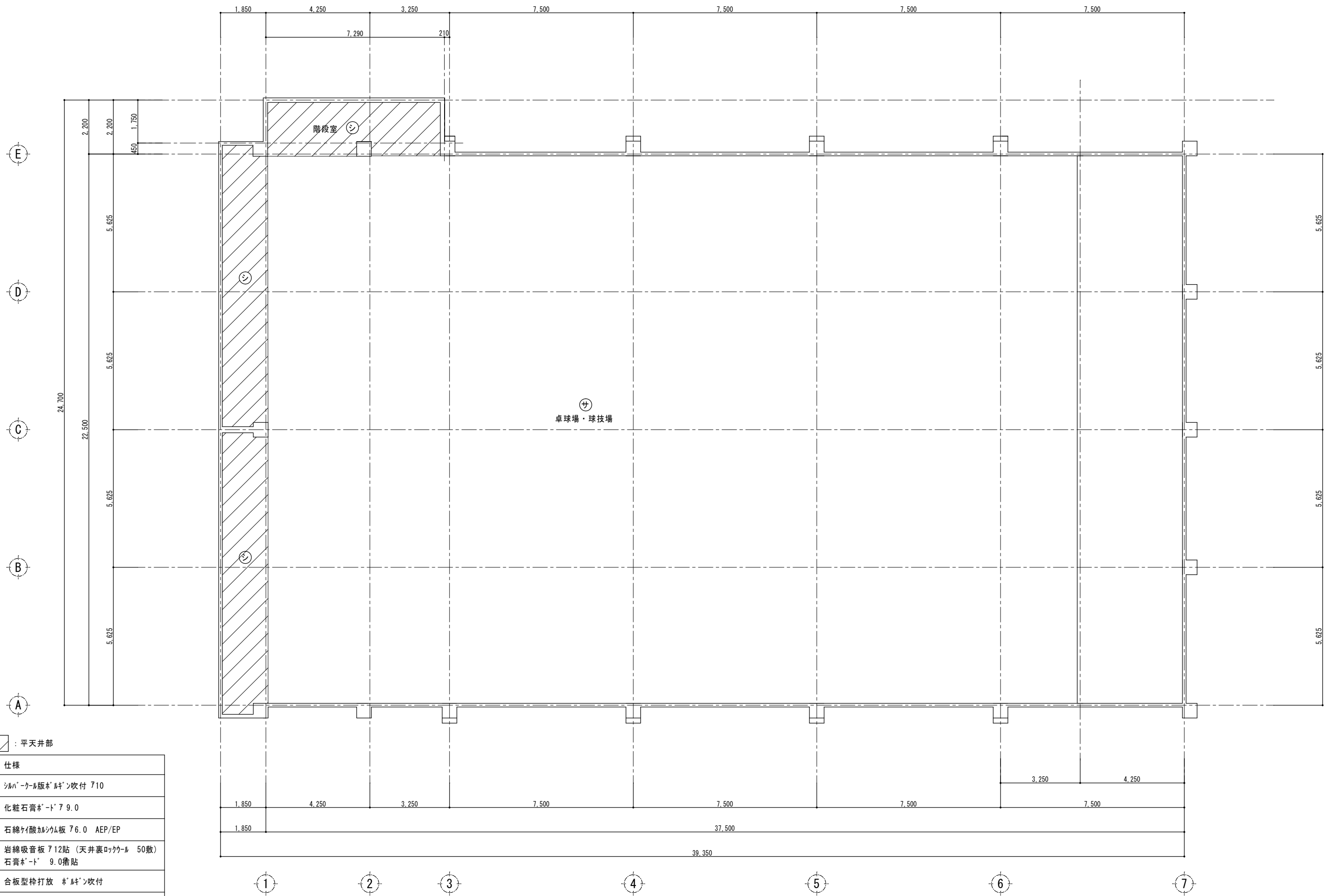
便所詳細図 S=1/50



	天井地下残し部
記号	仕様
サ	シムレキール版木 <sup>®</sup> 吹付 710
シ	化粧石膏ボード <sup>®</sup> 79.0
ス	石綿ケイ酸カルシウム板 76.0 AEP/EP
セ	岩綿吸音板 712貼 (天井裏ロッカー <sup>®</sup> 50敷) 石膏ボード <sup>®</sup> 79.0捨貼
ソ	合板型枠打放 木 <sup>®</sup> 吹付
ノ	葡萄棚
ロ	7M <sup>®</sup> 製天井点検口 600x600

電気設備・機械設備工事に伴う天井脱着あり(ダクト、配線等)

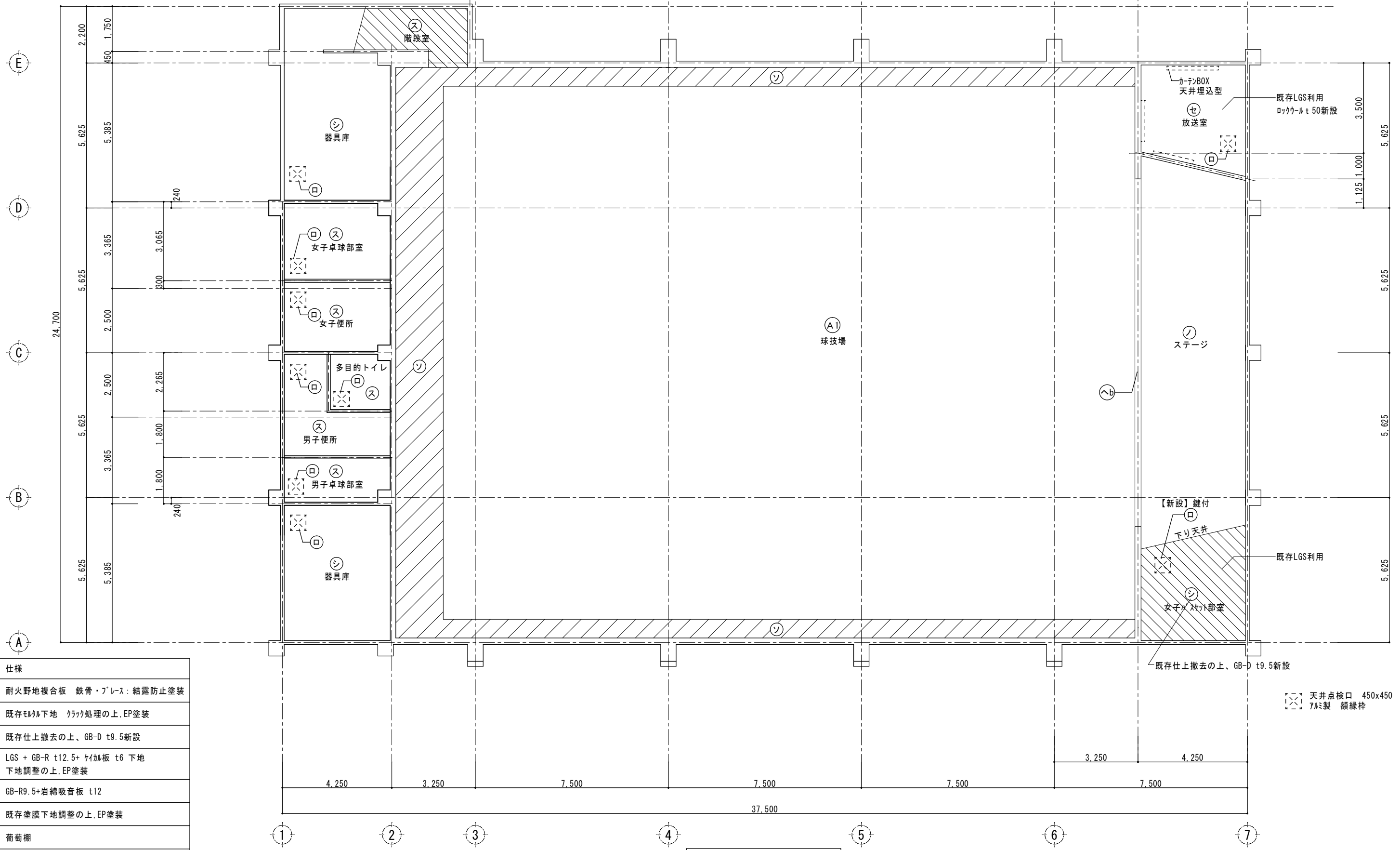
1階天井伏図 S=1/100



	: 平天井部
記号	仕様
サ	シムルケル版木 <sup>®</sup> ギン吹付 710
シ	化粧石膏ボード 9.0
ス	石綿ケイ酸カルシウム板 76.0 AEP/EP
セ	岩綿吸音板 712貼 (天井裏ロケル 50敷) 石膏ボード 9.0巻貼
ソ	合板型枠打放 木 <sup>®</sup> ギン吹付
ノ	葡萄棚
ロ	7M <sup>®</sup> 製天井点検口 600x600

電気設備・機械設備工事に伴う天井脱着あり(外配線等)

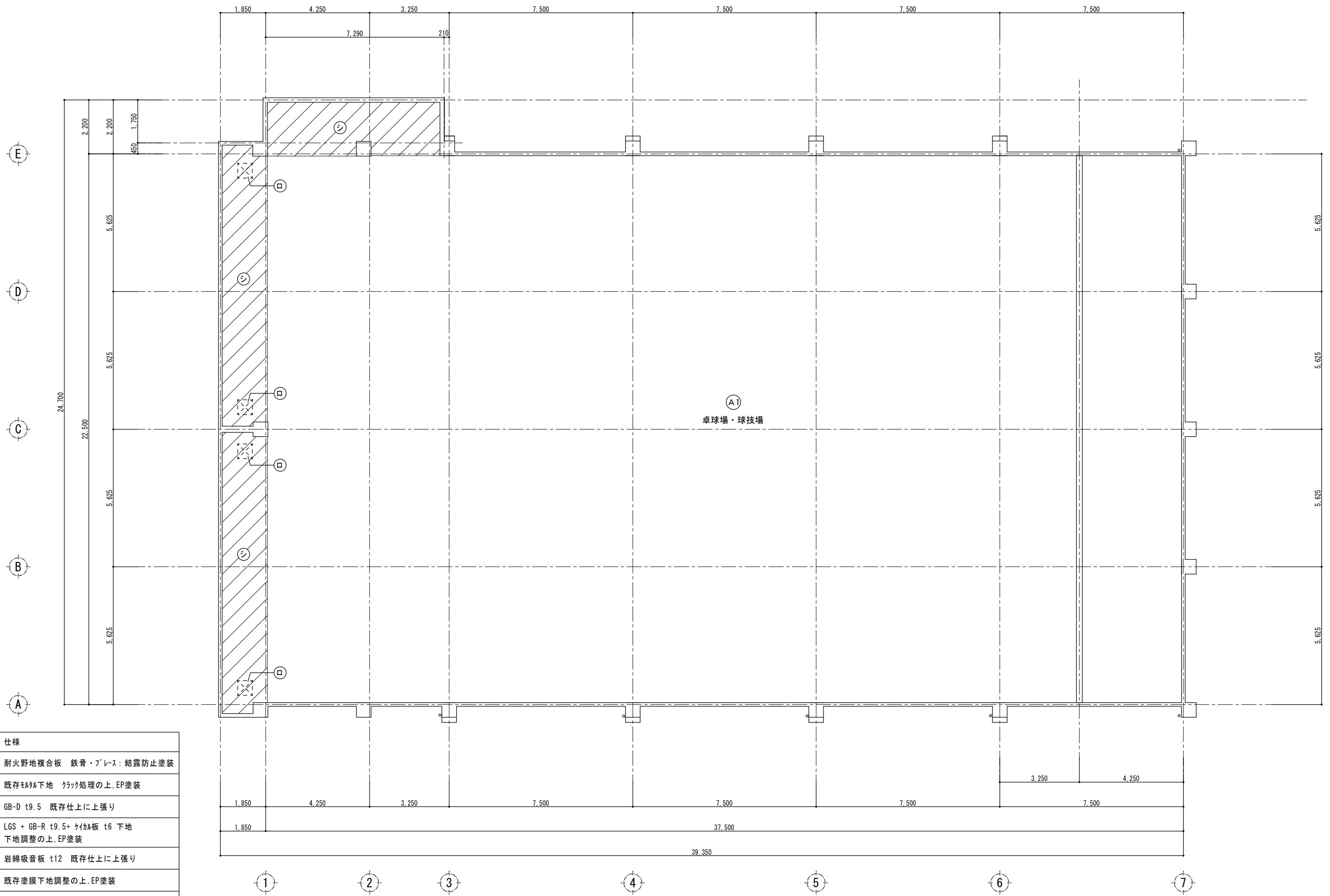
2階天井伏図 S=1/100



記号	仕様
(A1)	耐火野地複合板 鉄骨・プレス: 結露防止塗装
(クa)	既存モルタル下地 クラック処理の上、EP塗装
(シ)	既存仕上撤去の上、GB-D t9.5新設
(ス)	LGS + GB-R t12.5+ ケーブル板 t6 下地 下地調整の上、EP塗装
(セ)	GB-R9.5+岩綿吸音板 t12
(ソ)	既存塗膜下地調整の上、EP塗装
(ノ)	葡萄棚
(ロ)	7M製天井点検口 450x450

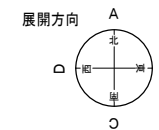
特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。

1階天井伏図 S=1/100

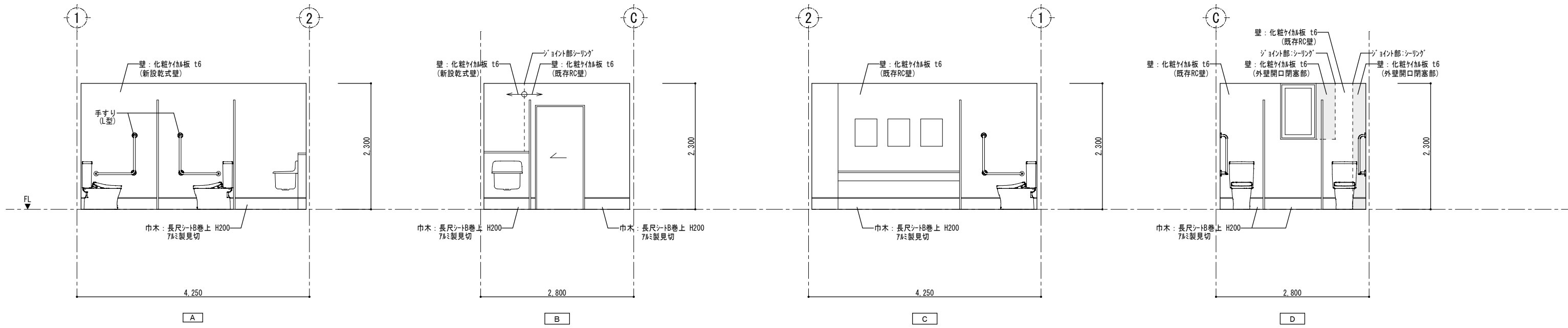


記号	仕様
Ⓐ	耐火野地複合板 鉄骨・プレス：結露防止塗装
ク	既存モルタル下地 クラック処理の上、EP塗装
シ	GB-D t9.5 既存仕上に上張り
ス	LGS + GB-R t9.5+ ケイカル板 t6 下地 下地調整の上、EP塗装
セ	岩綿吸音板 t12 既存仕上に上張り
ソ	既存塗膜下地調整の上、EP塗装
ノ	葡萄棚
□	7M製天井点検口 450x450

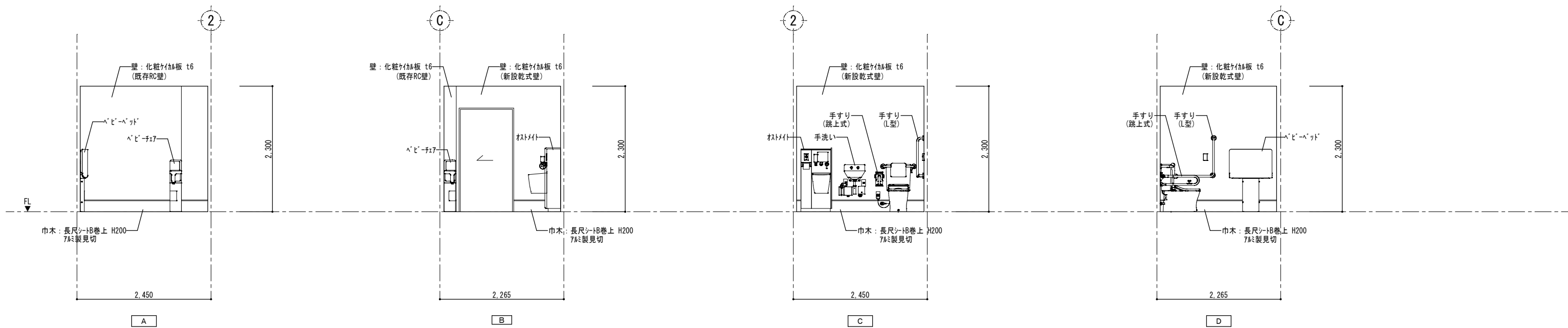
2階天井伏図 S=1/100



女子便所

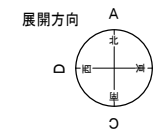


多目的トイレ

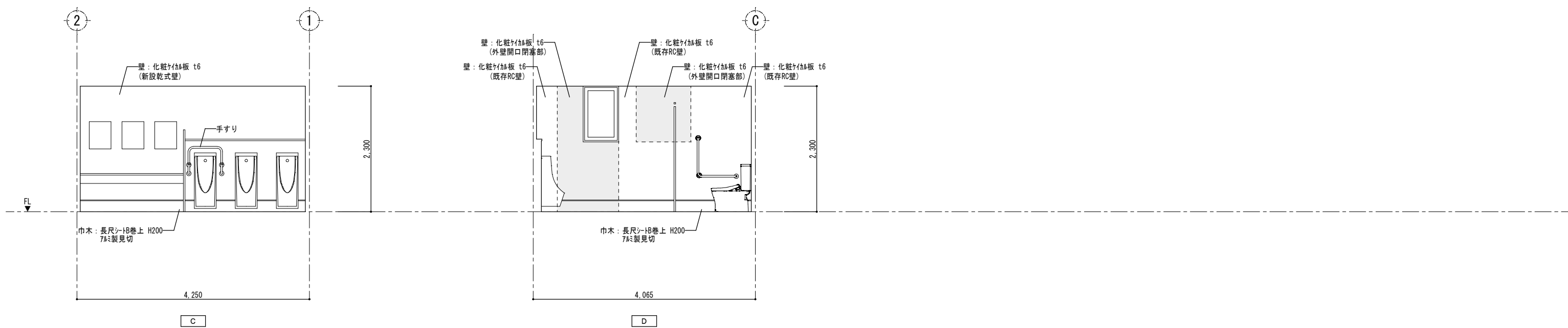
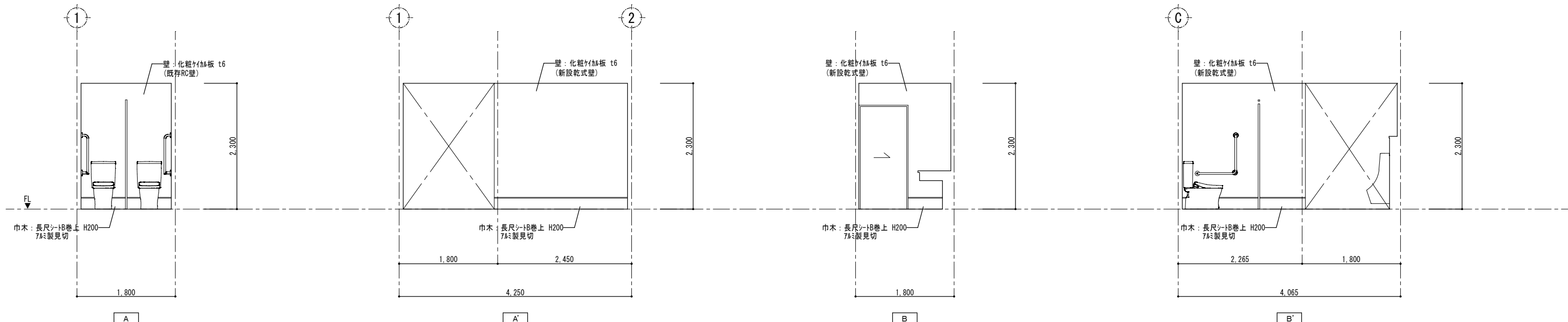


特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は7%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(1)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日

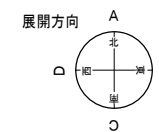




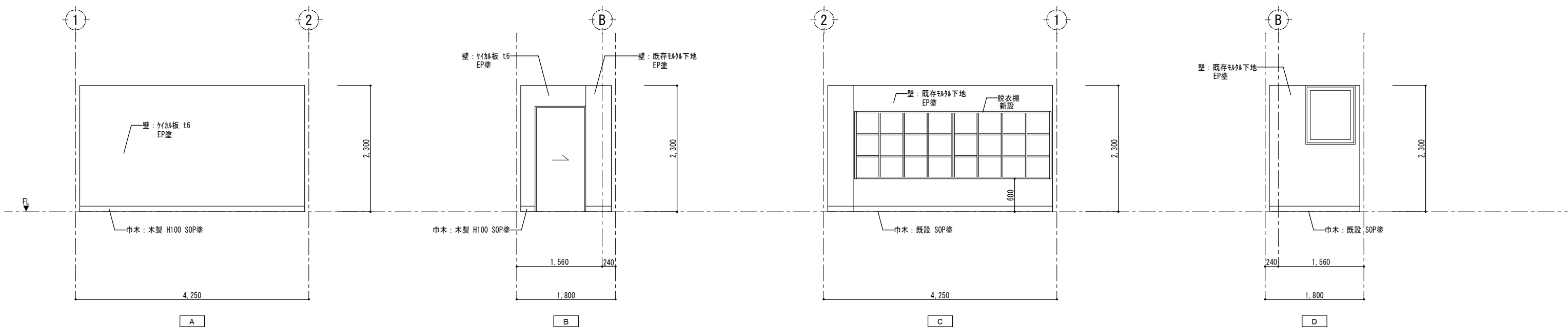
男子便所



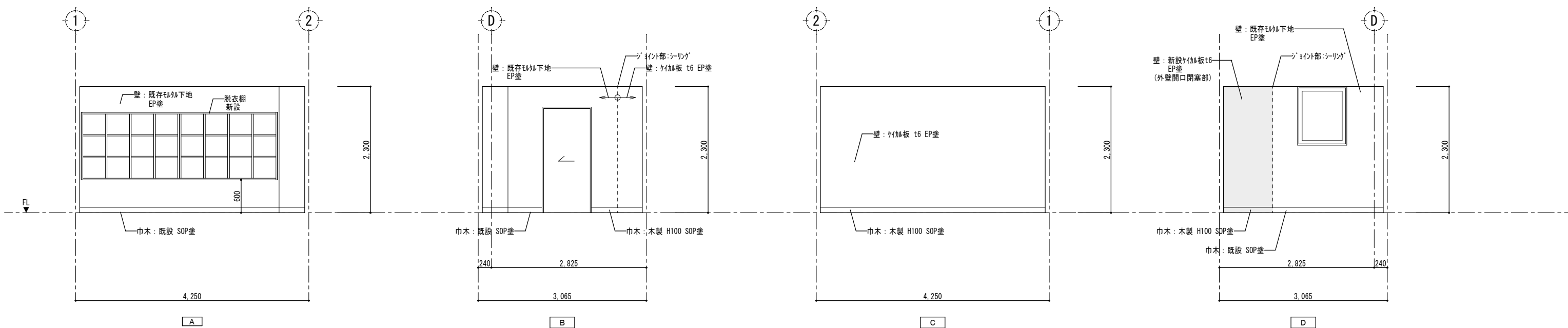
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は7%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(2)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



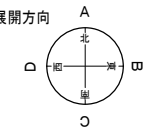
男子卓球部室



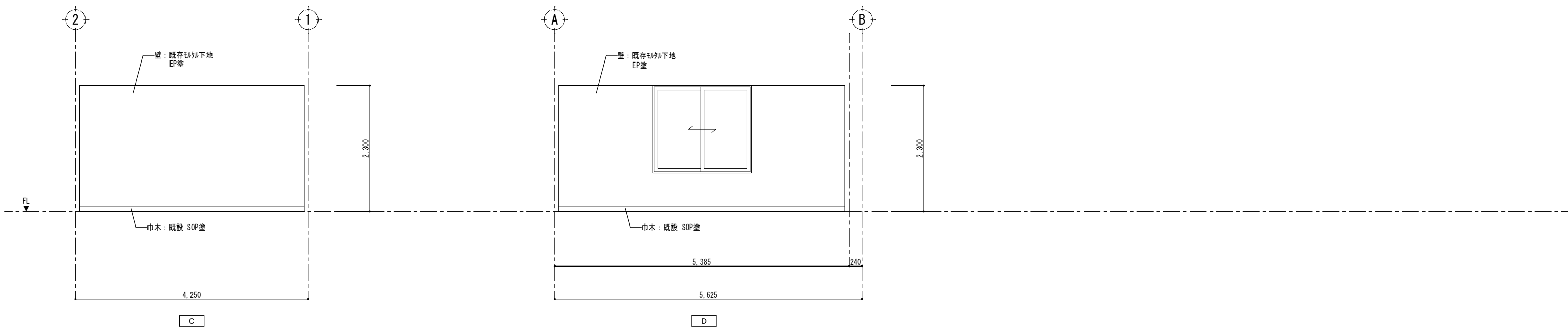
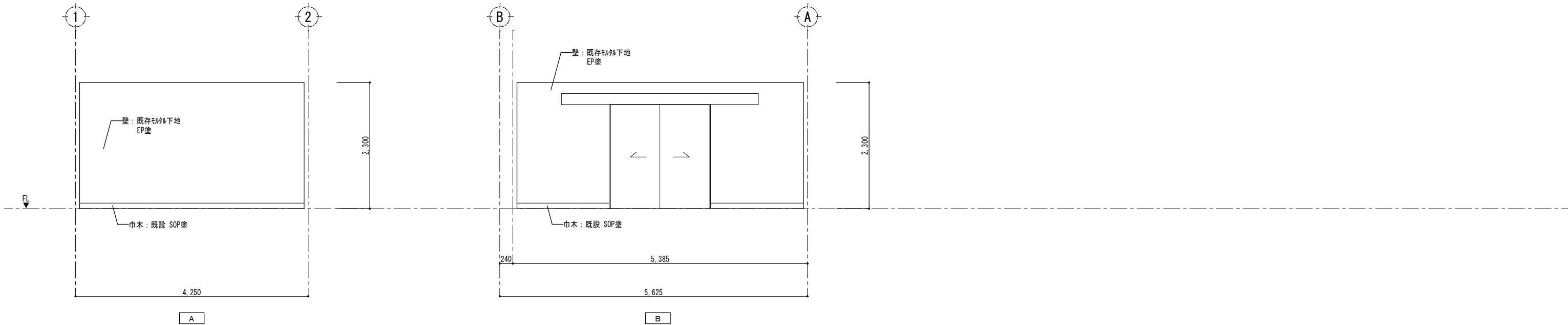
女子卓球部室



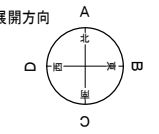
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(3)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



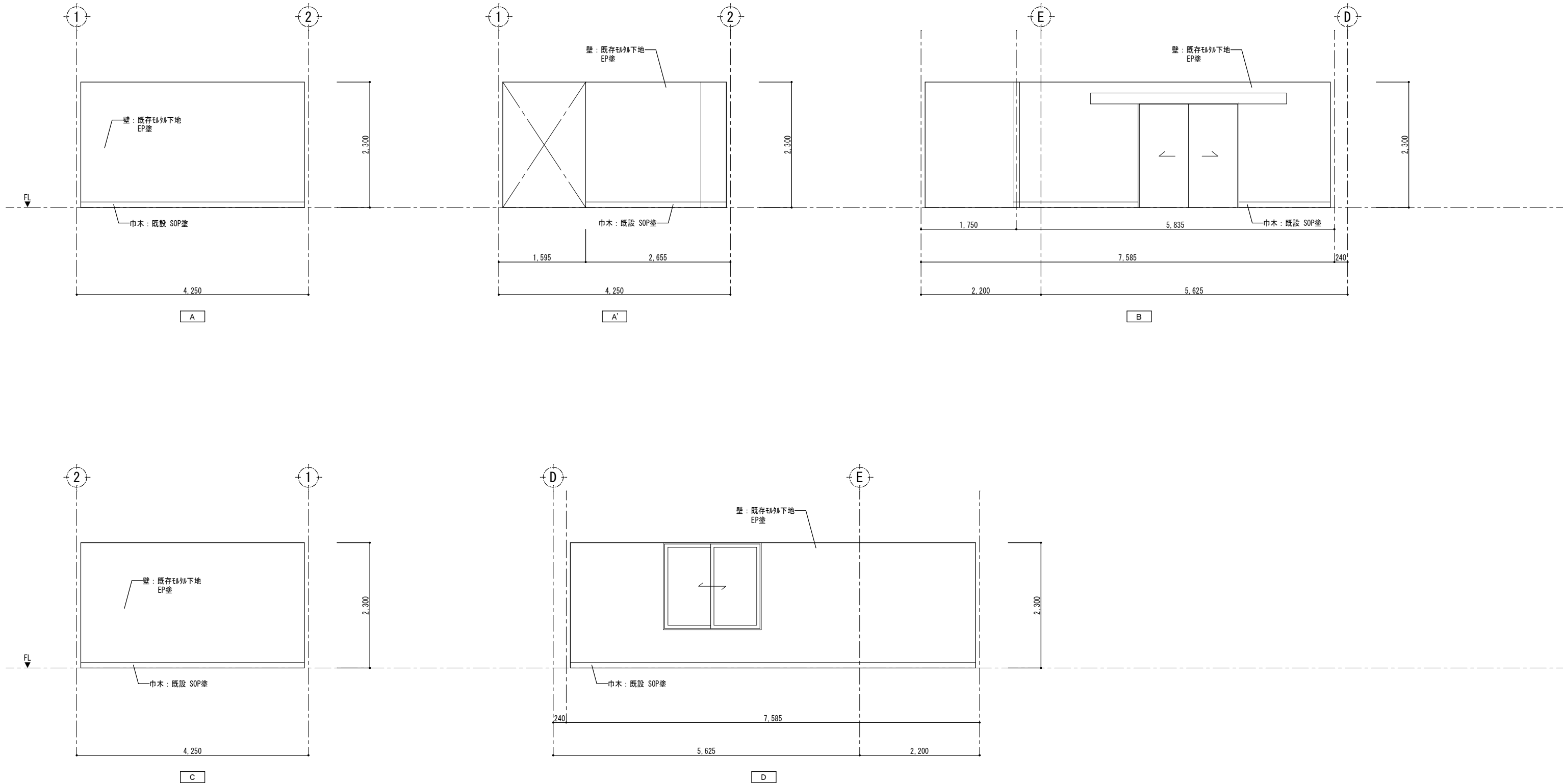
器具庫(南)



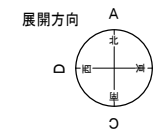
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(4)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



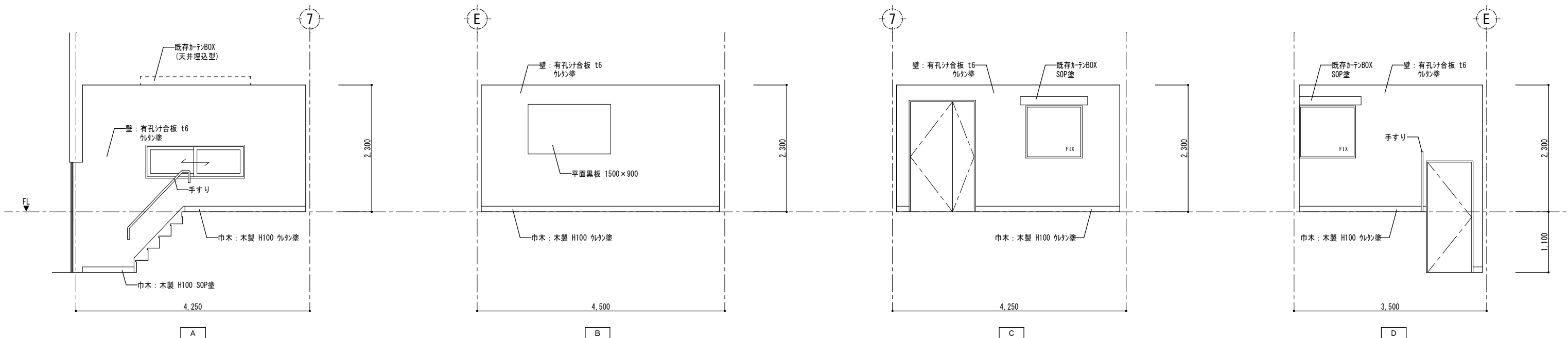
器具庫(北)



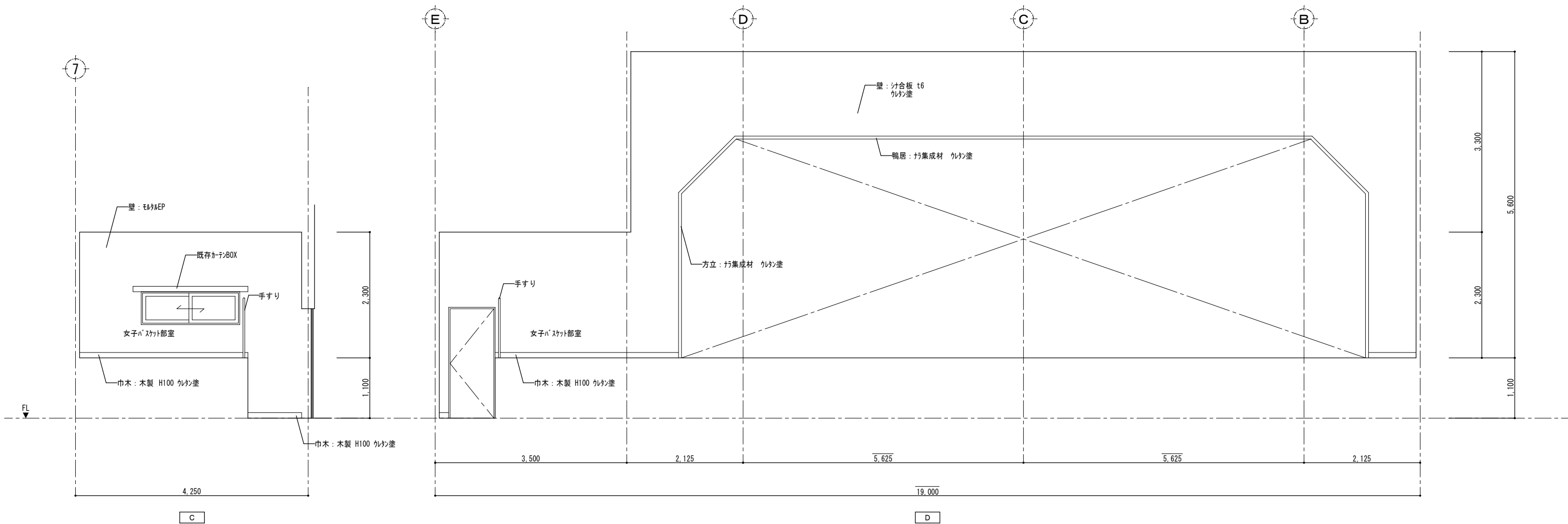
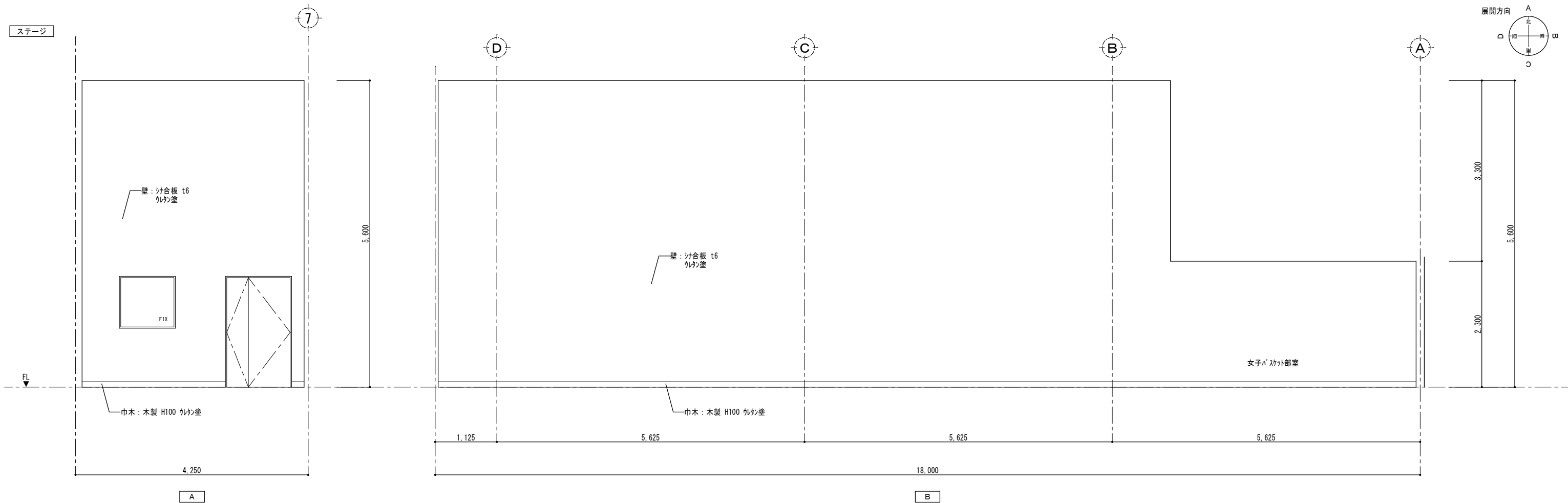
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(5)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



放送室

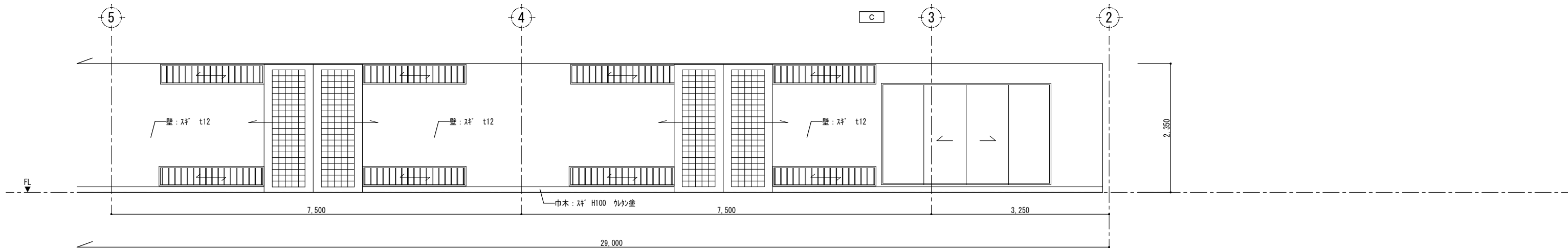
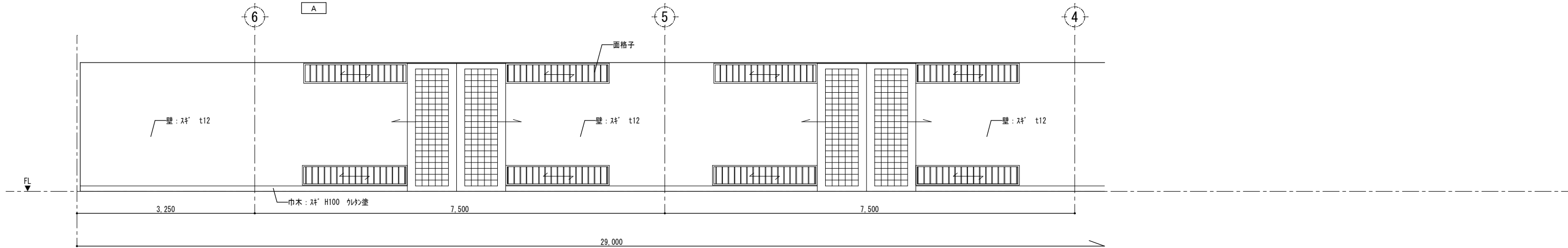
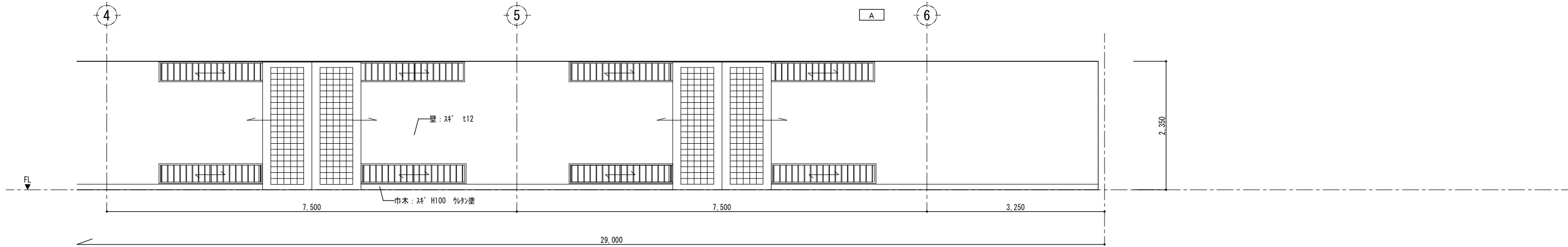
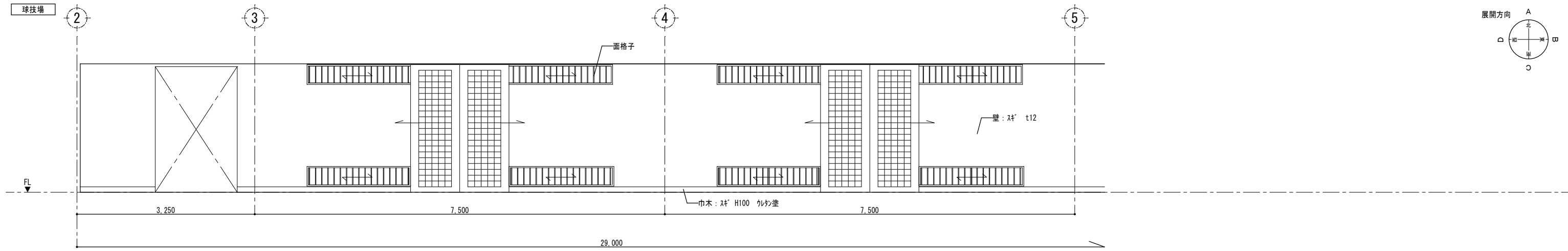
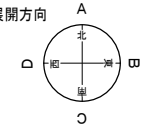


特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(6)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日



特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	校図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(7)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日

球技場

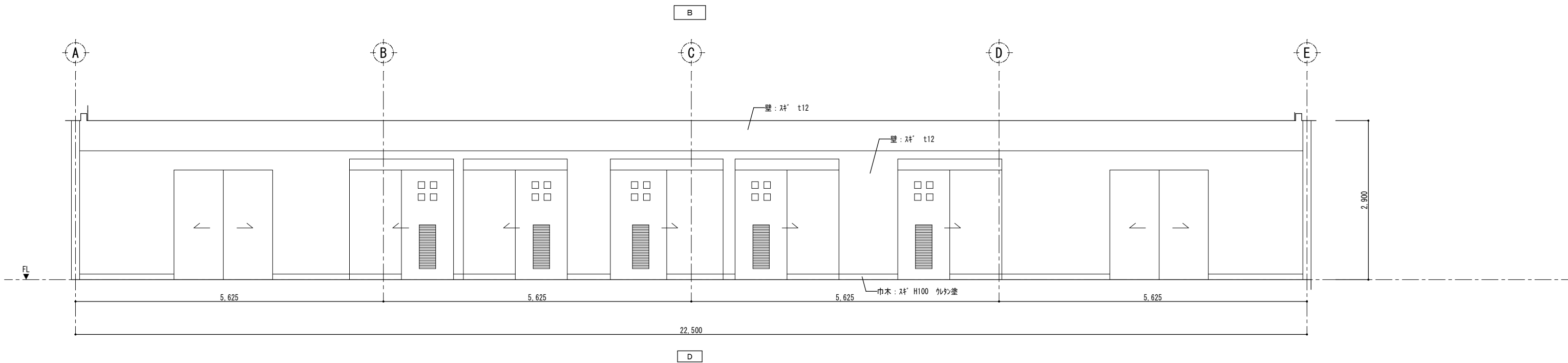
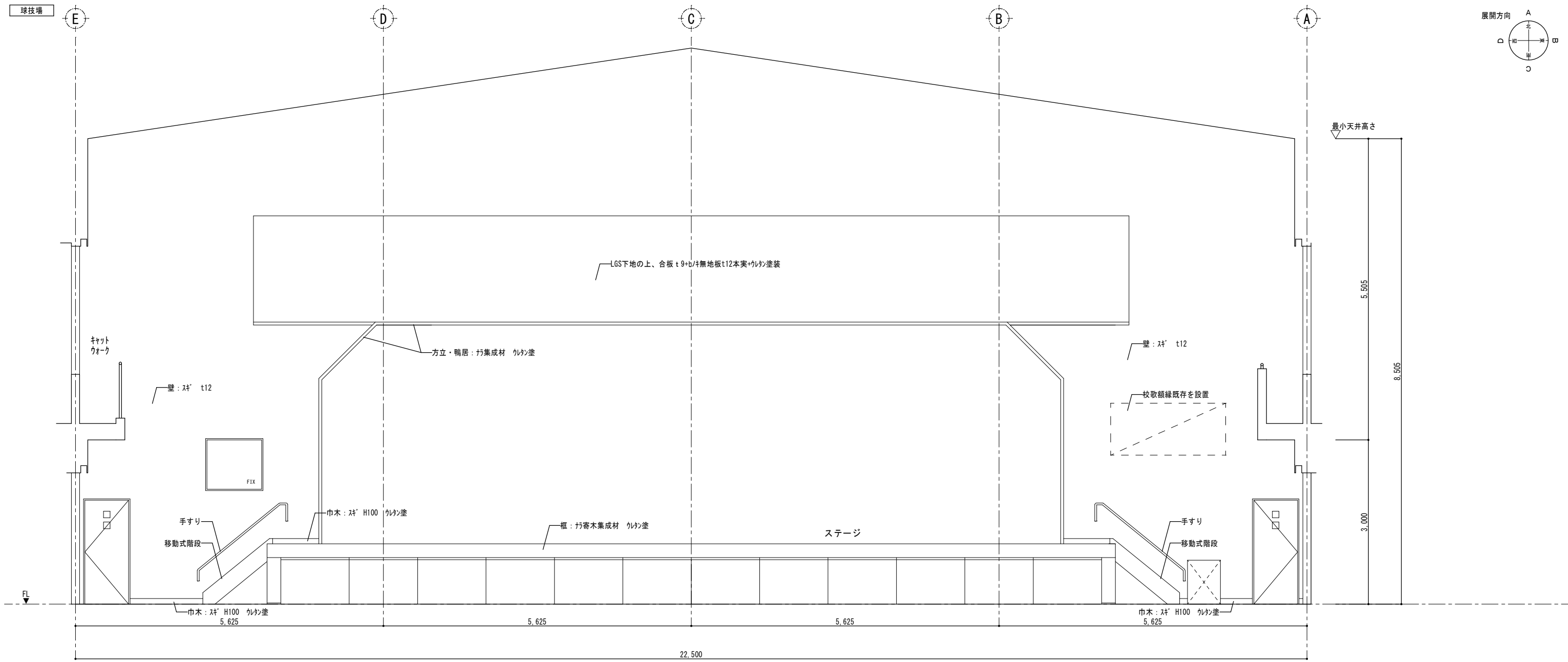


特記  
本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。

株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号  
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢

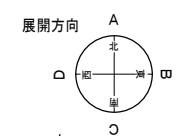
工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)  
図面名称 【計画】展開図(8) 縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)

承認	検図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
				訂正年月日	図面No. A-43

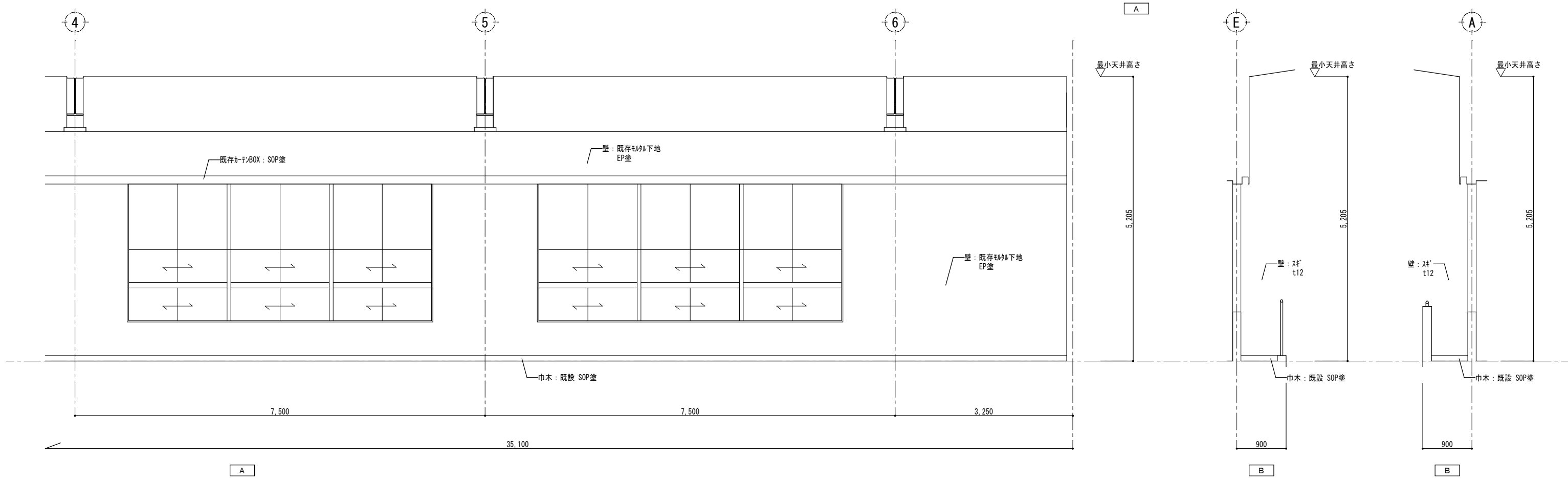
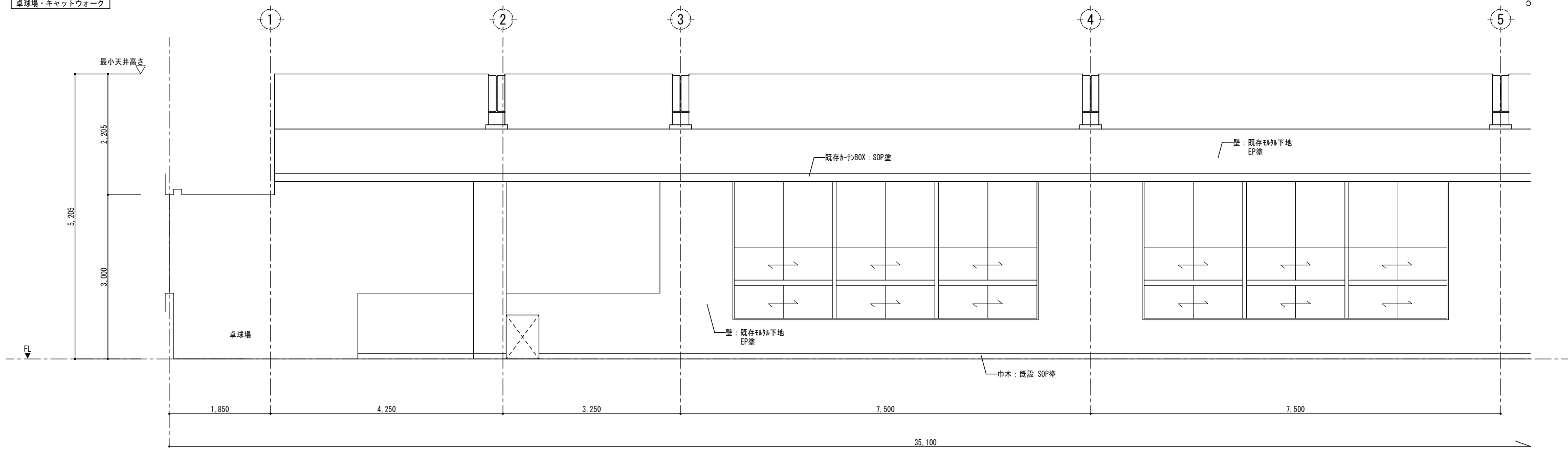


特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	<b>株式会社堀口建築設計</b> 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認 概図 設計 製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(9)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)	訂正年月日	図面No. A-44

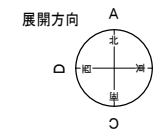




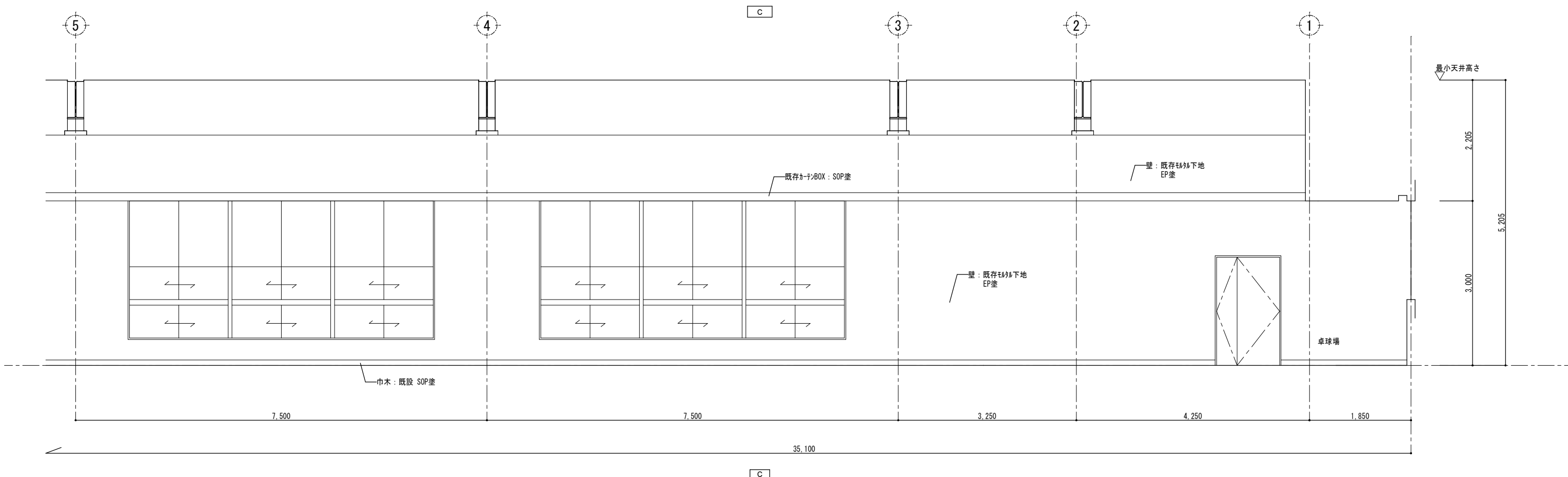
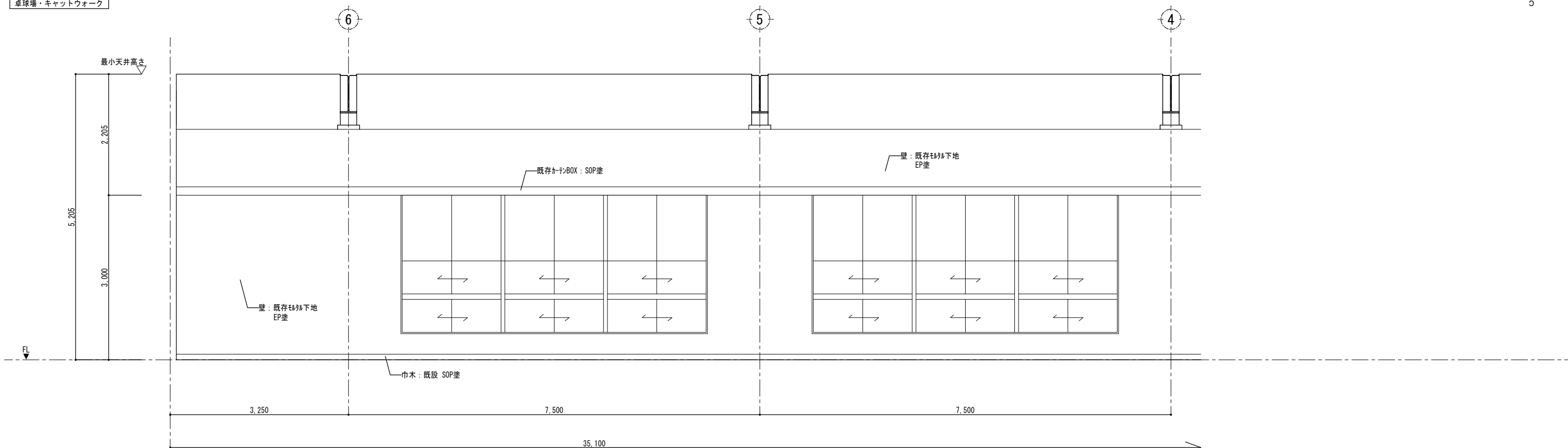
卓球場・キャットウォーク



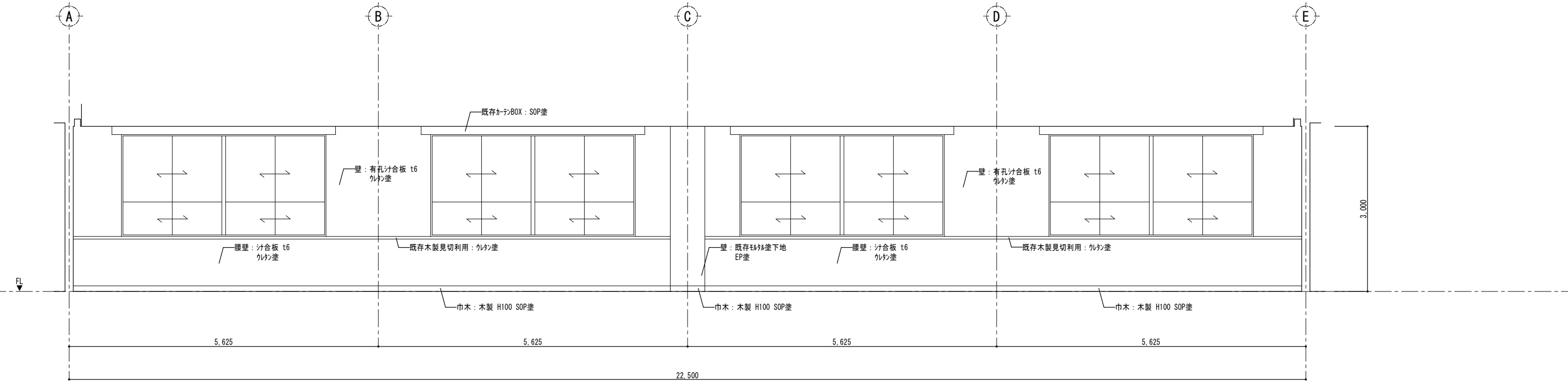
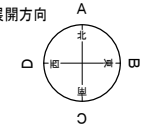
特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は7%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認 核図 設計 製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(10)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)	訂正年月日	図面No. A-45



卓球場・キャットウォーク



<p>特記</p> <p>本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。</p>	<p>株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号</p> <p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号</p> <p>堀口達矢</p>	<p>工事名称</p> <p>南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)</p>	<p>承認</p> <p>検図</p> <p>設計</p> <p>製図</p>	<p>作図年月日</p> <p>2022.11.</p>	<p>種別</p> <p>提出図</p>
		<p>図面名称</p> <p>【計画】展開図(11)</p>	<p>縮尺</p> <p>1/50 (A2)</p> <p>1/70 (A3)</p>	<p>訂正年月日</p>	<p>図面No.</p> <p>A-46</p>



D

特記 本図面は原図サイズをA2サイズとし、A3サイズに出力時は71%のサイズとする。	株式会社堀口建築設計 一級建築士 第379482号 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2227号 堀口達矢	工事名称 南中学校屋内運動場大規模改修工事 (建築)	承認	校図	設計	製図	作図年月日 2022.11.	種別 提出図
		図面名称 【計画】展開図(12)	縮尺 1/50 (A2) 1/70 (A3)					訂正年月日